

統合型会計情報システム

FX4 クラウド

TKC 経理業務 効率化セミナーテキスト

セミナー内容

1. FX4クラウドのシステム活用法
 - ① Excelからの仕訳計上機能
2. TKCシステムのレベルアップ内容の解説
 - ① FX4クラウドのレベルアップ内容
3. 税制改正・制度改正トピックス
 - ① TKCモニタリング情報サービス
 - ② 電子申告義務化
 - ③ 電子帳簿保存法
4. 個別ご相談会

目次

TKC経理業務 効率化セミナー（2020春）	1
------------------------------	---

1. FX4クラウドのシステム活用法

(1) Excelからの仕訳計上機能

第2章 仕訳の入力	38
7. Excelからの仕訳計上	38
7. 1 機能概要.....	38
7. 2 事前準備.....	39
7. 3 仕訳計上.....	43
7. 4 計上仕訳の確認	44
7. 5 利用上のご注意	44
第1章 共通操作	46
1. フルメニュー.....	46
1. 3 メニューバー	46
3. システム利用上の注意	47
3. 3 動作環境等.....	47
第5章 「仕訳連携」タブ	48
1. 業務システムからの自動仕訳読込	48
1. 1 「1 TKCシステム自動仕訳の読込」	48
1. 2 「2 他社システム自動仕訳の読込」	49
2. 業務システム別仕訳合計表.....	53
2. 1 「11 業務システム別仕訳合計表」	53
3. 仕訳読込履歴.....	55
3. 1 「21 仕訳読込履歴」	55
4. 事前準備（仕訳読込）	58
4. 1 「31 業務システムの登録」	58
4. 2 「32 ファイルレイアウト設定」	60
4. 3 「33 読込フォルダの設定」	77
4. 4 「34 業務システム情報の印刷」	78
5. 事前準備（Excelからの仕訳計上）	79
5. 1 「41 Excelフォーマットの登録」	79

第2章 仕訳の入力	83
2. 他システムとの仕訳連携	83
2. 1 機能概要.....	83
2. 2 仕訳連携処理の流れ	88
2. 3 自動仕訳ファイルの形式.....	90
2. 4 仕訳読込テンプレートの設計機能	93
2. 5 コード変換表機能	95
2. 6 データ作成上の注意	102
第5章 マネジメントレポート設計ツール	107
1. 特長	107
2. 機能概要	108
3. 操作説明	110
3. 1 【重要】従来のFX4用マネジメントレポート設計ツールの削除(インストールされている場合のみ).....	110
3. 2 環境設定.....	112
3. 3 当ツールの利用の可/不可の設定	112
3. 4 起動と主な操作	113
3. 7 関数の挿入.....	118
3. 8 マネジメントレポート設計ツールご利用上の注意	123

(注) システム解説書及び操作説明書からの抜粋のため項目名、章及び項番はそのままとしています。

2. TKCシステムのレベルアップ内容の解説

(1) FX4クラウド のレベルアップ内容	126
3. 税制改正・制度改正トピックス	
(1) TKCモニタリング情報サービス	130
(2) 電子申告義務化	134
(3) 電子帳簿保存法	138



富士キメラ総研
「ソフトウェアビジネス新市場2019年版」
財務・会計ソフト<SaaS>・2018年度実績



ITR/ITR Market View:ERP市場2019
SaaS型ERP市場-会計業務分野-ベンダー
別売上金額シェアで3年連続1位
(2016・2017年度、2018年度(予測値))

FX4 クラウド

TKC経理業務 効率化セミナー (2020春)

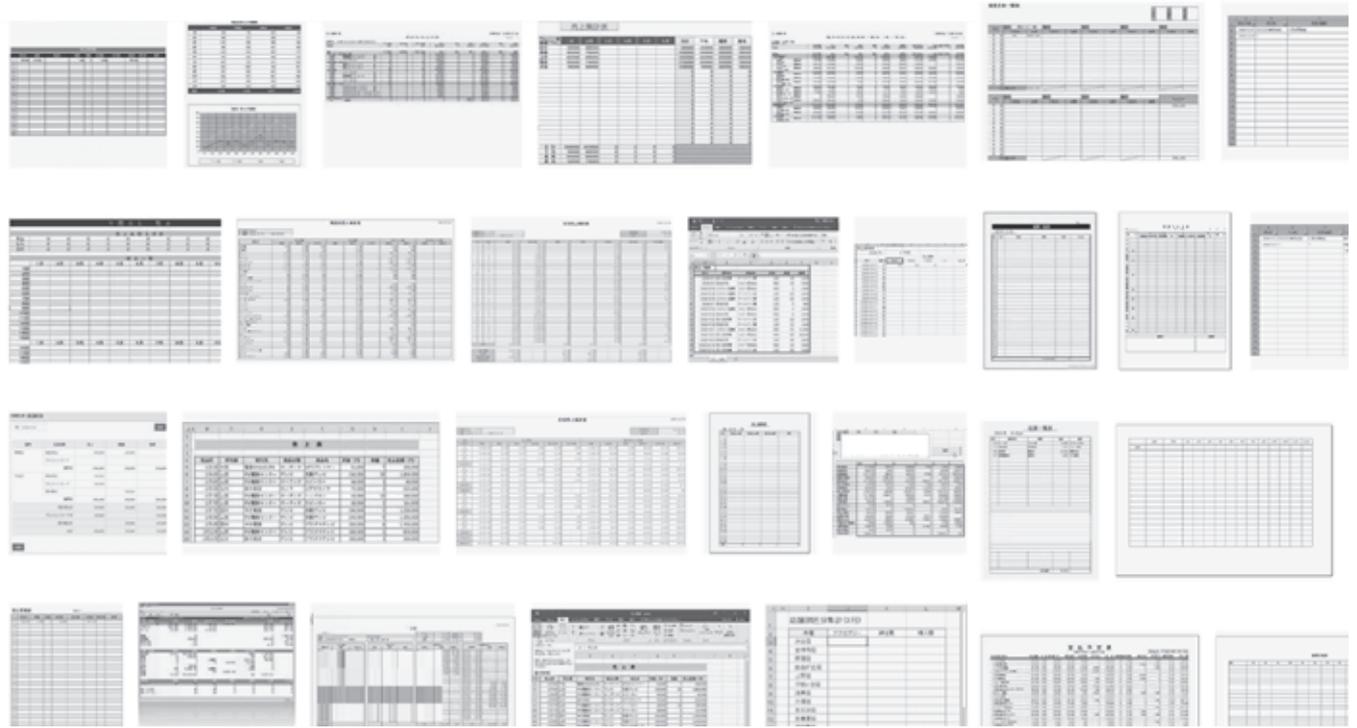
株式会社 **TKC**

©TKC 2020

セミナー内容

1. FX4クラウドのシステム活用法
Excelからの仕訳計上機能
2. TKCシステムのレベルアップ内容の解説
FX4クラウドのレベルアップ内容
3. 税制改正・制度改正トピックス
 - (1) TKCモニタリング情報サービス
 - (2) 電子申告義務化
 - (3) 電子帳簿保存法
4. 個別ご相談会

例えば「売上日報集計表」で、ネットを検索してみると...



このようにいろいろなExcelで作った表が出てきます。

このような資料をExcelで作成してから仕訳入力していませんか？



小口現金出納帳



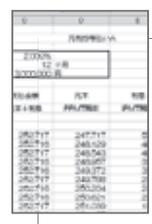
経費支払一覧表



取引先別買掛金一覧表



前払費用管理表



経費月割り計算表

このような資料をExcelで作成してから
仕訳入力していませんか？



売上日報集計表

レジ売上集計表

業者別支払一覧表

取引先別支払確認表

部門配賦集計表*

* 労務費、電気代、ガス代、事務所家賃、消耗品費、雑費など

Excelの資料を作成しながら
このようなお悩みはございませんか？



Excelで作成した
今あるファイルから
そのまま仕訳計上できたら...



経理のご担当が、E x c e l の資料を見ながら
F X 4 クラウドに仕訳入力するときの課題は？



- ①入力には時間がかかる
- ②2度目の入力で疲弊してしまう
- ③入力ミスがおきる
- ④行を飛ばして合計が合わない



©TKC 2020

6

F X 4 クラウドのシステム活用法 ～ E x c e l からの仕訳計上機能～



E x c e l で作成した
今あるファイルから
そのまま仕訳計上する機能を
本日ご紹介します。



* F X 4 クラウド [2019年11月版] で搭載された機能です。

©TKC 2020

7

デモンストレーション



- 経費支払一覧表からの
仕訳計上

機能
紹介

F X 4 クラウドを終了します。

令和3年10月1日施行の改正消費税法対応版 (tsutsumi_takashi)

7/4(E) 日常業務(A) 仕訳連携(B) 資金管理(C) 最新業績(D) 月次・年次(E) 経営計画(G) 会社情報(H) 7-4(I) 7-4(J) 7-4(K)

FX4 ABCオートサプライ株式会社 (デモ) 本日: 令和 2年 1月 8日 (水)

日常業務 | 仕訳連携 | 資金管理 | 最新業績 | 月次・年次決算 | 経営計画 | 会社情報

A 業務システムからの自動仕訳読込

1 TKCシステム自動仕訳の読込

2 他社システム自動仕訳の読込

B 業務システム別仕訳合計表

11 業務システム別仕訳合計表

C 仕訳読込履歴

21 仕訳読込履歴

D 事前準備 (仕訳読込)

31 業務システムの登録

32 ファイルレイアウト設定

33 読込フォルダの設定

34 業務システム情報の印刷

E 事前準備 (Excelからの仕訳計上)

41 Excelフォーマットの登録

▼番号で選択してください。

タブ切替 日付変更 終了

機能紹介

FX4が未起動でもExcel表から仕訳計上可。TKC

取引年月日	伝票番号	税	借方CD	借方補助	借方科目名	借方口座名	貸方CD	貸方補助	貸方科目名	貸方口座名	取引金額	税率	内、消費税等	税抜き金額	取引先CD	取引先名 (仕入先の氏名又は名称)	元帳摘要 (産等の記)
2019/11/30	450	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	18,000	1000	1,636	16,364	100100	当社役社員	預金支払 出
2019/11/30	451	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	28,200	1000	2,564	25,636	100100	当社役社員	預金支払 出
2019/11/30	452	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	9,400	1000	855	8,545	100100	当社役社員	預金支払 出
2019/11/30	453	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	25,300	1000	2,300	23,000	100100	当社役社員	預金支払 出
2019/11/30	454	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	17,800	1000	1,618	16,182	100100	当社役社員	預金支払 出
2019/11/30	455	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	21,000	1000	1,909	19,091	100100	当社役社員	預金支払 出
2019/11/30	456	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	15,400	1000	1,400	14,000	100100	当社役社員	預金支払 出
2019/11/30	457	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	11,600	1000	1,055	10,545	100100	当社役社員	預金支払 出
2019/11/30	458	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	27,300	1000	2,482	24,818	100100	当社役社員	預金支払 出
2019/11/30	459	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	7,900	1000	718	7,182	100100	当社役社員	預金支払 出
2019/11/30	460	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	13,500	1000	1,227	12,273	100100	当社役社員	預金支払 出
2019/11/30	461	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	15,100	1000	1,373	13,727	100100	当社役社員	預金支払 出
2019/11/30	462	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	21,900	1000	1,991	19,909	100100	当社役社員	預金支払 出
2019/11/30	463	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	17,700	1000	1,609	16,091	100100	当社役社員	預金支払 出
2019/11/30	464	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	9,300	1000	845	8,455	100100	当社役社員	預金支払 出
2019/11/30	465	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	8,700	1000	791	7,909	100100	当社役社員	預金支払 出

ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

機能紹介

MR設計ツールにログインします。TKC

FX4クラウドの接続

企業グループコード:

あなたのID:

パスワード:

2019年11月版

OK キャンセル

♥企業グループコード, ID, パスワードを入力してください。

取引年月日	伝票番号	税	借方CD	借方補助	借方科目名	借方口座名	貸方CD	貸方補助	貸方科目名	貸方口座名	取引金額	税率	内、消費税等	税抜き金額	取引先CD	取引先名 (仕入先の氏名又は名称)	元帳摘要 (産等の記)
2019/11/30	450	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	18,000	1000	1,636	16,364	100100	当社役社員	預金支払 出
2019/11/30	451	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	28,200	1000	2,564	25,636	100100	当社役社員	預金支払 出
2019/11/30	452	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	9,400	1000	855	8,545	100100	当社役社員	預金支払 出
2019/11/30	453	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	25,300	1000	2,300	23,000	100100	当社役社員	預金支払 出
2019/11/30	454	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	17,800	1000	1,618	16,182	100100	当社役社員	預金支払 出
2019/11/30	455	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	21,000	1000	1,909	19,091	100100	当社役社員	預金支払 出
2019/11/30	456	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	15,400	1000	1,400	14,000	100100	当社役社員	預金支払 出
2019/11/30	457	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	11,600	1000	1,055	10,545	100100	当社役社員	預金支払 出
2019/11/30	458	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	27,300	1000	2,482	24,818	100100	当社役社員	預金支払 出

ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

機能紹介

MR設計ツールが利用可能になります。TKC

①経費支払一覧表.xlsx - Excel

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ FXクラウド*

マスター情報の取得 マスタ取得 報告用ファイル作成 ファイル作成 最新の情報に更新 リンクの更新の更新 関数の挿入 関数の挿入 処理年月 経過月数 科目別残高 科目別予算 利益管理実績 利益管理表 従事員数等 資金実績/計画使 入力完了 入力設定

F X 4クラウド関数ライブラリ

A1 ●経費支払一覧表

取引年月日	伝票番号	税	借方CD	借方補助	借方科目名	借方口座名	貸方CD	貸方補助	貸方科目名	貸方口座名	取引金額	税率	内、消費税等	税金
2019/11/30	450	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	18,000	1000	1,636	1
2019/11/30	451	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	28,200	1000	2,564	2
2019/11/30	452	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	9,400	1000	855	
2019/11/30	453	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	25,300	1000	2,300	2
2019/11/30	454	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	17,800	1000	1,618	1
2019/11/30	455	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	21,000	1000	1,909	1
2019/11/30	456	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	15,400	1000	1,400	1
2019/11/30	457	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	11,600	1000	1,055	1
2019/11/30	458	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	27,300	1000	2,482	2

ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

©TKC 2020

12

機能紹介

[入力完了]ボタンをクリックすると TKC

①経費支払一覧表.xlsx - Excel

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ FXクラウド*

マスター情報の取得 マスタ取得 報告用ファイル作成 ファイル作成 最新の情報に更新 リンクの更新の更新 関数の挿入 関数の挿入 処理年月 経過月数 科目別残高 科目別予算 利益管理実績 利益管理表 従事員数等 資金実績/計画使 入力完了 入力設定

F X 4クラウド関数ライブラリ

A1 ●経費支払一覧表

本日： 令和 2年 1月 8日(水) 変更

シート
経費支払

当シートから仕訳計上します。
仕訳計上後、「仕訳計上済」をセルに書き込み、保存します。
処理を開始してよろしいですか？

仕訳を確認してから計上する

(はい) (いいえ)

取引年月日	伝票番号	税	借方CD	借方補助	借方科目名	借方口座名	貸方CD	貸方補助	貸方科目名	貸方口座名	取引金額	税率	内、消費税等	税金
2019/11/30	450	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	18,000	1000	1,636	1
2019/11/30	451	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	28,200	1000	2,564	2
2019/11/30	452	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	9,400	1000	855	
2019/11/30	453	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	25,300	1000	2,300	2
2019/11/30	454	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	17,800	1000	1,618	1
2019/11/30	455	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	21,000	1000	1,909	1
2019/11/30	456	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	15,400	1000	1,400	1
2019/11/30	457	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	11,600	1000	1,055	1
2019/11/30	458	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	27,300	1000	2,482	2

ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

©TKC 2020

13

機能紹介

確認用に仕訳一覧が表示されます。



Excelからの仕訳計上

77(4)日

FX4 ABCオートサプライ株式会社(デモ) 本日: 令和2年1月8日(水)

令和1年11月30日~令和1年11月30日

月日	伝番	税	税率	借方科目	コード	貸方科目	コード	取引先名	元帳摘要	取引金額
11.30	450	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	18,000
11.30	451	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	28,200
11.30	452	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	9,400
11.30	453	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	25,300
11.30	454	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	17,800
11.30	455	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	21,000
11.30	456	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	15,400
11.30	457	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	11,600
11.30	458	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	27,300
11.30	459	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	7,900
11.30	460	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	13,500
11.30	461	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	15,100
11.30	462	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	21,900
11.30	463	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	17,700
11.30	464	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	9,300
11.30	465	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	8,700

この内容で良ければ、「F4 仕訳計上」ボタンをクリックしてください。

前頁 次頁 仕訳計上 証憑番号 事業区分 仕入れ日 消費税等 閉じる

ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

©TKC 2020

14

機能紹介

一覧をクリックで伝票の確認もできます。



Excelからの仕訳計上

77(4)日

FX4 ABCオートサプライ株式会社(デモ) 本日: 令和2年1月8日(水)

会計伝票から入力

入力担当者: tsutsumi_takashi

伝(頁)番	証憑番号	課税区分	事業区分	小切手番号	年月日
450	5	課税仕入(課税)		#	1 11 30
借方科目・口座名		貸方科目・口座名		取引金額	
6112	従業員旅費	1113 A	普通預金		18,000
		常陽/宇都宮			
取引先名(仕入先の氏名又は名称)			収	02	経常支出
当社役社員			100100	支	09 旅費交通費
実際の仕入れ年月日			元帳摘要(仕入れ資産等の総称)		税率
1年11月30日			預金支払 出張旅費		(10.0%)
部門名		内訳(税込み)金額	(内、消費税等)		内訳金額
100	本社				16,364
差額					

ファンクション・キーで選択してください。

前仕訳 次仕訳 確認終了 閉じる

ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

©TKC 2020

15

【F4 仕訳計上】で仕訳計上開始です。TKC

Excelからの仕訳計上

7744日

FX4 ABCオートサプライ株式会社 (デモ) 本日: 令和 2年 1月 8日 (水)

令和 1年11月30日~令和 1年11月30日

月日	伝番	税	税率	借方科目	コード	貸方科目	コード	取引先名	元帳摘要	取引金額
11.30	450	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	18,000
11.30	451	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	28,200
11.30	452	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	9,400
11.30	453	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	25,300
11.30	454	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	17,800
11.30	455	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	21,000
11.30	456	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	15,400
11.30	457	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	11,600
11.30	458	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	27,300
11.30	459	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	7,900
11.30	460	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	13,500
11.30	461	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	15,100
11.30	462	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	21,900
11.30	463	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	17,700
11.30	464	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	9,300
11.30	465	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	8,700

確認

FX4クラウドに仕訳を計上します。よろしいですか?

[FX4]

この内容で良ければ、「F4 仕訳計上」ボタンをクリックしてください。

前頁 次頁 仕訳計上 建簿番号 事業区分 仕入れ日 消費税等 閉じる

ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

©TKC 2020

16

計上済みのExcel表にはマークがつきます。TKC

Excel

FX4クラウド

100 仕訳計上: 仕訳計上済

借方科目名	貸方口座名	取引金額	税率	内、消費税等
普通預金	常陽/宇都宮	18,000	1000	1,636
普通預金	常陽/宇都宮	28,200	1000	2,564
普通預金	常陽/宇都宮	9,400	1000	855
普通預金	常陽/宇都宮	25,300	1000	2,300
普通預金	常陽/宇都宮	17,800	1000	1,618
普通預金	常陽/宇都宮	21,000	1000	1,909
普通預金	常陽/宇都宮	15,400	1000	1,400
普通預金	常陽/宇都宮	11,600	1000	1,055
普通預金	常陽/宇都宮	27,300	1000	2,482
普通預金	常陽/宇都宮	7,900	1000	718
普通預金	常陽/宇都宮	13,500	1000	1,227
普通預金	常陽/宇都宮	15,100	1000	1,373
普通預金	常陽/宇都宮	21,900	1000	1,991
普通預金	常陽/宇都宮	17,700	1000	1,609
普通預金	常陽/宇都宮	9,300	1000	845
普通預金	常陽/宇都宮	8,700	1000	791

ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

©TKC 2020

17

計上仕訳を仕訳帳で確認してみましょう。TKC

令和1年10月1日施行の改正消費税法対応版 (tsutsumi_takashi)

774(E) 日常業務(A) 仕訳連携(B) 資金管理(C) 最新業績(D) 月次・年次(E) 経営計画(G) 会社情報(H) 7-4(I) 9のド(J) W) A7P(H)

FX4 ABCオートサプライ株式会社(デモ) 本日: 令和 2年 1月 8日(水)

日常業務 | 仕訳連携 | 資金管理 | 最新業績 | 月次・年次決算 | 経営計画 | 会社情報

A 取引の入力

1 仕訳辞書	10 銀行信販データ受信
2 現金出納帳	サービス稼働中
3 預金出納帳	11 I B等データ読込(全銀7カ体)
4 伝票(元帳型)	12 スキャンからの仕訳計上
5 伝票(1伝票型)	13 仕訳への証憑貼付
6 伝票(5伝票型)	14 Wからのデータ受信
7 複合仕訳	15 入力データ検索
	16 入力モニター
	17 入力制御情報

C 取引問合せ

41 仕訳帳	52 課税区分別取引
42 部門別仕訳帳	53 勘定科目別消費税額
43 総勘定元帳	54 部門別課税区分別取引
44 部門別取引	55 手形明細
45 勘定科目残高	56 電子記録債権
46 勘定科目残高推移表	57 訂正・加除履歴
47 部門別科目残高	58 プロジェクト別残高
48 部門別科目残高推移表	59 内訳管理科目残高
49 日々の現預金残高	
50 日々の売上総額	
51 日々の仕入総額	

B 報告書の印刷

21 現預金出納帳	27 科目残高推移表
22 仕訳帳	28 部門別科目残高一覧表
23 部門別仕訳帳	29 部門別科目残高推移表
24 総勘定元帳	30 課税区分・消費税額一覧表
25 現預金残高報告書	31 未決済手形一覧表
26 科目残高一覧表	32 未決済電子記録債権一覧表

D 取引問合せ (複合仕訳形式) 解説

61 仕訳一覧表	63 仕訳一覧表の印刷
62 取引明細書	64 取引明細書の印刷

E 仕訳の承認 改正消費税法対応

71 仕訳の承認	91 改正消費税法対応設定
----------	---------------

番号で選択してください。

タブ切替 日付変更 終了

ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

©TKC 2020

18

伝票番号450からが、計上した仕訳です。TKC

仕訳帳

774(E) 日常業務(A) 仕訳連携(B) 資金管理(C) 最新業績(D) 月次・年次(E) 経営計画(G) 会社情報(H) 印刷様式(I) 表示(J) 9のド(K) W) A7P(H)

FX4 ABCオートサプライ株式会社(デモ) 本日: 令和 2年 1月 8日(水)

期間指定 条件検索 コード非表示 ファイル切出 Aレビュー 印刷開始

令和 1年 11月 1日 ~ 令和 1年 11月 30日

*は月次決算完了 [月日順:昇順]

月日	伝番	税	税率	借方科目	コード	貸方科目	コード	取引先名	元帳摘要	取引金額	証
11.30	445	5	軽 8.00%	雑費	6231	普通預金	1113A	横浜新聞販売	預金支払 新聞購読料	6,658	
11.30	446	5	軽 8.00%	雑費	6231	普通預金	1113A	大阪新聞店	預金支払 新聞購読料	6,658	
11.30	447	5	軽 8.00%	雑費	6231	普通預金	1113A	大阪新聞店	預金支払 新聞購読料	6,658	
11.30	448	5	軽 8.00%	雑費	6231	普通預金	1113A	京都新聞店	預金支払 新聞購読料	6,658	
11.30	449	5	軽 8.00%	雑費	6231	普通預金	1113A	宇都宮新聞店	預金支払 新聞購読料	6,658	
11.30	450	5	10.0%	従業員旅	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	18,000	
11.30	451	5	10.0%	従業員旅	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	28,200	
11.30	452	5	10.0%	従業員旅	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	9,400	
11.30	453	5	10.0%	従業員旅	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	25,300	
11.30	454	5	10.0%	従業員旅	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	17,800	
11.30	455	5	10.0%	従業員旅	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	21,000	
11.30	456	5	10.0%	従業員旅	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	15,400	
11.30	457	5	10.0%	従業員旅	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	11,600	
11.30	458	5	10.0%	従業員旅	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	27,300	
11.30	459	5	10.0%	従業員旅	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	7,900	
11.30	460	5	10.0%	従業員旅	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	13,500	
11.30	461	5	10.0%	従業員旅	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	15,100	
11.30	462	5	10.0%	従業員旅	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	21,900	
11.30	463	5	10.0%	従業員旅	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	17,700	
11.30	464	5	10.0%	従業員旅	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	9,300	
11.30	465	5	10.0%	従業員旅	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	8,700	

内容を確認する行をダブルクリックまたはエンター・キーで選択してください。

入力順 前頁 次頁 証憑番号 事業区分 仕入れ日 消費税等 印刷メニュー

ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

©TKC 2020

19

このように仕訳計上できます。

仕訳帳

77(F4) 日常業務(A) 仕訳連携(B) 資金管理(C) 最新業績(D) 月次・年次(E) 経営計画(F) 会社情報(G) 表示(H) クラウド(W)

計上元ファイル 虎の巻

FX4 ABCオートサプライ株式会社 (デモ) 本日: 令和 2年 1月 8日 (水)

会計伝票から入力 月次決算未了 承認 入力担当者: tsutsumi_takashi

伝(頁)番	証憑書番号	課税区分	事業区分	小切手番号	年月日
450		5 課税仕入(課税)		#	1 11 30
借方科目・口座名		貸方科目・口座名		取引金額	
6112 従業員旅費		1113 A 普通預金 常陽/宇都宮		18,000	
取引先名 (仕入先の氏名又は名称)		取	02 経常支出	(内、消費税等)	
当社役社員		100100	支 09 旅費交通費	1,636	
実際の仕入れ年月日	元帳摘要 (仕入れ資産等の総称)			税率	税抜き金額
1年11月30日	預金支払 出張旅費			(10.0%)	16,364
部門名		内訳(税込み)金額	(内、消費税等)	内訳金額	
100 本社				16,364	
差 額					

R-No. 14697/020108

ファンクション・キーで選択してください。

前仕訳 次仕訳 確認終了 訂正 削除 F4メニュー

ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

©TKC 2020

20

仕訳計上で使ったExcel表が確認できます。TKC

仕訳帳

77(F4) 日常業務(A) 仕訳連携(B) 資金管理(C) 最新業績(D) 月次・年次(E) 経営計画(F) 会社情報(G) 表示(H) クラウド(W)

計上元ファイル 虎の巻

FX4 ABCオートサプライ株式会社 (デモ) 本日: 令和 2年 1月 8日 (水)

会計伝票から入力 月次決算未了 承認 入力担当者: tsutsumi_takashi

伝(頁)番	証憑書番号	課税区分	事業区分	小切手番号	年月日
450		5 課税仕入(課税)		#	1 11 30
借方科目・口座名		貸方科目・口座名		取引金額	
6112 従業員旅費		1113 A 普通預金 常陽/宇都宮		18,000	
取引先名 (仕入先の氏名又は名称)		取	02 経常支出	(内、消費税等)	
当社役社員		100100	支 09 旅費交通費	1,636	
実際の仕入れ年月日	元帳摘要 (仕入れ資産等の総称)			税率	税抜き金額
1年11月30日	預金支払 出張旅費			(10.0%)	16,364
部門名		内訳(税込み)金額	(内、消費税等)	内訳金額	
100 本社				16,364	
差 額					

R-No. 14697/020108

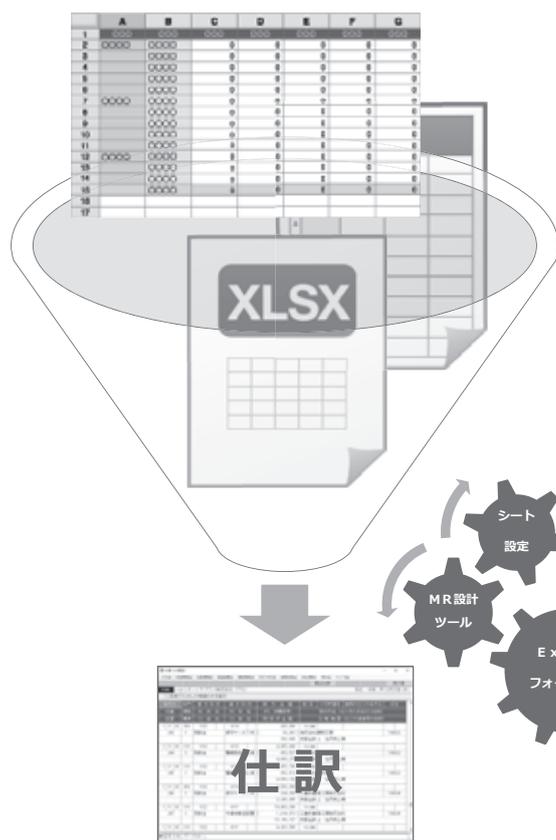
ファンクション・キーで選択してください。

前仕訳 次仕訳 確認終了 訂正 削除 F4メニュー

ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

©TKC 2020

21



統合型会計情報システム
FX4クラウド

Excelからの
仕訳計上機能

デモンストレーション



- 旅費交通費一覧表からの
仕訳計上の
FX4クラウドでの設定

利用可能なメニュー	更新	印刷
<input checked="" type="checkbox"/> 61 科目情報の切り出し	-	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 62 仕訳情報の切り出し	-	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 63 手形情報の切り出し	-	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 64 取引先情報の切り出し	-	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> G 担当者ログ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 71 取引先検索ボタン事前登録	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 72 担当者ログの確認	-	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> システム起動・終了時のアラーム	<input checked="" type="checkbox"/>	-
<input checked="" type="checkbox"/> 本日期日の手形表示	<input checked="" type="checkbox"/>	-
<input checked="" type="checkbox"/> 期日直前の電子記録債権移転	<input checked="" type="checkbox"/>	-
<input checked="" type="checkbox"/> 支払予定の出納承認	<input checked="" type="checkbox"/>	-
<input checked="" type="checkbox"/> 他システムの利用	<input checked="" type="checkbox"/>	-
<input checked="" type="checkbox"/> マネジメントレポート設計ツール	-	-
<input checked="" type="checkbox"/> E x c e lからの仕訳計上	<input checked="" type="checkbox"/>	-
<input checked="" type="checkbox"/> ツール	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> T K Cモニタリング情報サービスのデータ送信	<input checked="" type="checkbox"/>	-

◆「印刷可」は、印刷、プレビュー、ファイル切出しを可能とします。

ご利用にあたっては、F X 4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

メニュー	更新	印刷
<input checked="" type="checkbox"/> 61 科目情報の切り出し	-	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 62 仕訳情報の切り出し	-	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 63 手形情報の切り出し	-	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 64 取引先情報の切り出し	-	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> G 担当者ログ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 71 取引先検索ボタン事前登録	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> 72 担当者ログの確認	-	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> システム起動・終了時のアラーム	<input checked="" type="checkbox"/>	-
<input checked="" type="checkbox"/> 本日期日の手形表示	<input checked="" type="checkbox"/>	-
<input checked="" type="checkbox"/> 期日直前の電子記録債権移転	<input checked="" type="checkbox"/>	-
<input checked="" type="checkbox"/> 支払予定の出納承認	<input checked="" type="checkbox"/>	-
<input checked="" type="checkbox"/> 他システムの利用	<input checked="" type="checkbox"/>	-
<input checked="" type="checkbox"/> マネジメントレポート設計ツール	-	-
<input checked="" type="checkbox"/> E x c e lからの仕訳計上	<input checked="" type="checkbox"/>	-
<input checked="" type="checkbox"/> ツール	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> T K Cモニタリング情報サービスのデータ送信	<input checked="" type="checkbox"/>	-

ご利用にあたっては、F X 4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

[Excelへの登録]ボタンを選択します。TKC

令和3年10月1日施行の改正消費税法対応版 (tutsumi_takashi)

FX4 ABCオートサプライ株式会社 (デモ) 本日: 令和 2年 1月 8日 (水)

日常業務 | 仕訳連携 | 資金管理 | 最新業績 | 月次・年次決算 | 経営計画 | 会社情報

A 基本情報の登録・修正

- 1 商号・代表者等
- 2 経理情報

B ユーザ情報の登録・修正

- 11 業務範囲の設計
- 12 ユーザ名情報

C 勘定科目情報の登録・修正

- 21 勘定科目情報
- 22 利益管理表の設計
- 23 科目別課税区分一覧

D マスター情報の登録・修正

- 31 入力制御情報
- 32 取引先名
- 33 部門名
- 34 部門グループ
- 35 社員名
- 36 専用摘要
- 37 仕訳詳書
- 38 月次仕訳詳書

D マネジメントレポート設計ツール等の設定

Excelへの登録

終了

◆ Excelファイルを開いた状態で登録処理を実行すると、正しく設定されません。必ずすべてのExcelファイルを閉じてから実行してください。

D マスター情報の登録・修正

- 39 銀行・支店情報
- 40 自社銀行口座情報
- 41 Excelフォーマットの登録
- 42 銀行振込データ受信準備
- 43 シャーダー仕訳計上準備
- 44 月次決算準備
- 45 プロジェクト
- 46 銀行振込データ受信準備
- 47 シャーダー仕訳計上準備
- 48 レジからのデータ受信準備

F データ切り出し

- 61 科目情報の切り出し
- 62 仕訳情報の切り出し
- 63 手形情報の切り出し
- 64 取引先情報の切り出し

G 担当者ログ

- 71 ログの検索/バックアップ事前登録
- 72 担当者ログの確認

♥番号で選択してください。

F4 タブ切替 F8 日付変更 PD 終了

ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

©TKC 2020

28

「41 Excelフォーマットの登録」を選択します。TKC

令和3年10月1日施行の改正消費税法対応版 (tutsumi_takashi)

FX4 ABCオートサプライ株式会社 (デモ) 本日: 令和 2年 1月 8日 (水)

日常業務 | 仕訳連携 | 資金管理 | 最新業績 | 月次・年次決算 | 経営計画 | 会社情報

A 業務システムからの自動仕訳読込

- 1 TKCシステム自動仕訳の読込
- 2 他社システム自動仕訳の読込

B 業務システム別仕訳合計表

- 11 業務システム別仕訳合計表

C 仕訳読込履歴

- 21 仕訳読込履歴

D 事前準備 (仕訳読込)

- 31 業務システムの登録
- 32 ファイルレイアウト設定
- 33 読込フォルダの設定
- 34 業務システム情報の印刷

E 事前準備 (Excelからの仕訳計上)

- 41 Excelフォーマットの登録

♥番号で選択してください。

F4 タブ切替 F8 日付変更 PD 終了

ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

©TKC 2020

29

「Excelフォーマットの名称」を登録します。

Excelフォーマットの登録

登録 名称変更 削除 上へ移動 下へ移動 虎の巻

FX4 ABCオートサプライ株式会社 (デモ) 本日: 令和 2年 1月 8日 (水)

コード	Excelフォーマットの名称
501	単純仕訳シート
502	複合仕訳シート
503	1行複数仕訳シート
510	経費支払一覧表
521	部門別借記賦 (共通)

Excelフォーマットの名称

Excelフォーマットコード
511

頭文字
TS

Excelフォーマットの名称
旅費交通費一覧表

計上する仕訳を「期末整理仕訳」とする

◆ 業務システム (メニュー31) と重複するコードおよび頭文字は登録できません。

OK キャンセル

♥ 処理を選択してください。

前頁 次頁 ヘルプメニュー

ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

「1.受入レイアウト」を設定します。

Excelフォーマットの登録

登録 名称変更 削除 上へ移動 下へ移動 虎の巻

FX4 ABCオートサプライ株式会社 (デモ) 本日: 令和 2年 1月 8日 (水)

コード	頭	Excelフォーマットの名称
501	TA	単純仕訳シート
502	FU	複合仕訳シート
503	IF	1行複数仕訳シート
510	TR	経費支払一覧表
521	AY	部門別借記賦 (共通)
511	TS	旅費交通費一覧表

511 TS 旅費交通費一覧表

1. 受入レイアウト
仕訳の形式 (単純仕訳計上または複合仕訳形式) や、データ1行から計上する仕訳数を定義します。

2. 仕訳読み取りシート
Excelの列と仕訳項目の対応付けや、条件によってセットする値を設定します。

♥ 処理を選択してください。

前頁 次頁 ヘルプメニュー

ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

「1.受入レイアウト」を設定します。

Excel 受入レイアウト

511 TS 旅費交通費一覧表

ファイル受入レイアウトの選択

レイアウト 1 (単純仕訳形式) レイアウト 2 (複合仕訳形式)

◆ 1. それぞれのレイアウトの相違点は次の通りです。詳細はシステム解説書の巻末資料で確認できます。

(1) レイアウト 1
「伝票 (1 伝票型)」の入力項目を前提としたレイアウトです。課税区分、取引金額、部門等は行単位でセットします。

(2) レイアウト 2
「複合仕訳」の入力項目を前提としたレイアウトです。課税区分、取引金額、部門等は貸借それぞれにセットします。

2. レイアウト 2 を選択した場合、取引ごとの区切りは「取引年月日」と「伝票番号」に関連付いた項目で自動判定します。

データ 1 行から計上する仕訳数 (レイアウト 1 選択時のみ有効)

件

◆ 日計表のようにデータ 1 行から複数の仕訳を計上する場合は、その件数を入力します。
【仕訳読込テンプレート】画面で仕訳の種類ごとにテンプレートを設計できるようになります。

データの開始行

行目 (これより上の行はタイトル行)

OK キャンセル

ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

©TKC 2020

32

「2.仕訳読込テンプレート」を設定します。

Excelフォーマットの登録

7/14(E) 日常業務(A) 仕訳連携(B) 資金管理(C) 最新業務(D) 月次・年次(E) 経営計画(G) 会社情報(H) 表示(V) ツール(W)

登録 名称変更 削除 上へ移動 下へ移動 虎の巻

FX4 ABCオートサプライ株式会社 (デモ) 本日: 令和 2年 1月 8日 (水)

コード	頭	Excelフォーマットの名称
501	TA	単純仕訳シート
502	FU	複合仕訳シート
503	IF	1行複数仕訳シート
510	TR	経費支払一覧表
521	AY	部門別配賦 (共通)
511	TS	旅費交通費一覧表

511 TS 旅費交通費一覧表

1. 受入レイアウト 仕訳の形式 (単純仕訳計上または複合仕訳形式) とデータ 1 行から計上する仕訳数を設定

2. 仕訳読込テンプレート Excel の列と仕訳項目の対応付けや、条件によってセットする値を設定します。

♥ 処理を選択してください。

前頁 次頁 ヘルプメニュー

ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

©TKC 2020

33

「新規に設計」選択を、例に説明します。TKC

Excelフォーマットの登録

FX4 ABCオートサプライ株式会社 (デモ) 本日: 令和 2年 1月 8日 (水)

コード	頭	Excelフォーマットの名称
501	TA	単純仕訳シート
502	FU	複合仕訳シート
503	IF	1行複数仕訳シート
510	TR	経費支払一覧表
521	AY	部門別登記証 (共通)
511	TS	旅費交通費一覧表

511 TS 旅費交通費一覧表

1. 受入レイアウト
仕訳の形式 (単純仕訳計上または複合仕訳形式) や、データ1行から計上する仕訳数を定義します。

2. 仕訳読込テンプレート
Excelの列と仕訳項目の対応付けや、条件によってセットする値を設定します。

設計方法の選択

新規に設計
「OK」ボタン押下後、ひな形ファイル (テストデータなど) を選択します。

設計済の読込テンプレートから複写
「OK」ボタン押下後、複写元のテンプレートファイルを選択します。

OK キャンセル

処理を選択してください。

ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

©TKC 2020

34

仕訳計上に使うひな形Excelファイルを読込。TKC

仕訳読込テンプレートの設計

FX4 ABCオートサプライ株式会社 (デモ) 本日: 令和 2年 1月 8日 (水)

511 TS 旅費交通費一覧表

ひな形ファイル切出 ひな形再読込

テンプレートファイル切出 テンプレートファイル読込

仕訳読込テンプレートの設計

ひな形ファイルの読込

FX4クラウドの各仕訳項目に読み込む列を設定するためには、Excelファイルの列を特定する必要があります。

ひな形ファイル (仕訳計上するExcelファイル) を指定し、仕訳計上対象のシートを選択してください。

仕訳計上するExcelファイル
C:\¥ドキュメント¥の旅費交通費一覧表.xlsx 参照

シート
旅費交通費

読み込む値 :
タブ形式変更 条件追加 条件削除 編集

省略

読み込む値 :

読み込み開始 戻る

OK キャンセル

項目ごとにセットする値を設定してください。

ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

©TKC 2020

35

「仕訳読込テンプレートの設計」を設定します。TKC

項目ごとにセットする値を設定してください。

項目	セットする値
会社コード	省略
システム番号	省略
レコード番号	省略
取引年月日	省略
伝票番号	省略
証憑番号	省略
課税区分	省略
事業区分	省略
借方勘定科目コード	省略
借方補助科目コード	省略
貸方勘定科目コード	省略
貸方補助科目コード	省略
小切手番号	省略
プロジェクトコード	省略
取引金額	省略
消費税金額	省略
税額入力区分	省略
消費税率	省略
軽減対象取引区分	省略
取引先コード	省略
取引先名	省略

ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

©TKC 2020

36

「セットする値」の設定完了後のイメージです。TKC

項目ごとにセットする値を設定してください。

項目	セットする値
会社コード	セル B2
システム番号	セル G2
レコード番号	省略
取引年月日	列A 取引年月日
伝票番号	列B 伝票番号
証憑番号	省略
課税区分	列C 税
事業区分	省略
借方勘定科目コード	列D 借方CD
借方補助科目コード	列E 借方補助
貸方勘定科目コード	列H 貸方CD
貸方補助科目コード	列I 貸方補助
小切手番号	省略
プロジェクトコード	省略
取引金額	列J 取引金額
消費税金額	列N 内、消費税等
税額入力区分	省略
消費税率	列M 税率
軽減対象取引区分	省略
取引先コード	列P 取引先CD
取引先名	省略

ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

©TKC 2020

37

事前設定

MR設計ツールにログインします。



●旅費交通費一覧表

会社コード: 999 システム番号: 511 部門: 100 仕訳計上:

取引年月日	伝票番号	税	借方CD	借方補助	借方科目名	借方口座名	貸方CD	貸方補助	貸方科目名	貸方口座名	取引金額	税率	内、消費税等	税抜き金額	取引先CD	取引先名 (仕入先の氏名又は名称)	元帳摘要 (得意等の名称)
2019/11/30	466	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	15,100	1000	1,373	13,727	100100	当社役社員	預金支払
2019/11/30	467	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	21,900	1000	1,991	19,909	100100	当社役社員	預金支払
2019/11/30	468	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	17,700	1000	1,609	16,091	100100	当社役社員	預金支払
2019/11/30	469	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	9,300	1000	845	8,455	100100	当社役社員	預金支払
2019/11/30	470	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	8,700	1000	791	7,909	100100	当社役社員	預金支払

ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

©TKC 2020

38

事前設定

MR設計ツールが利用可能になります。



●旅費交通費一覧表

会社コード: 999 システム番号: 511 部門: 100 仕訳計上:

取引年月日	伝票番号	税	借方CD	借方補助	借方科目名	借方口座名	貸方CD	貸方補助	貸方科目名	貸方口座名	取引金額	税率	内、消費税等	税抜き金額	取引先CD	取引先名 (仕入先の氏名又は名称)	元帳摘要 (得意等の名称)
2019/11/30	466	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	18,000	1000	1,636	16,364	100100	当社役社員	預金支払
2019/11/30	467	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	28,200	1000	2,564	25,636	100100	当社役社員	預金支払
2019/11/30	468	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	9,400	1000	855	8,545	100100	当社役社員	預金支払
2019/11/30	469	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	25,300	1000	2,300	23,000	100100	当社役社員	預金支払
2019/11/30	470	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	17,800	1000	1,618	16,182	100100	当社役社員	預金支払
2019/11/30	471	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	21,000	1000	1,909	19,091	100100	当社役社員	預金支払
2019/11/30	472	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	15,400	1000	1,400	14,000	100100	当社役社員	預金支払
2019/11/30	473	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	11,600	1000	1,055	10,545	100100	当社役社員	預金支払
2019/11/30	474	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	27,300	1000	2,482	24,818	100100	当社役社員	預金支払
2019/11/30	475	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	7,900	1000	718	7,182	100100	当社役社員	預金支払
2019/11/30	476	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	13,500	1000	1,227	12,273	100100	当社役社員	預金支払
2019/11/30	477	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	15,100	1000	1,373	13,727	100100	当社役社員	預金支払
2019/11/30	478	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	21,900	1000	1,991	19,909	100100	当社役社員	預金支払
2019/11/30	479	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	17,700	1000	1,609	16,091	100100	当社役社員	預金支払
2019/11/30	480	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	9,300	1000	845	8,455	100100	当社役社員	預金支払
2019/11/30	481	5	6112		従業員旅費		1113	A	普通預金	常陽/宇都宮	8,700	1000	791	7,909	100100	当社役社員	預金支払

ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

©TKC 2020

39

事前設定

[入力シート設定]で必須事項の設定をします。TKC

Excelの「入力シート設定」ダイアログボックスのスクリーンショット。以下の設定が示されています：

- 会社コード: 999
- Excelフォーマットコード: G2
- 仕訳計上の済/未済: L2

ダイアログボックスのメッセージ: 「当シートから仕訳計上する会社コードおよびExcelフォーマットコードを指定します。また、二重計上防止のため、仕訳計上時に「仕訳計上済」の文字をセットするセルを、「仕訳計上の済/未済」欄に指定します。」

ご利用にあたっては、FX 4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

事前設定

[入力完了]ボタンをクリックすると TKC

Excelの「入力完了」ダイアログボックスのスクリーンショット。以下の設定が示されています：

- 今日: 令和 2年 1月 8日(水)
- シート: 旅費交通費
- メッセージ: 「当シートから仕訳計上します。仕訳計上後、「仕訳計上済」をセルに書き込み、保存します。処理を開始してよろしいですか？」
- チェックボックス: 「仕訳を確認してから計上する」がチェックされている。

ご利用にあたっては、FX 4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

確認用に仕訳一覧が表示されます。

Excelからの仕訳計上

77(4)日

コード非表示

FX4 ABCオートサプライ株式会社 (デモ) 本日: 令和 2年 1月 8日(水)

令和 1年11月30日~令和 1年11月30日

月日	伝番	税	税率	借方科目	コード	貸方科目	コード	取引先名	元帳摘要	取引金額
11.30	466	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	18,000
11.30	467	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	28,200
11.30	468	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	9,400
11.30	469	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	25,300
11.30	470	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	17,800
11.30	471	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	21,000
11.30	472	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	15,400
11.30	473	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	11,600
11.30	474	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	27,300
11.30	475	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	7,900
11.30	476	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	13,500
11.30	477	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	15,100
11.30	478	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	21,900
11.30	479	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	17,700
11.30	480	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	9,300
11.30	481	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	8,700

この内容で良ければ、「F4 仕訳計上」ボタンをクリックしてください。

前頁 次頁 仕訳計上 証券番号 事業区分 仕入れ日 消費税等 閉じる

ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

【F4 仕訳計上】で仕訳計上開始です。

Excelからの仕訳計上

77(4)日

コード非表示

FX4 ABCオートサプライ株式会社 (デモ) 本日: 令和 2年 1月 8日(水)

令和 1年11月30日~令和 1年11月30日

月日	伝番	税	税率	借方科目	コード	貸方科目	コード	取引先名	元帳摘要	取引金額
11.30	466	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	18,000
11.30	467	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	28,200
11.30	468	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	9,400
11.30	469	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	25,300
11.30	470	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	17,800
11.30	471	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	21,000
11.30	472	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	15,400
11.30	473	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	11,600
11.30	474	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	27,300
11.30	475	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	7,900
11.30	476	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	13,500
11.30	477	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	15,100
11.30	478	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	21,900
11.30	479	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	17,700
11.30	480	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	9,300
11.30	481	5	10.0%	従業員旅費	6112	普通預金	1113A	当社役社員	預金支払 出張旅費	8,700

確認

FX4クラウドに仕訳を計上します。
よろしいですか?

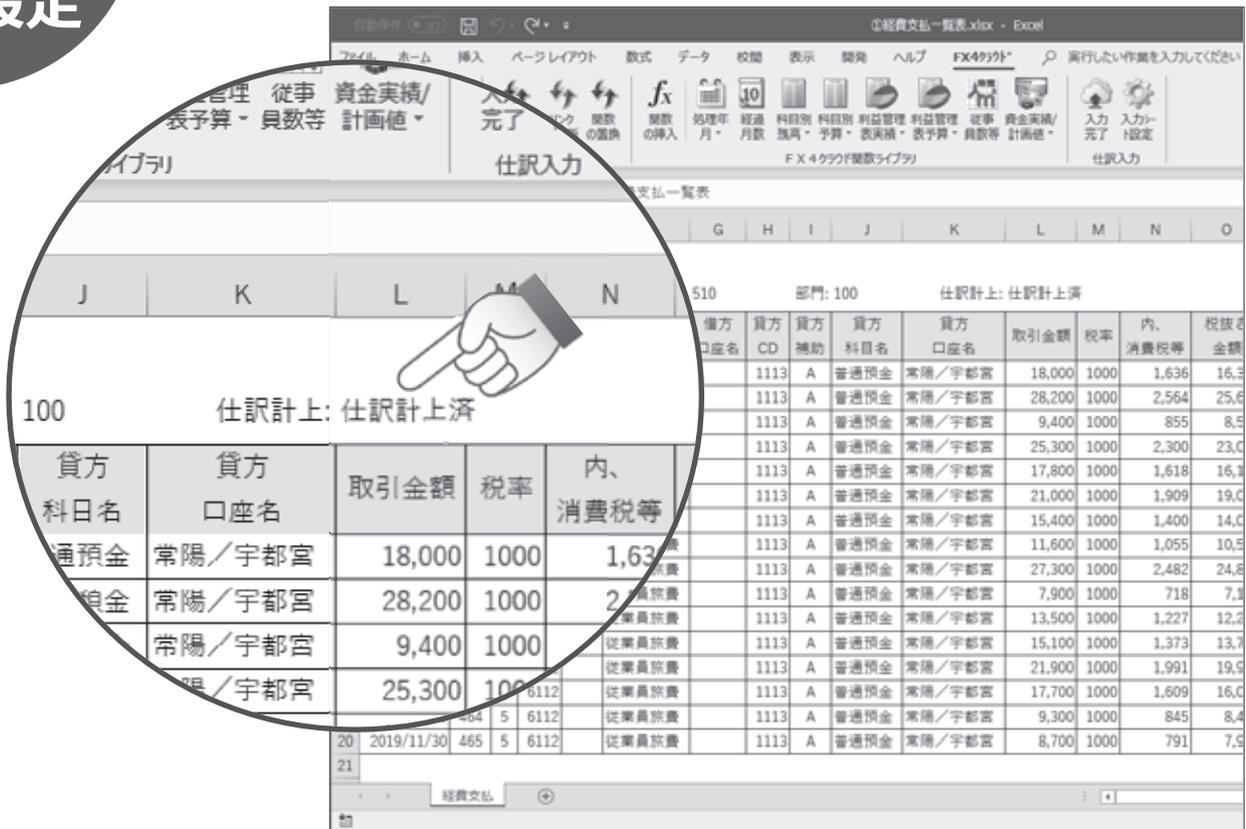
[はい(Y)] [いいえ(N)]

[F×4]

この内容で良ければ、「F4 仕訳計上」ボタンをクリックしてください。

前頁 次頁 仕訳計上 証券番号 事業区分 仕入れ日 消費税等 閉じる

ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。



ご利用にあたっては、FX4クラウドに搭載のシステム解説書・操作説明書等もあわせてご確認ください。

©TKC 2020

44

Excelからの仕訳計上機能と これまでの仕訳連携機能の使い分けのヒント

＜これまでの仕訳連携機能＞

使用ファイルは
販売管理等の
業務システム
から出力した
CSVファイル
など

統合型会計情報システム

FX4クラウド

手入力仕訳と
区別するため
どのシステム
から連動した
データか
マークがつく

Excelからの仕訳計上機能と これまでの仕訳連携機能の使い分けのヒント

<Excelからの仕訳計上機能>

使用ファイルは
経理事務で
利用している
Excelファイル



仕訳辞書等の
入力機能を使用
するのと同じく
手入力仕訳と
同じ扱い

Excelからの仕訳計上機能と これまでの仕訳連携機能の違い

項目	Excelからの 仕訳計上機能	これまでの 仕訳連携機能
①日付のデータ形式	Excelの日付	日付、文字列
②セル参照(\$A\$1)機能の有無	○	×
③読込方法の違い	Excelから直接	ファイル配置
④再読込防止の仕組みの違い	文字セット	ファイル名変更
⑤整合性チェック方法の違い	全エラー一括	エラー発見の都度
⑥整合性チェック結果の確認	計上時	読込・設計時
⑦コード変換表の有無	×	○
⑧自動仕訳番号の有無	× (別項目で代用)	○

(注) 詳細は、システム解説書等をご確認ください。

このようなExcelファイルをご利用なら TKC
Excelからの仕訳計上機能をご検討ください

①営業所からの報告を、Excelでまとめている集計表
(承認後に仕訳入力)

②社員からの承認申請を、Excelでまとめている一覧表
(承認後に仕訳入力)

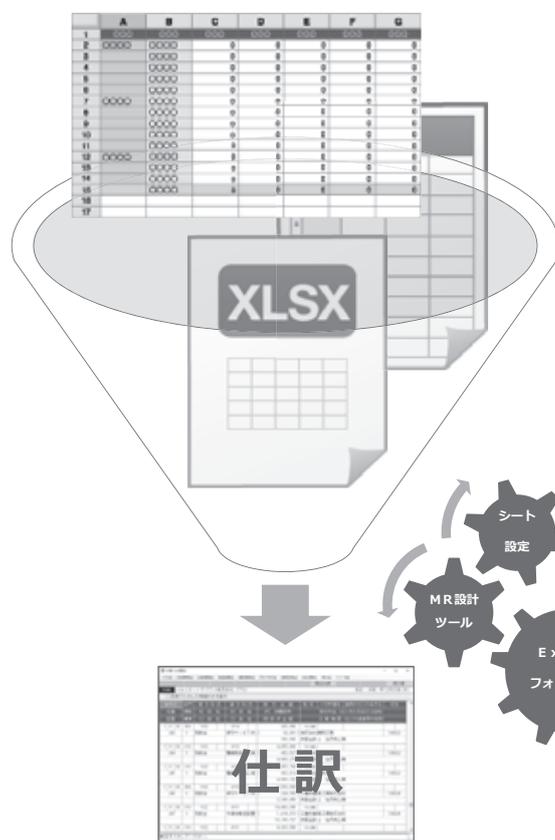
③仕訳入力前に上司に承認を得るために、Excelでまとめている一覧表 (承認後に仕訳入力)

④仕訳入力のために、Excelで計算させているデータ
(部門共通費の配賦など)

©TKC 2020

48

TKC



Coffee brake

統合型会計情報システム

FX4クラウド

Excelからの
仕訳計上機能

©TKC 2020

49

Excelからの仕訳計上機能には 3つのパターンがあります

- 1 単純仕訳（1行1仕訳）
- 2 単純仕訳（1行複数仕訳）
- 3 複合仕訳

デモンストレーション



- 単純仕訳
（1行1仕訳）の事例
- 単純仕訳
（1行複数仕訳）の事例
- 複合仕訳の事例

単純仕訳（1行1仕訳）の事例



Excel screenshot showing a single entry transaction. The spreadsheet has columns A through V. Row 1 contains header information: 会社コード: 999, 無効区分: 1, 仕訳計上済: (empty). Row 2 contains システム番号: 501. Row 3 has a note: *無効区分「1」選択で行の背景色をグレーにします. Rows 4-13 are transaction entries with columns for 無効区分, 取引年月日, 伝票番号, 証券番号, 課税区分, 科目コード, 補助科目コード, 取引金額, 消費税金額, 消費税率, 軽減対象取引区分, 取引先コード, and 取引先名. The entries show dates from 2019/11/4 to 2019/11/4 and various amounts.

単純仕訳（1行複数仕訳）の事例



Excel screenshot showing a single entry with multiple transactions. The spreadsheet has columns A through N. Row 1 contains header information: 会社コード: 999, 伝票番号: 100, 仕訳計上済: (empty). Row 2 contains システム番号: 503, 証券番号: V102. Row 3 contains 取引年月日: 2019/11/7, 無効区分: 1. Row 4 has a note: *無効区分「1」選択で行の背景色をグレーにします. Row 5 contains department codes: 4111, 4112, 4113, 4114, 7118. Rows 6-16 are transaction entries with columns for 無効区分, 部門コード, 部門名, 半導体製造装置売上, 電機部品売上, 商品売上, 保守サービス収入, 雑収入, 備考1, and 備考2. The entries show department codes like 204, 210, 220, 304, 310, 320 and various sales amounts.

Excel screenshot showing a composite journal entry (複合仕訳) spreadsheet. The spreadsheet includes a header section for company and system information, followed by a detailed table of journal entries with columns for date, account codes, amounts, and tax details.

会社コード: 999		無効区分: 1		仕訳計上済:												
システム番号: 502																
借方										貸方						
無効区分	* 取引年月日	* 伝票番号	証憑書番号	科目コード	補助科目コード	課税区分	取引金額	消費税金額	消費税率	軽減対象取引区分	部門コード	科目コード	補助科目コード	課税区分	取引金額	消費税金額
	11月8日	A210	C321	1215	0	5	2,200,000	200,000	1000		310	1113	A	0	2,338,320	
	11月8日	A210	C321	6221		0	75,600				310					
	11月8日	A210	C321	6224		8	28,720				310					
	11月8日	A210	C321	6231		8	12,000				310					
	11月8日	A210	C321	6231		5	22,000	2,000	1000		310					
	11月8日	A210	C321	1113	A	0	440,000					8211		1	440,000	40,
	11月8日	A210	C321	8211		0	500,000					1215	0	0	500,000	
1				1113	A	0						8111		1		
1				8111		0						1215	0	0		

One Point

経理業務の属人化を解消！

複数の担当者が同じ業務を行えるようにする
 業務の過程を「見える化」「標準化」する
 業務を継続できる「仕組み」を作る

Excelからの仕訳計上機能を使えば
 ●●業務の仕訳計上は、このExcelファイルで
 というようなことが可能です。



デモンストレーション



●部門配賦計算と仕訳計上

マネジメントレポート
(MR) 設計ツールのご
利用方法も、簡単です
がご説明いたします。

部門配賦計算と仕訳計上の事例

Excel ③部門配賦計算と仕訳計上.xlsx

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ FX4999+

Yu Gothic 11 A A

標準

条件付き書式 テーブルとしてセルの書式設定 スタイル

挿入 削除 書式

Σ 並べ替えとフィルター 検索と選択

このファイル Webex を共有

D7 通信交通費

部門別配賦仕訳の計上	会社コード		999		仕訳計上の簿/未簿								
2 基準年月	令和 1年10月	←「配賦基準」シート参照		システム番号	521								
3 取引年月日	2019/10/31												
4	配賦元			配賦先									
5	部門コード	部門名	科目コード *選択してください	科目名 通信交通費	配賦元金額	150,727	部門コード	部門名	配賦基準 (片面機)	配賦先金額	摘要	伝票番号	備考
6							合計	1390.0	-150,727				
7	100	本社	6218	通信交通費	210	東京支店	300.0	32,531	令和 1年10月配賦額の計上	G100			
8					220	横浜支店	410.0	44,459	令和 1年10月配賦額の計上	G100			
9					310	大阪支店	350.0	37,953	令和 1年10月配賦額の計上	G100			
10					320	京都支店	330.0	35,784	令和 1年10月配賦額の計上	G100	*差額調整		

仕訳計上の手順 配賦基準 伝票情報 販売員数 経費時間 勘定科目

100%

- ①仕訳計上はExcelのシート単位です。複数シートの一括仕訳計上はできません。
- ②Excelのシートの複数行から、1行の仕訳を作成することはできません。
- ③原則として「仕訳部の行」がシート内で連続している必要があります。なお、無効行設定により計上しない行を振り分けることができます。
- ④日付はExcelの日付形式（シリアル値）でなければ読込できません。数字や文字列の組み合わせでの読込はできません。
- ⑤WebアプリのExcelでは読込できません。P C等のデスクトップアプリのExcelでなければ読込できません。
- ⑥書き込み不可のExcelブックは読込できません。
- ⑦一度に計上したExcelシート単位の一括仕訳削除はできません。
- ⑧複合仕訳で、1複合仕訳にできる上限は1,000行です。
- ⑨読込元のExcelブックは、Excel関数やマクロ、グラフ、画像、固定ウィンドウ枠、フィルタ等を削除し、計上元のシートのみを値でF X 4クラウドに保存します。

セミナー内容

1. F X 4クラウドのシステム活用法 E x c e l からの仕訳計上機能

2. T K Cシステムのレベルアップ内容の解説 F X 4クラウドのレベルアップ内容

3. 税制改正・制度改正トピックス

- (1) T K Cモニタリング情報サービス
- (2) 電子申告義務化
- (3) 電子帳簿保存法

4. 個別ご相談会

F X 4 クラウド [2019年11月版]

主なレベルアップ内容



1. F X 4クラウドに登録した科目体系に基づく決算書の電子申告・TKCモニタリング情報サービス対応 (記帳適時性証明書が発行された場合に限る)

- (1) 個別注記表の作成・印刷機能の搭載
- (2) 決算書の確定プロセスの追加
- (3) TPS1000へのデータ連携

2. Excelからの仕訳計上

- (1) Excelアドインの追加
- (2) マスター「Excelフォーマット」の登録
- (3) 会計伝票から計上元のExcelファイルの表示

3. 電子帳簿ファイル未作成時のエラーメッセージの表示

4. マネジメントレポート設計ツールの関数追加

©TKC 2020

60

1. F X 4クラウドの決算書の電子申告・M I S対応

(1) 個別注記表の作成・印刷機能の搭載



令和2年10月1日施行の改正消費税法対応版 (tutsumi_takashi)

774(E) 日常業務(A) 仕訳連携(B) 資金管理(C) 最新業績(D) 月次・年次(E) 経営計画(F) 会社情報(G) 7-8(H) 9(F) 9(0) 9(B) (H)

FX4 ABCオートサプライ株式会社 (デモ) 本日: 令和2年1月9日(木)

日常業務 | 仕訳連携 | 資金管理 | **最新業績** | 月次・年次決算 | 経営計画 | 会社情報

A 月次決算		D 貸借対照表・損益計算書の作成	
1 月次仕訳辞書	7 月次締切業務	31 貸借対照表・損益計算書科目体系の登録	
2 共通費の配賦	8 月次巡回監査の準備	32 貸借対照表・損益計算書の作成	
3 従業員数等の登録	<TKCモニタリング情報サービス>	33 貸借対照表・損益計算書の印刷	
4 重要科目の仕訳一覧	銀行へ決算書等を電子で提供	E 株主資本等変動計算書作成	F キャッシュ・フロー計算書の作成
5 重要残高の確認	9 TKCモニタリング情報サービス	41 株主資本等変動計算書設計	51 キャッシュ・フロー計算書の設計
6 要修正仕訳一覧		42 変動事由の事前登録・確認	52 キャッシュ・フロー計算書の作成
		43 株主資本等変動計算書作成	53 キャッシュ・フロー計算書精算表
		44 株主資本等変動計算書確認	54 株主資本等変動計算書の確認
		45 株主資本等変動計算書の印刷	55 株主資本等変動計算書の印刷
B 期末整理仕訳の入力		G 個別注記表の作成	
11 科目内訳書の作成	16 精算表問合せ	61 個別注記表の作成・印刷	71 決算書データの確定
12 期末整理仕訳入力	17 仕訳帳印刷(期末整理分)		
13 期末整理仕訳(複合)入力	18 元帳印刷(期末整理分)	I 経営分析報告書の印刷	J ローカルバックアップ
14 期末整理仕訳辞書	19 精算表印刷	81 経営分析報告書の印刷	91 ローカルバックアップの起動
15 仕訳帳問合せ(期末整理分)			
C 期末整理仕訳(会計事務所入力分)の確認		K eCA-DRIVER	
21 期末整理仕訳(会計事務所入力分)の確認			L 電子帳簿の作成
		101 eCA-DRIVER連携ファイル作成	111 電子帳簿ファイルの作成

♥番号で選択してください。

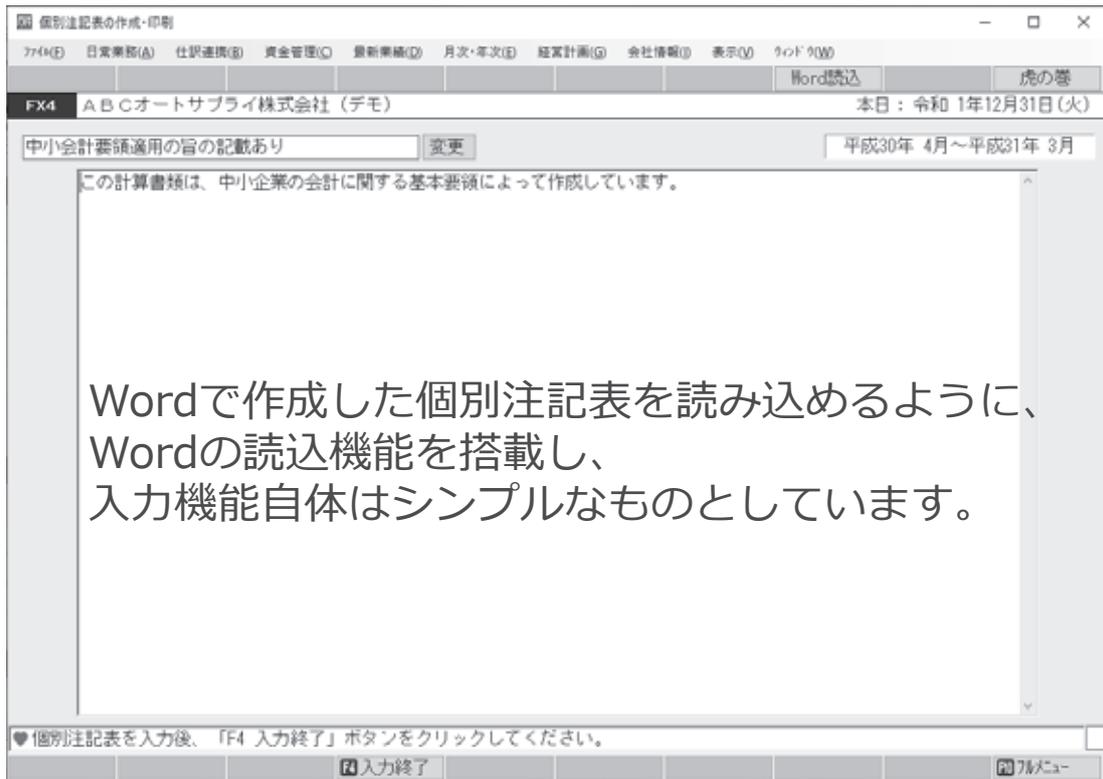
タブ切替 日付変更 終了

©TKC 2020

61

1. F X 4クラウドの決算書の電子申告・M I S対応

(1) 個別注記表の作成・印刷機能の搭載

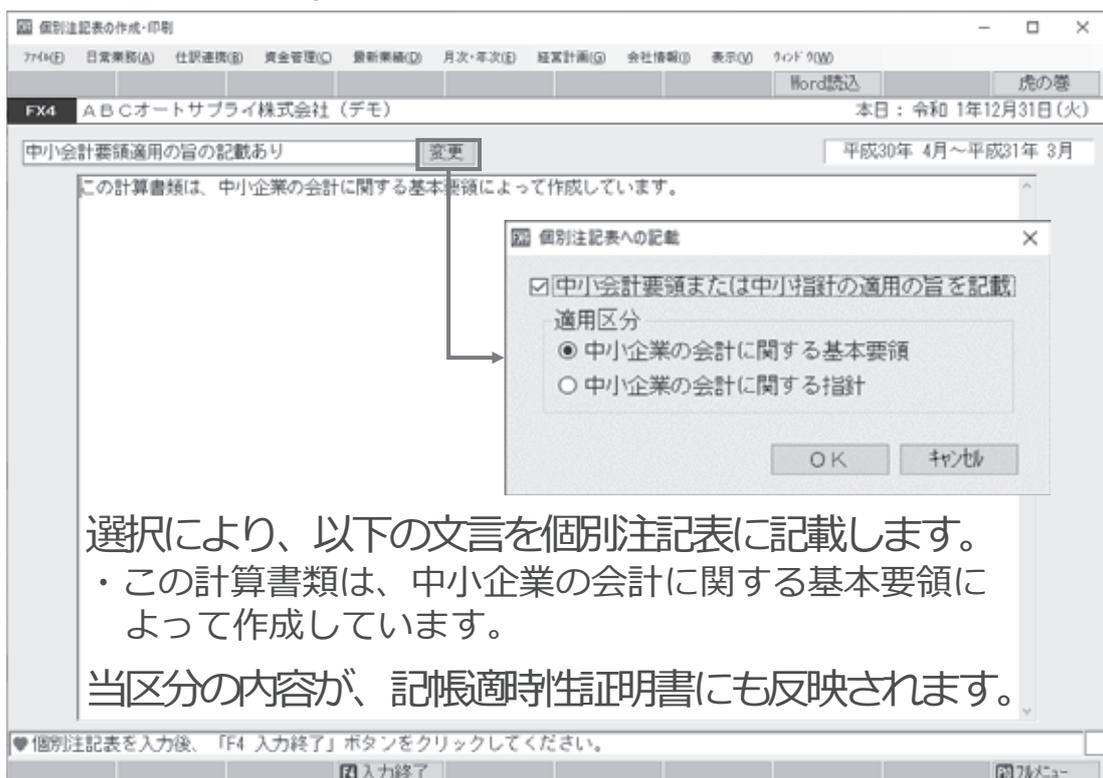


©TKC 2020

62

1. F X 4クラウドの決算書の電子申告・M I S対応

(1) 個別注記表の作成・印刷機能の搭載



選択により、以下の文言を個別注記表に記載します。

- ・この計算書類は、中小企業の会計に関する基本要領によって作成しています。

当区分の内容が、記帳適時性証明書にも反映されます。

©TKC 2020

63

1. F X 4クラウドの決算書の電子申告・M I S対応

(2) 決算書データの確定機能の搭載

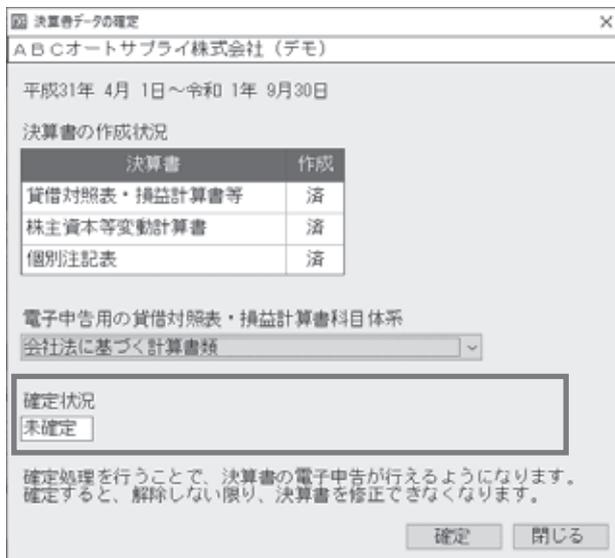


1. F X 4クラウドの決算書の電子申告・M I S対応

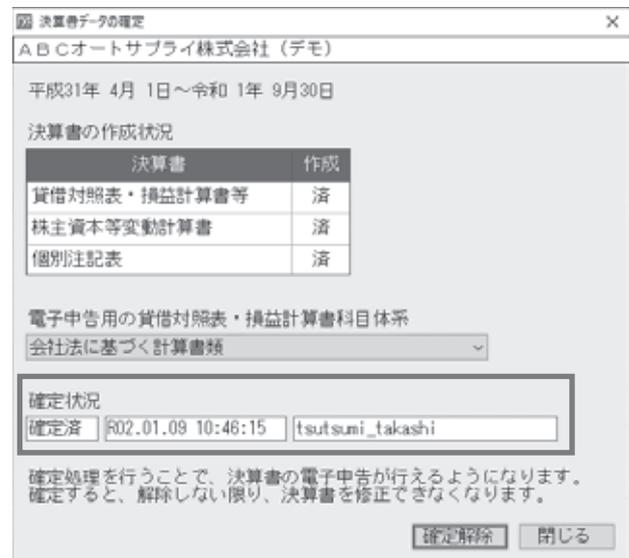
(2) 決算書データの確定機能の搭載

決算書データの確定処理を行います。確定時には、確定日時等を記録します。未確定の場合、当該決算書の電子申告はできません。

<未確定の場合>



<確定済の場合>



2. Excelからの仕訳計上機能

(1) 特長

業務システムからの仕訳読込機能およびMR設計ツールのノウハウを活かしたExcelアドイン

(1) ExcelからFX4クラウドに直接仕訳計上可能

- ①仕訳ファイル(CSV)を作成・保存し、システムを起動し読み込む作業が不要
- ②会計データを閲覧しない「現場の総務担当」による仕訳計上にも最適

(2) マネジメントレポート設計ツールとの相乗効果

- ①MR設計ツールで取得した残高等の計算結果から、別途仕訳計上
- ②仕訳計上後、“最新の情報に更新”で、変更後残高を確認可能

(3) エラー解消が容易

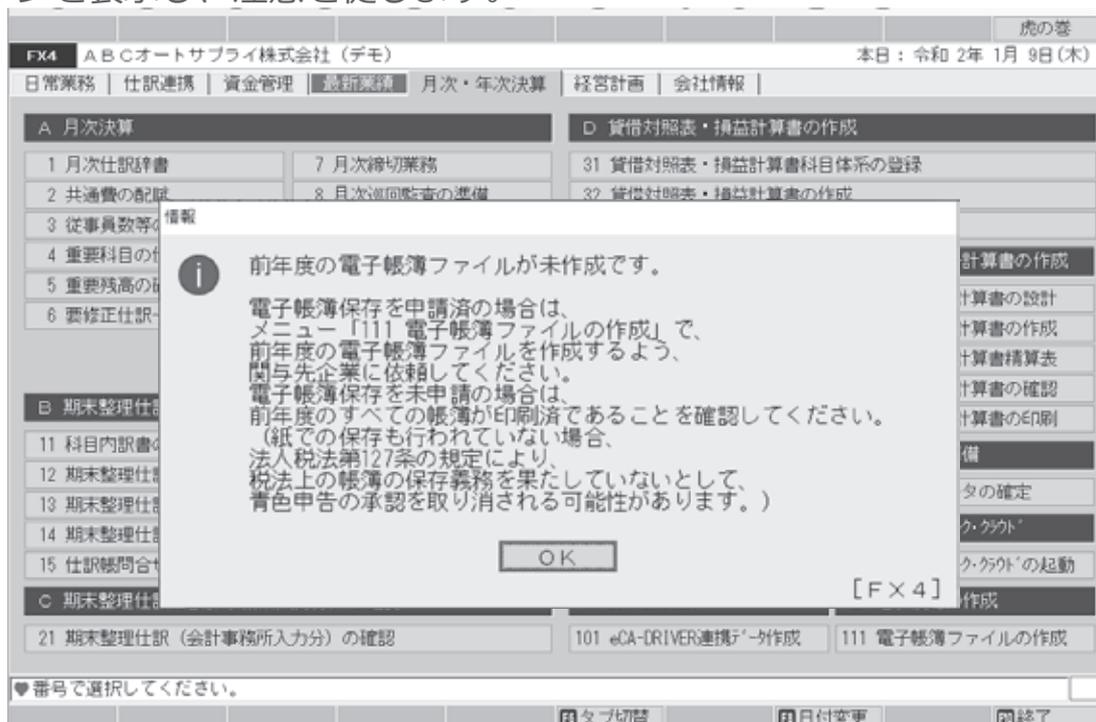
- ①エラー発生時には、その場でファイルを修正
- ②仕訳読込テンプレートを設計しつつ、一方でExcelで仕訳計上可否を確認可能

<想定する仕訳>

- ①経費計上仕訳（経費精算業務をExcelシートで運用している場合）
- ②現金入出金仕訳（現金出納帳形式で入出金額をExcelで管理している場合）
- ③部門別按分仕訳（減価償却費等を各部門に按分して計上している場合） など

3. 電子帳簿ファイル未作成時のエラーメッセージの表示

電子帳簿ファイル未作成の場合、翌期首月の月次更新完了時に、エラーメッセージを表示し、注意を促します。



4. マネジメントレポート設計ツールの関数追加

日々の発生額を取得する関数を追加します。関数の引数によっては、決算整理仕訳による発生額だけを取得することもできます。

＜関数名：FX4科目別日々の取引額＞

科目別や科目別部門別などの日々の取引額を取得します。なお、集計期間に長期を指定し対象の取引数が多くなる場合は、データ取得に時間を要しますので、ご注意ください。

引数	必須	解説
取得する金額	✓	取得する金額を以下のいずれかから選択します。 ・期間発生額を取得する場合は「期間発生額」 ・借方の期間発生額を取得する場合は「借方発生額」 ・貸方の期間発生額を取得する場合は「貸方発生額」 ・期末整理仕訳の金額を取得する場合は「期末整理額」 ・期末整理仕訳の借方額を取得する場合は「借方期末整理額」 ・期末整理仕訳の貸方額を取得する場合は「貸方期末整理額」
集計開始年月日	✓	金額の集計期間の開始年月日を日付形式で指定します。指定した年月日以降の期間が集計期間となります。
集計終了年月日	✓	金額の集計期間の終了年月日を日付形式で指定します。指定した年月日以前の期間が集計期間となります。なお、集計開始年月日から1か月超の年月日を指定するとエラーとなります。
会社コード	✓	どの会社の金額を取得するかを会社コードで指定します。
部門コード		どの部門の金額を取得するかを部門コードで指定します。当欄は部門ごとの金額を取得する場合のみ入力します。
勘定科目コード	✓	どの勘定科目の金額を取得するかを勘定科目コードで指定します。
口座コード		どの口座の金額を取得するかを口座コードで指定します。当欄は口座ごとの金額を取得する場合のみ入力します。
取引先コード		どの取引先の金額を取得するかを取引先コードで指定します。当欄は取引先ごとの金額を取得する場合のみ入力します。

FX4クラウド [2020年06月版] レベルアップ予定

スクリーンをご確認ください



現在、検討中です。

令和2年2月以降、
決定した最新情報を
スクリーンで、
ご紹介する予定です。

セミナー内容

1. F X 4 クラウドのシステム活用法
E x c e l からの仕訳計上機能
2. T K C システムのレベルアップ内容の解説
F X 4 クラウドのレベルアップ内容

3. 税制改正・制度改正トピックス
 - (1) T K C モニタリング情報サービス
 - (2) 電子申告義務化
 - (3) 電子帳簿保存法

4. 個別ご相談会

おかげさまでFX4クラウドはNo.1



富士キメラ総研
「ソフトウェアビジネス新市場2019年版」
財務・会計ソフト<SaaS>・2018年度実績



ITR「ITR Market View:ERP市場2019」
SaaS型ERP市場-会計業務分野:ベンダー
別売上金額シェアで3年連続1位
(2016・2017年度、2018年度(予測値))

1. F X 4クラウドのシステム活用法

① E x c e lからの仕訳計上機能

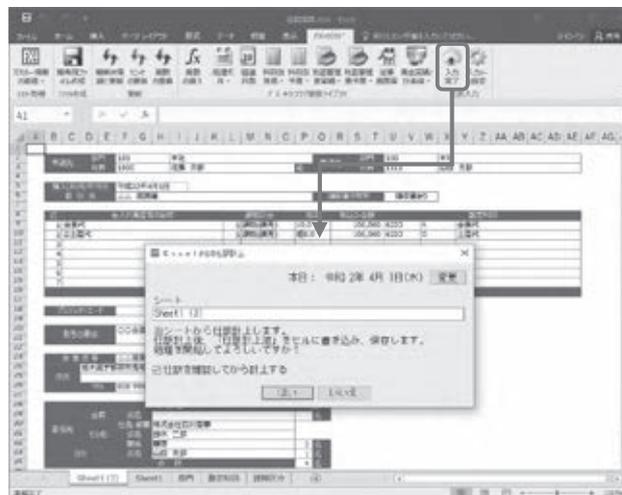
第2章 仕訳の入力

7. Excel からの仕訳計上

7. 1 機能概要

「Excel からの仕訳入力」機能は、日々の仕訳入力業務を支援する、Excel アドインです。

- (1) Excel から直接 F X 4 クラウドに仕訳計上できます。これにより、Excel から仕訳ファイル(CSV)を作成し、F X 4 クラウドを起動して読み込むといった作業が不要になります。
- (2) 他社システムとの仕訳連携機能と同様、レイアウト変換機能(仕訳読込テンプレートの設計機能)を活用して、Excel から仕訳データを作成できます。このため、条件分岐や計算式等を利用できます。
- (3) マネジメントレポート設計ツールとの併用が可能です。このため、Excel 上での仕訳計上後、最新の情報に更新するだけで、計上後の残高をその場で確認できます。
- (4) 仕訳計上に利用する Excel の書式等に制限はありません。このため、自社独自の仕訳入力シートを定義し、日々有効活用するといった運用が可能です。



- (5) また、Excel から計上した仕訳について、計上元となった仕訳ファイルが、サーバー上に自動保存されます。保存された仕訳ファイルは会計伝票画面から参照可能で、このとき、当該仕訳の計上元となった行が初期選択された状態で Excel が起動します。これにより、仕訳の確認時に、当該仕訳の計上元となった Excel ファイルまでトレースできます。



(6) Excel からの仕訳計上機能は、以下のような仕訳の計上業務に活用できます。

①経費計上仕訳

経費精算業務を Excel で運用している場合、メール等で受領した経費精算シート(Excel)の確認時にそのまま F X 4 クラウドに仕訳計上できます。

②現金入出金仕訳

現金出納帳形式で入出金額を Excel で管理している場合、金額等が確定し次第、入出金額をその場で F X 4 クラウドに反映できます。

③部門別按分仕訳

本社で一括計上した減価償却費等の各部門に対する按分結果を、F X 4 クラウドに仕訳計上できます。このとき、按分計算で必要となる、減価償却費等の額に加え、従事員数等についてもマネジメントレポート設計ツールで Excel に出力できます。

7. 2 事前準備

Excel からの仕訳計上機能の利用にあたり、事前に必要な事項等を記載します。

(1) 仕訳入力用の Excel ファイルの準備

仕訳入力で活用している Excel ファイルを準備します。

なお、仕訳入力可能な Excel ファイルの主な制限として、以下の事項にご注意ください。

① 1 シートで完結すること

シート単位で仕訳計上します。複数のシートにまたがる仕訳の計上はできません。なお、他のシートの参照結果をベースにした仕訳計上は可能です。

②「Excel の 1 行」が「仕訳の 1 行」に対応すること

Excel の行単位で、仕訳の行を作成します。Excel の複数行から 1 行の仕訳を作成することや、1 行の Excel から複数行の仕訳を作成することはできません。

③原則として「仕訳部の行」がシート内で連続していること

仕訳計上対象の行が、シート内でまとまっている必要があります。(仕訳計上対象の行が複数箇所に点在するようなシートには対応できません。)ただし、仕訳読込機能と同様、無効行設定により、計上対象の一部の行を読み飛ばすことは可能です。

④日付はシリアル値(「セルの書式設定」で「日付」を選択した際に正しく表示される値)でセットされていること

他社システムからの仕訳連携機能と異なり、Excel 上での日付の値で読み込みます。

⑤該当 PC 内のファイルまたはネットワーク共有されているファイルであること

例えば、Web ブラウザ経由で OneDrive 上の Excel ファイルを開いた場合は、仕訳計上できません。

⑥書き込み可能であること

仕訳更新後、ファイルを上書き保存するため、読み取り専用のブックからの仕訳計上はできません。

(2) F X 4クラウド上での権限設定

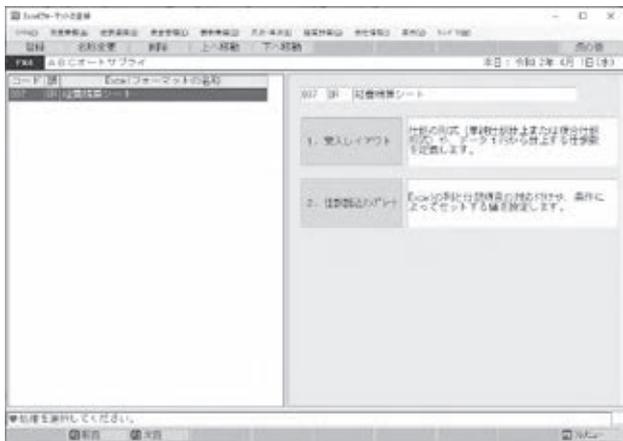
F X 4クラウドのタブ「会社情報」のメニュー「11 業務範囲の設計」で、該当の業務範囲名について、以下のメニューを利用・更新できるようにします。

- ①Excel フォーマットの登録（メニュー41）
- ②Excelからの仕訳計上



(3) F X 4クラウドでのExcel フォーマットの登録

タブ「仕訳連携」のメニュー「41 Excel フォーマットの登録」で、Excel フォーマットを登録します。



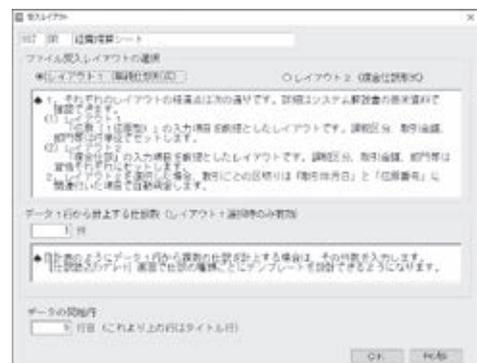
- ①新規にExcel フォーマットを登録する際には、[登録]ボタン押下後に表示される「Excel フォーマットの名称」画面で、Excel フォーマットのコードおよび名称等を入力します。なお、Excel フォーマットの名称を変更する場合は、[名称変更]ボタンから変更します。

なお、Excel フォーマットのコードには、登録済のExcel フォーマットのコードだけでなく、業務システム（仕訳読込機能）で使用しているコードも入力できません。



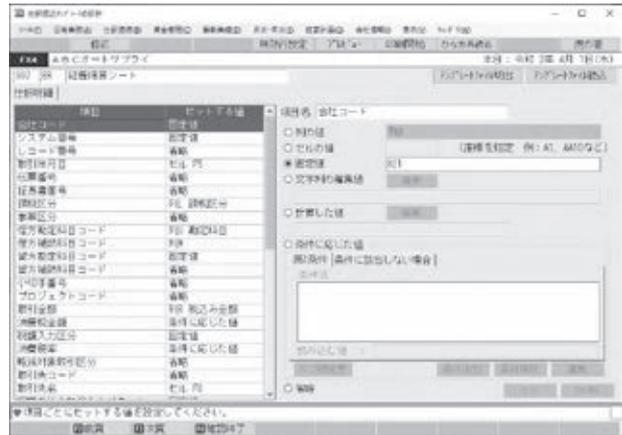
- ②次に[1. 受入レイアウト]ボタン押下後に表示される「受入レイアウト」画面で、受入レイアウトを定義します。

- 1) 「ファイル受入レイアウトの選択」欄で、「レイアウト1（単純仕訳形式）」または「レイアウト2（複合仕訳形式）」を選択します。なお、Excel からの仕訳計上機能は、他社システムからの仕訳連携機能と異なり、仕訳計上単位での仕訳の一括削除はできません。一括削除が必要な場合は、「レイアウト2（複合仕訳形式）」を選択し、計上された複合仕訳を削除する運用をご検討ください。



- 2) 「レイアウト1（単純仕訳計上）」を選択した場合は、「データ1行から計上する仕訳数」を必要に応じて設定します。
- 3) 「データの開始行」として、仕訳ファイル上の仕訳に該当する、スタート位置の行を設定します。

③次に[2. 仕訳読込テンプレート]ボタン押下後に表示される「仕訳読込テンプレート」画面で、仕訳読込テンプレートを設計します。



1) 新規に Excel フォーマットを登録し、はじめて「2. 仕訳読込テンプレート」ボタンを押下した場合、「設計方法の選択」画面が表示されます。

新規に仕訳読込テンプレートを設計する場合は、「新規に設計」を選択した後、ひな形ファイル(仕訳計上する Excel ファイル)を選択した後、仕訳計上するシートを選択します。

業務システムからの仕訳読込機能で使用している仕訳読込テンプレートの設定を複製する場合は、事前に複製元の仕訳読込テンプレートファイルを切り出した後、「設計方法の選択」画面で「設計済の読込テンプレートからの複製」を選択し、複製元の仕訳読込テンプレートファイルを読み込みます。



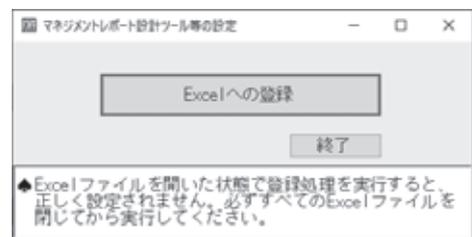
2) 「仕訳読込テンプレート」画面は、以下の点を除き、業務システムからの仕訳読込機能の仕訳読込テンプレートと同じです。

- a. Excel からの仕訳計上機能の「仕訳読込テンプレート」では、「セルの値」を選択できます。仕訳の行に関係なく、セルを参照するような仕訳計上を行う場合は、「セルの値」を選択します。なお、「条件に応じた値」や「計算した値」で計上する場合、「セルの値」は使用できません。
- b. Excel からの仕訳計上機能の「仕訳読込テンプレート」では、列の番号の表記が「A、B、C・・・」と表示されます。これは Excel を前提としているためです。なお、R1C1 形式での表記には対応していません。

(4) Excel へのアドイン登録

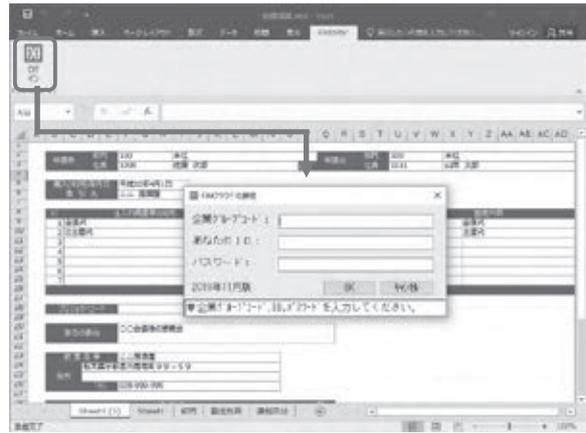
Excel からの仕訳計上機能のアドインを Excel に登録します。なお、[2018 年 10 月版]以降のバージョンで、マネジメントレポート設計ツールをインストールした PC の場合は、手順は不要です。

- ① Excel をすべて終了します。
- ② 「ツール(T)」 - 「FX4 マネジメントレポート設計ツール等の設定(A)」を選択すると当画面が開きます。
- ③ [Excel への登録] ボタンをクリックします。



(5) 入力シート設定 (Excel 上での設定)

- ① F X 4クラウドの Excel アドインにログインします。Excel 上の「FX4クラウド」タブを選択し、ログインボタンからログインします。



- ② 「入力シート設定」ボタンを押下し、「入力シート設定」画面で入力シート設定を行います。「入力シート設定」画面で「会社コード」、「Excel フォーマットコード」および「仕訳計上の済/未済」欄に、該当の値またはセルを選択します。

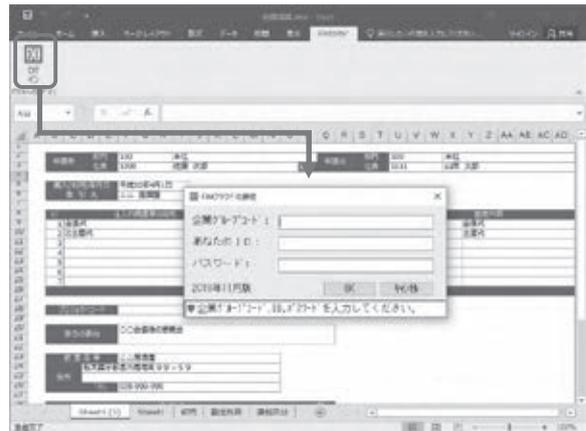
なお、「仕訳計上の済/未済」欄には、仕訳の二重計上防止のため、仕訳計上後に「仕訳計上済」の文字をセットするセルを指定します。当欄に指定したセルに値が存在する場合は、仕訳計上できません。



7.3 仕訳計上

(1) ログイン

FX4クラウドのExcelアドインにログインします。Excel上の「FX4クラウド」タブを選択し、ログインボタンからログインします。



(2) Excelシートへの入力と入力完了処理

Excelシートに値を入力し、[入力完了]ボタンを押下します。



(3) 仕訳計上

①仕訳計上の有無に関するメッセージ画面が表示されますので、計上する場合は、[はい]ボタンを押下します。



②「仕訳を確認してから計上する」欄にチェックを付けた状態で[はい]ボタンを押下すると、「計上予定の仕訳確認」画面が表示します。当画面で[F4 仕訳計上]ボタンを押下するとFX4クラウドに仕訳が計上されます。なお、「仕訳を確認してから計上する」欄にチェックが付いていない状態で[はい]ボタンを押下した場合、「計上予定の仕訳確認」画面は表示されず、そのままFX4クラウドに仕訳が計上されます。



(4) 仕訳計上完了

- ①仕訳計上処理が完了すると、あらかじめ「入力シート設定」画面の「仕訳計上の済/未済」欄に指定したセルに、「仕訳計上済」の文字が書き込まれます。当セルに何らかの値が存在する場合、当シートから仕訳計上はできません。



- ②仕訳計上処理が完了すると、計上元となった仕訳ファイルが、TKCインターネットデータセンター（TISC）に自動的に保存されます。

7. 4 計上仕訳の確認

- (1) Excel から計上された仕訳については、伝票画面で、「Ctrl+F1」キーが割り当てられた[計上元ファイル]ボタンが表示されます。

当ボタンをクリックすると、当該仕訳の計上元となった仕訳ファイル(Excel)が、計上元の行が初期選択された状態で表示されます。

このため、仕訳の確認の際、その計上元となった仕訳ファイルまでトレースできるようになります。



7. 5 利用上のご注意

- (1) 計上した仕訳の一括削除は不可

計上元の Excel 単位での仕訳の一括削除機能は搭載されていません。一括削除が必要となる可能性がある場合は、複合仕訳での計上をご検討ください。

- (2) データ容量の増加

Excel ファイルをTKCインターネットデータセンター（TISC）に保存する関係上、1仕訳あたりのデータ容量が増加します。増加するデータ容量は、計上元の Excel ファイルに依存します。

- (3) Excel ファイルは一部変更して保存

データ容量の削減等を目的として、Excel ファイルは以下のとおり保存します。

- ①計上元のシートのみが保存されます。(同じ Excel ファイル内の他のシートは保存されません。)
- ②Excel 関数(マネジメントレポート設計ツールの関数を含む)やマクロを除去し、値で保存します。
- ③グラフや画像等は削除して保存します。
- ④固定ウィンドウ枠やフィルタ等の設定も削除して保存します。
- ⑤「*.xls」や「*.xlsm」ファイルは、「*.xlsx」ファイルに変換し保存します。

- (4) 取引年月日等には表示形式が「日付」のセルを指定します。

取引年月日や実際の仕入れ日には、表示形式が「日付」のセルを指定します。表示形式が「日付」であれば、西暦・和暦や区切り記号等に関係なく計上できます。表示形式を「文字列」と定義し、

「令和 1 年 9 月 30 日」等の値を入力したセルは、日付として扱われません。

- (5) 仕訳計上シート単位で実行
複数のシートから仕訳を計上する場合、シートごとの仕訳計上処理が必要です。
- (6) 書き込み可能なファイルに限定
仕訳計上後に内部的にファイルを上書き保存するため、読み取り専用のファイルからの仕訳計上はできません。
- (7) 該当PC内のファイルまたはネットワーク共有されているファイルに限定
例えば、Web ブラウザ上で OneDrive 上の Excel ファイルを開いた場合は、仕訳計上できません。

第1章 共通操作

1. フルメニュー

1. 3 メニューバー

メニューバーのクリックにより、メニューを選択することも可能です。メニューバーを選択すると、メニューの内容がドロップダウンし表示されます。メニューを選択すると、該当するメニューが開きます。

また、メニューバーには、フルメニュー画面の各ボタンに対応したメニュー以外にも独自のメニューがあります。ここではこれらのメニューについて解説します。

1. 3. 6 マネジメントレポート設計ツール等の設定

(1) 概要

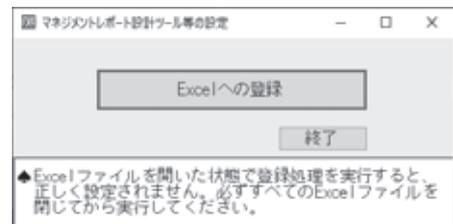
F X 4 マネジメントレポート設計ツールおよびExcelからの仕訳計上機能をご利用するための設定を行います。

(2) 操作方法

① 「ツール(T)」－「F X 4 マネジメントレポート設計ツール等の設定(A)」を選択すると当画面が開きます。

② [Excel への登録] ボタンをクリックします。

正常終了のメッセージが表示されますので、OKボタンをクリックします。



(ご注意) 当処理を実行する場合は、すべてのExcel ファイルを閉じてください。Excel ファイルが開いた状態で登録処理を実行すると正常に登録されません。

3. システム利用上の注意

3. 3 動作環境等

(1) F X 4 クラウドの推奨利用環境

OS(注1、注2)	Windows 10	Windows8.1	Windows7
エディション	Enterprise/ Pro/ Home	Enterprise/ Pro/ Windows 8.1/	Ultimate/Enterprise/Professional/Home Premium
サービスパック	—	—	SP1以上
CPU	2GHz以上		
メモリ(注3)	2GB以上		
フォントサイズ(DPI)	96DPI		
ディスプレイ解像度	1024×768以上		
ディスク空き容量	1GB以上		
インターネット環境	ブロードバンド(光回線)		
	Internet Explorer 11		

(注1) 64ビット版のOSにはWindows7、Windows8.1及びWindows10に対応しています。また、日本語版Windowsにのみ対応しています。

(注2) 動作可能スペックは1GB以上

※「動作可能スペック」とは、F X 4クラウドが動作できる最低限のスペックのため、動作可能スペックを充足している場合でも、F X 4クラウドを快適にご利用いただけない場合があります。

(2) F X 4クラウド用マネジメントレポート設計ツールの利用推奨環境

「マネジメントレポート設計ツール」をご利用いただく場合は、Microsoft Office Excel2016、Excel2013、Excel2010が必要です。

なお、Excel2016、Excel2013及びExcel2010は、64ビット版のMicrosoft Officeにも対応しています。

※F X 4クラウド用マネジメントレポート設計ツールは、下記のコンポーネントを利用しています。これらのコンポーネントは、マネジメントレポート設計ツールの登録時に自動インストールされます。

①.NET Framework 3.5以降

②VSTO SE Runtime(Microsoft Visual Studio 2005 Tools for Office Second Edition Runtime)

③Windows Installer 3.1

※Excelの設定で、下記オプションが有効であることが必要です(Office2016/Office2013/Office2010共通)。これらのオプションを有効にするには、インストールオプションで、[完全]を選択する必要があります。

①[Microsoft Office Excel]-[.NETプログラミングサポート]

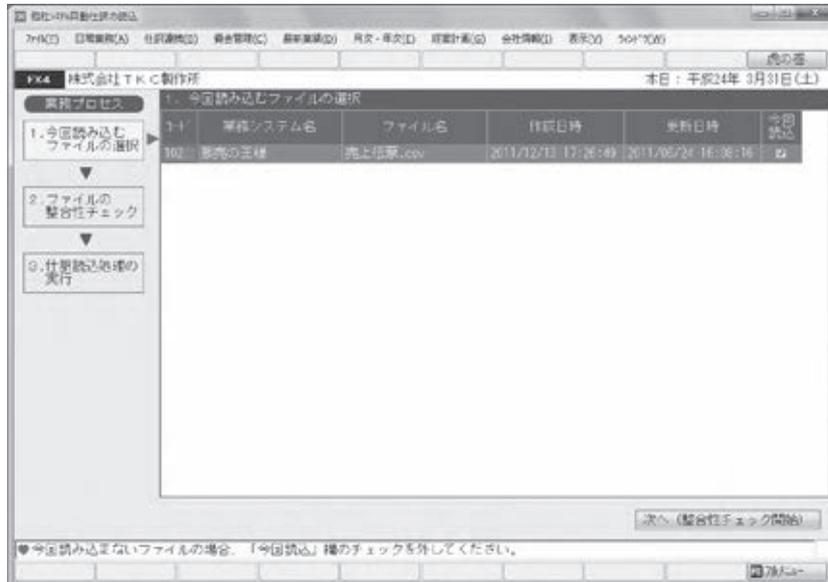
②[Office共有機能]-[.Visual Basic for Applications]

1. 2 「2 他社システム自動仕訳の読込」

1. 2. 1 概要

予め指定したフォルダ内に格納した、販売管理システム等の業務システムで作成した自動仕訳データを読み込みます。

1. 2. 2 「今回読み込むファイルの選択」画面



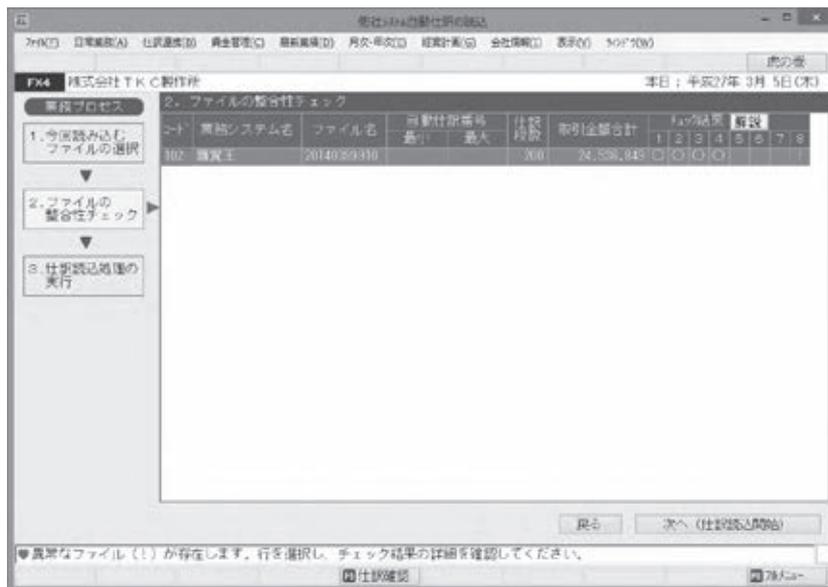
(1) 入力項目

項目名	内容
①今回読込	チェックの付いたファイルが今回の読込対象となるファイルです。今回ファイルを読み込まない場合は、チェックを外します。

(2) 操作方法

- ①当画面に表示されるファイルは、次のすべての条件を満たすファイルです。
 - 1) メニュー「33 読込フォルダの設定」画面で業務システムごとに設定したフォルダ内のファイル
 - 2) メニュー「32 ファイルレイアウト設定」の「基本情報」画面の「ファイルレイアウト」欄の設定内容に基づく拡張子のファイル
 - a. 「F X 4 標準のファイルレイアウト(slp、cls)」の場合
「*.slp」のファイルが対象となります。なお、「*.cls」のファイルについては、拡張子を除くファイル名が同じである「*.slp」のファイルとセットで読み込まれます。
 - b. 「その他のファイルレイアウト」の場合
「ファイル拡張子」欄に入力した拡張子と一致する拡張子のファイルが対象となります。
なお、部門明細ファイルと証憑情報ファイルは、仕訳明細ファイルのファイル名と同一のファイル名のファイル(拡張子を除く)とセットで読み込まれます。
- ②ファイルのタイムスタンプの「更新日時」が「作成日時」から60秒以上経過後の日時のファイルの場合、「更新日時」が赤字で表示されます。通常、ファイルを新規作成しただけでは、「更新日時」は「作成日時」とほぼ同一の時刻になります。しかし、ファイルを修正・保存すると「作成日時」は変更されませんが、「更新日時」が書き換わります。このため、「更新日時」が「作成日時」から60秒以上経過している場合は「更新日時」が赤字で表示されます。
- ③ [次へ (整合性チェック開始)] ボタンにより選択したファイルの整合性チェックを行います。

1. 2. 3 「ファイル整合性チェック」画面



(1) 操作方法

①当画面では以下の内容についてチェックされます。一覧上のチェック結果欄の1～8の文字は以下の「No.」列に対応しています。

No.	タイトル	チェック内容	チェックに該当した場合
1	ファイルの形式	ファイルの形式(列数やタグなど)が、メニュー「32 ファイルレイアウト設定」でに設定したものと同一かがチェックされます。 ※読み込対象の仕訳が存在しない場合も当チェックでエラーとなります。	エラー
2	会社コード、業務システムコード	正しい会社コード及び業務システムコードがセットされているかがチェックされます。	エラー
3	未登録のマスター項目	勘定科目コード、補助科目コード、部門コード、取引先コードのうち、マスターに存在しないコードがセットされていないかがチェックされます。	エラー
4	不完全仕訳	必須項目に正しい値がセットされているかや、借方金額と貸方金額の金額が一致しているかがチェックされます。	エラー なお、エラーの詳細はシステム解説書の「第2章 仕訳の入力」－「2. 他システムとの仕訳連携」－「2.6 データ作成上の注意」を参照してください。
5	自動仕訳番号の連続性	当チェックはメニュー「31 業務システムの登録」の「項目「自動仕訳番号」が連続していない場合に警告を表示」欄にチェックを付けた場合にのみ行われます。今回読み込むファイルの自動仕訳番号(最小)と前回の自動仕訳番号(最大)とが連続しているか、また今回読み込むファイル内で自動仕訳番号が連続しているかがチェックされます。	警告
6	ファイルのタイムスタンプ	当チェックはメニュー「31 業務システムの登録」の「ファイルのタイムスタンプ」欄のいずれかのチェックボックスにチェックを付けた場合にのみ行われます。事前の設定に基づいて、「更新日時」が「作成日時」から60秒以上経過していないか、また、読み込む日時と	警告

		「作成日時」とを比較し、上記メニューでの設定日数を経過していないかがチェックされます。	
7	同一仕訳	当チェックはメニュー「31 業務システムの登録」の「以下の項目が同一である仕訳がすでに存在する場合に警告を表示」欄にチェックを付けた場合にのみ行われます。 以下の項目が同一である仕訳がすでに存在しないかがチェックされます。 ・取引金額、勘定科目、取引先、取引金額	警告
8	消費税率	税率テーブルの「標準税率」または「軽減税率」に登録された税率と異なる税率の仕訳データを読み込もうとしていないかがチェックされます。	警告

整合性チェックの結果、上記「1」～「4」のチェックでエラーとなったファイルが1つでも存在した場合は「次へ（仕訳読込開始）」ボタンはクリックできません。その場合は、「今回読み込むファイルの選択」画面でエラーとなったファイルを読込対象から除外した後、再度整合性チェックを行います。なお、後述の「受入レイアウト」において、データ1行から計上する仕訳数を2件以上と設定している場合は、「仕訳読込テンプレートの設計」画面上に表示されるすべてのタブをご確認ください。

②一覧上のチェック結果欄には、チェック結果に応じて以下のいずれかの文字が表示されます。

- 1) ○：問題なし
- 2) !：警告
- 3) ×：エラー

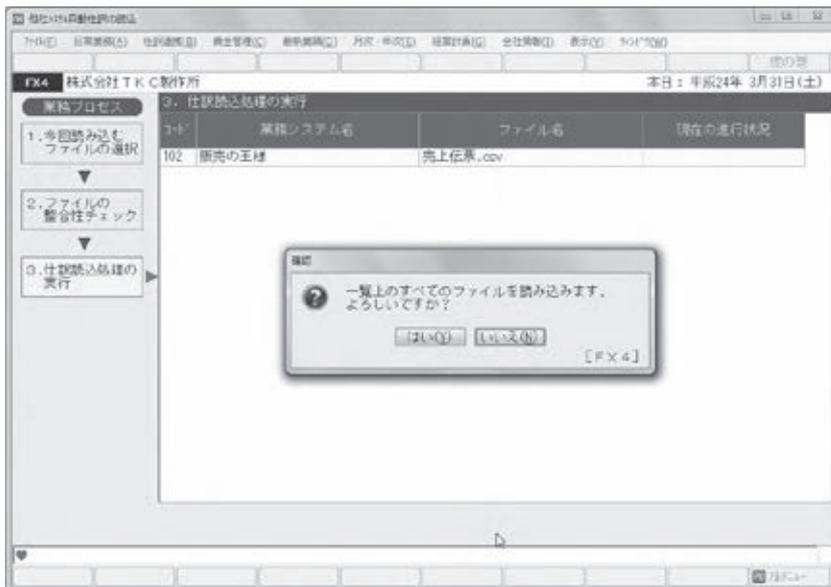
③チェック内容のうち、「3」の「未登録のマスター項目」のチェックでエラーとなった場合、当該行を選択することで、右の画面が表示され、F X 4クラウドに登録すべきマスターの内容の確認及びファイル切出しが可能です。



④チェック内容のうち、「5」～「8」のチェックに該当した場合、チェック結果の詳細とメモを入力できます。入力したメモは、メニュー「21 仕訳読込履歴」で別途確認できます。



1. 2. 4 「仕訳読込処理の実行」画面



(1) 操作方法

「現在の進行状況」列で各ファイルの読込状況を確認できます。仕訳読込処理が終了したファイルについては「読込完了」の文字が表示されます。

2. 業務システム別仕訳合計表

2. 1 「11 業務システム別仕訳合計表」

2. 1. 1 概要

各業務システムから連携した仕訳の金額を、勘定科目及び取引年月日で集計した金額を確認できます。この集計結果と業務システム上のデータとを突合することにより、FX4クラウドと業務システムとで連携モレ・ダブリがないことを確認できます。

2. 1. 2 「業務システム別仕訳合計表」画面

年月日	種	科目	借方発生額	貸方発生額	差込額(円換)
24.2.1	水		0	0	0
24.2.2	木		0	0	0
24.2.3	金		0	0	0
24.2.4	土		0	0	0
24.2.5	日		945,000	0	945,000
24.2.6	月		0	0	0
24.2.7	火		0	0	0
24.2.8	水		0	0	0
24.2.9	木		0	0	0
24.2.10	金		2,582,000	0	2,582,000
24.2.11	土		0	0	0
24.2.12	日		0	0	0
24.2.13	月		0	0	0
24.2.14	火		0	0	0
24.2.15	水		493,500	0	493,500
24.2.16	木		0	0	0
24.2.17	金		0	0	0
24.2.18	土		0	0	0
24.2.19	日		0	0	0
24.2.20	月		908,000	0	908,000

(1) 入力項目

項目名	内 容
①勘定科目	勘定科目を選択します。取引年月日が選択中の年月内である仕訳にセットされている勘定科目の中から勘定科目を選択します。
② 口座	上記①「勘定科目」が、口座別管理を行う勘定科目の場合に、勘定科目欄でダブルクリックまたはエンター・キーにより、口座一覧が表示されます。当口座一覧から、口座を選択します。
③ 取引先	上記①「勘定科目」が、取引先別管理を行う勘定科目の場合に、勘定科目欄でダブルクリックまたはエンター・キーにより、取引先の一覧が表示されます。当取引先の一覧から、取引先を選択します。 なお、口座別管理及び取引先別管理の両方を行っている勘定科目の場合は、口座を選択後に取引先を選択します。
④年月	合計額を表示する年月を指定します。 指定可能な年月は、「システム利用開始年月から3年前の期首月」から「最新の伝票入力日が属する年月」までです。

(2) 操作方法

- ①「科目の選択」欄には、各業務システムから連携した仕訳のうち、取引年月日が選択中の年月内である仕訳にセットされている勘定科目が表示されます。また、各勘定科目のうち口座別管理または取引先別管理を行っている勘定科目の場合、該当行をクリックすることにより、管理対象の口座または取引先ごとの仕訳の集計結果を確認できます。
- ②「業務システム別取引合計額」欄には、「科目の選択」欄で選択した勘定科目(または口座、取引先)の取引年月日ごとの仕訳件数及び合計額が表示されます。各日付を選択することにより、仕訳帳画面にドリルダウンできます。さらに仕訳帳画面から伝票画面にドリルダウンできます。
- ③なお、当画面に表示される金額は仕訳の「取引金額」の合計額が表示されます。このため、税抜経理を行っている場合で税抜金額を確認する場合は、ドリルダウン後の仕訳帳画面でファイル切り出し等を行い、別途集計する必要があります。
- ④「ファイル切出」ボタンで、「業務システム別取引合計額」の内容をCSVファイルに切り出すことができます。

3. 仕訳読込履歴

3. 1 「21 仕訳読込履歴」

3. 1. 1 概要

業務システムごとに及び日付ごとに、ファイル及びその読込結果を確認できます。当メニューを活用することで、「読み込むべき日に読んだか?」や「本来読み込まないはずの日に読んでいないか?」の両方を確認できます。

3. 1. 2 「仕訳読込履歴」画面



(1) 入力項目

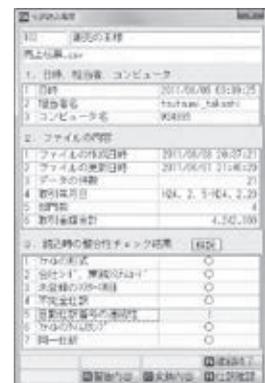
項目名	内容
①表示期間	画面上に表示する期間を、開始日及び終了日を入力することで指定します。
②読み込んだ日付のみ表示	ファイルを読み込んだ履歴のみを表示する場合は、当欄にチェックを付けます。

(2) 操作方法

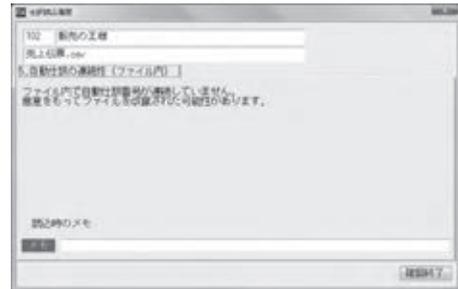
①画面右上の「読み込んだ日付のみ表示」欄にチェックを付けることにより、ファイルを読み込んだ履歴のみを表示できます。

②読込処理を行った履歴(読込の有無に関係なく)の行を選択することで、「読込履歴の詳細」画面を表示できます。

当画面で、読み込んだ日時、ファイルの内容、読込時の整合性チェックの結果を確認できます。



③読込時に警告が表示されたファイルの場合、「読込履歴の詳細」画面の [F6 警告内容] ボタンで、「整合性チェック結果」画面が表示され、警告内容の詳細を確認できます。読込時にメモを入力していた場合は当画面からメモの入力内容を確認できます。



④仕訳読込テンプレートを利用して仕訳連携を行う業務システムの場合、「読込履歴の詳細」画面の [F7 変換内容] ボタンで、「仕訳読込テンプレートの設計」画面が表示されます。現在の仕訳読込テンプレートの設定内容を確認できます。



⑤また、「読込履歴の詳細」画面の [F8 仕訳確認] ボタンで仕訳帳画面が表示されます。当該ファイルから読み込んだ仕訳を確認できます。さらに仕訳帳画面から伝票画面にドリルダウンできます。



⑥なお、画面上部の [一括削除] ボタンをクリックすると、当画面に表示されている仕訳を削除できます。

1) 一括削除可能な条件

以下の2つの条件をともに満たす場合に一括削除することができます。

削除できない仕訳が1つでも存在する場合は、一括削除できません。

- ・すべての仕訳が月次更新未了であること。
- ・すべての仕訳が訂正・削除可能※であること。

【※訂正・削除不可なケース】

- a. 承認済みの仕訳（仕訳の承認権限がないユーザ）
- b. 月次締切業務で締め切られている仕訳（月次締切業務開始後の仕訳訂正加除を禁止されているユーザ）
- c. 他のユーザが仕訳を訂正中
- d. 他のユーザが支払・入金予定を訂正中
- e. 仕訳に紐づく手形・電子記録債権の区分が変更されている
- f. TPS1000/2000 の連携データ作成により、禁止されている月の仕訳

2) 削除される情報

- a. 当機能は通常の仕訳削除を一括で行う機能です。このため、通常の仕訳削除時に削除される付随情報は、当機能においても同様に削除されます。具体的には、仕訳に付随する以下の情報が削除されます。
 - i) 支払予定データ
 - ii) 回収予定データ
 - iii) 手形明細データ
 - iv) 電債明細データ
 - v) 部門明細データ

- b. 仕訳読み込み後に訂正・削除した仕訳も削除されます。
※なお、仕訳読込時に自動発生した下記のマスターについては、仕訳入力時に追加登録した際と同様に、削除の対象となりません。
 - i) 口座コード
 - ii) 取引先コード（取引先一覧）
 - iii) 取引先コード（元帳残高管理科目）
 - iv) 内訳管理コード
 - v) 専用摘要
 - vi) 勘定科目、部門のフリガナ

- c. 削除した仕訳は、訂正・加除履歴が残ります。
削除した仕訳を「入力データ検索」や「入力モニター」メニューで確認したとき、「月日」欄には「削除」と表示されます。

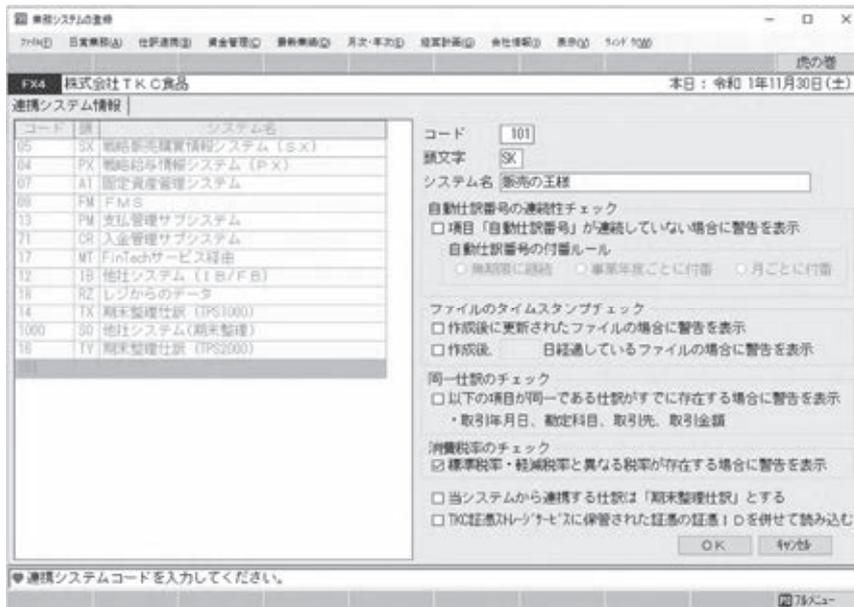
4. 事前準備（仕訳読込）

4. 1 「31 業務システムの登録」

4. 1. 1 概要

連携対象となる業務システムを登録します。また、業務システムごとに、仕訳読込時に行う整合性チェックの内容の設定や決算整理仕訳として読み込むかどうかの設定を行います。

4. 1. 2 業務システムの登録画面



(1) 入力項目

業務システムごとに以下の設定を行います。

項目名	入力桁数	内容
①コード	101～998	業務システムの「コード」を入力します。当システムに読み込むファイル内の項目「システム番号」には、当欄に入力した「コード」をセットします。Excel フォーマット (Excel からの仕訳計上機能) や他の業務システムで使用しているコードは、登録できません。
②頭文字	2 桁の半角英数字のみ有効	業務システムの「頭文字」を入力します。 仕訳を読み込んだ後、仕訳帳や元帳などで読み込んだ仕訳を確認する際に、各仕訳上の項目「自動仕訳番号」には、当欄に入力した「頭文字」と読み込むファイル内の項目「自動仕訳番号」の値 (6 桁) が組み合わせられて表示されます。 (例) 「頭文字」が「AB」で、「自動仕訳番号」が「1」の場合、仕訳帳上の「自動仕訳番号」には、「AB000001」と表示されます。 なお、Excel フォーマット (Excel からの仕訳計上機能) や他の業務システムで使用している頭文字や、次の頭文字は使用できません。 (使用できない頭文字) ①A1、②CR、③DX、④EX、⑤FM、⑥HT、⑦IB、⑧MT、⑨PM、⑩PP、⑪PX、⑫RZ、⑬S0、⑭S1、⑮SX、⑯TK、⑰TP、⑱TX、⑲TY
③業務システム名	全角 20 文字	業務システムの名称を入力します。
④自動仕訳番号の連続性チェック		

1) 項目「自動仕訳番号」が連続していない場合に警告を表示		<p>ファイルを読み込む際に、仕訳上の項目「自動仕訳番号」の連続性のチェックを行うかどうかを設定します。</p> <p>当欄にチェックを付けた場合、仕訳読込時に以下の「自動仕訳番号の連続性チェック」が行われます。当チェックに該当した場合は、警告メッセージが表示されます。</p> <p>①読み込むファイル内に、「自動仕訳番号」が空欄の行が存在する</p> <p>②読み込むファイル内で、「自動仕訳番号」が連続していない（重複または欠落）</p> <p>③前回読み込んだファイルの「自動仕訳番号」（最大値）と今回読み込む仕訳ファイルの「自動仕訳番号」（最小値）が連続していない（重複または欠落）</p>
2) 自動仕訳番号の付番ルール		<p>上記①の「項目「自動仕訳番号」が連続していない場合に警告を表示」欄にチェックが付けた場合に、自動仕訳番号が業務システム側でどの単位で付番されるのかを選択します。</p> <p>自動仕訳番号の連続性チェックは、当欄に選択した単位で行われます。「事業年度ごとに付番」または「月ごとに付番」を選択した場合は、「仕訳ファイル」内の「取引年月日」を基に、「事業年度ごと」または「月ごと」に「自動仕訳番号の連続性チェック」が行われます。</p>
⑤ファイルのタイムスタンプ		
1) 作成後に更新されたファイルの場合に警告を表示		<p>ファイルの改竄に関する整合性チェックを実施する場合は当欄にチェックを付けます。当欄にチェックを付けることで、ファイルの「更新日時」が「作成日時」から 60 秒以上経過している場合に警告メッセージが表示することができます。業務システムからファイルを出力した後で、何らかの修正が行われた場合、「作成日時」はそのままですが「更新日時」が新たに書き換わります。（大容量のファイルを新規に作成する場合は作成日時と更新日時には数秒の誤差が発生します。）このため、このような場合に警告メッセージを表示することができ、ファイルの改竄を防止できます。</p>
2) 作成後、○日経過しているファイルの場合に警告を表示 ※「○」欄は別途設定できます。		<p>ファイルの放置に関する整合性チェックを実施する場合は当欄にチェックを付けます。当欄にチェックを付けることで、仕訳連携処理を行おうとした日時と「作成日時」とを比較し、ある程度の期間が経過している場合に警告メッセージを表示することができます。業務システムから出力したファイルのある程度の期間放置し、その後に読み込むような運用を防止できます。</p>
3) ファイルの放置の許容期間 ※上記 2) の「○」欄に相当	1~999 の整数	<p>上記 2) の「ファイル作成後、○日以上経過している場合に警告を表示」欄にチェックを付けた場合に、ファイル作成後から読込までの期間について許容しない期間の最小値を日単位で入力します。</p>
⑥同一仕訳のチェック		
1) 以下の項目が同一である仕訳がすでに存在する場合に警告を表示 ・取引年月日、勘定科		<p>読込対象の仕訳がすでに入力されているかをチェックする場合は当欄にチェックを付けます。</p> <p>当欄にチェックを付けることで、入力されている仕訳の中で、読み込む仕訳と以下の項目が同一である仕訳がすでに存在する場合に警告メッセージを表示することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取引年月日、勘定科目、取引先、取引金額

目、取引先、 取引金額		
⑦消費税率のチェック		
1) 標準税率・ 軽減税率と 異なる税率 が存在する 場合に警告 を表示		<p>読込対象の仕訳にセットされた税率が、税率テーブルの「標準税率」または「軽減税率」と同じかどうかをチェックする場合は当欄にチェックを付けます。</p> <p>チェックを付けることにより、読込対象の仕訳にセットされた消費税率が次のいずれかの条件を満たす場合に警告メッセージを表示することができます。</p> <p>①仕訳の「年月日」時点で有効な税率テーブルの「標準税率」または「軽減税率」と、仕訳データの税率が異なっている。</p> <p>②仕訳の「実際の仕入れ年月日」（至年月日）時点で有効な税率テーブルの「標準税率」または「軽減税率」と、仕訳データの税率が異なっている。</p>
⑦当システムから 連携する仕訳は「決算 整理仕訳」とす る		「決算整理仕訳」を出力する業務システムの場合は当欄にチェックを付けます。当欄にチェックを付けることで、該当する業務システムから連携する仕訳は決算整理仕訳として読み込まれます。
⑧TKC 証憑ストレ ージサービスに保 管された証憑 の証憑IDを併 せて読み込 む		仕訳読み込みの際に、仕訳とTKC証憑ストレージサービスに保管済みの証憑の証憑IDを併せて読み込むかを設定します。当欄にチェックを付けることで、仕訳の読み込み時に、指定されたTKC証憑ストレージサービスの証憑を仕訳に関連づけます。なお、TKCシステム（コード001～100までと999）については、当項目を設定することはできません。

(2) ボタン

- ① [F5 上へ] [F6 下へ] ボタンで、業務システムの表示順を任意に設定できます。
- ② [登録] ボタンで登録した「業務システム」を削除できます。なお、TKCシステムである次の業務システムは削除できません。
 - 1) (04)戦略給与情報システム(PX)
 - 2) (05)戦略販売購買情報システム(SX)
 - 3) (07)固定資産管理システム
 - 4) (08)FMS
 - 5) (12)他社システム(IB/FB)
 - 6) (13)支払管理サブシステム
 - 7) (14)法人決算申告システム(TPS1000)
 - 8) (16)個人決算申告システム(TPS2000)
 - 9) (17)FinTech サービス経由
 - 10) (18)レジからのデータ
 - 11) (71)入金管理サブシステム
 - 12) (1000)他社システム(期末整理)
- ③ [印刷開始] ボタンで帳表「連動対象業務システム一覧表」を印刷できます。

4. 2 「32 ファイルレイアウト設定」

4. 2. 1 概要

- (1) 業務システムから出力されるファイルのレイアウトに関する情報をFX4クラウドに登録します。
- (2) 大きく以下の3つの内容を業務システムごとに登録します。

①基本情報

業務システムから出力されるファイルの形式や各項目の区切り文字などを登録します。

②仕訳読込テンプレートの設計

業務システムから出力されるファイルの形式が「F X 4クラウド標準のファイルレイアウト(slp、cls)」ではない場合に、業務システム上のファイルの各項目とF X 4クラウドの仕訳の各項目との対応付けや、条件によってセットする値を設定します。

これにより、業務システム上のファイルの値を元に、F X 4クラウドの仕訳上の各項目へ動的に値をセットすることも可能となります。例えば、F X 4クラウドの「課税区分」及び「税率」に該当する値が、業務システムでは1つの区分にまとめられた値になっている場合に、当該区分の値に応じて「課税区分」や「税率」に任意の値をセットできます。

③コード変換表の登録

業務システムとF X 4クラウドとで、勘定科目コード、補助科目コード、部門コード、取引先コード、課税区分の体系が異なる場合、業務システム上のコードとそれに対応するF X 4クラウドのコードを定義します。仕訳読込時には、定義したコード変換表に基づいて自動的にコードが変換されて読み込まれます。

4. 2. 2 ファイルレイアウト設定画面



(1) 操作方法

- ① 「1. 基本情報」ボタンで、「基本情報」画面を起動します。
- ② 「2. 仕訳読込テンプレートの設計」ボタンで、「仕訳読込テンプレートの設計」画面を起動します。
当ボタンは「基本情報」画面の「仕訳読込テンプレートの利用」欄を「利用する」とした場合に限り利用できます。
- ③ 「3. コード変換表の登録」ボタンで、「コード変換表の登録」画面を起動します。

4. 2. 3 「基本情報」画面



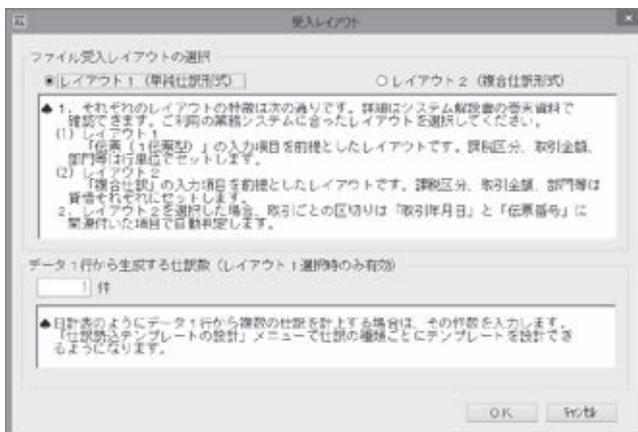
(1) 入力項目

項目名	入力桁数	内容
①仕訳読み込みテンプレートの利用		<p>業務システムから出力されるファイルのレイアウトをF X 4標準のファイルレイアウト(slp、cls)から読み込む(※1)か、または仕訳読み込みテンプレートを利用して読み込むかを選択します(※2)。</p> <p>「利用する」の場合、「ファイル形式」欄を入力した後、「仕訳読み込みテンプレートの設計」画面で別途設定を行います。</p> <p>(※1) F X 4標準のファイルレイアウトには「レイアウト1」「レイアウト2」の2種類があります。(システム解説書の巻末資料の2. 3. をご参照の上、いずれを利用するか選択してください。選択は当画面上部の[受入レイアウト]ボタンで行います。)なお、いずれのレイアウトの場合も、タブ区切りテキストファイル(拡張子slp、cls)から仕訳を読み込みます。</p> <p>(※2) 他社システム自動仕訳読み込み機能は、業務システムから切り出された仕訳データ1行から1仕訳を生成することを原則としますが、選択により複数仕訳を読み込むことも可能です。この場合は、当欄を「利用する」と設定の上、当画面上部の[受入レイアウト]ボタンで、データ1行から生成する仕訳数を入力してください。</p>
②区切り文字		<p>当欄は「仕訳読み込みテンプレートの利用」欄を「利用する」と設定した場合に限り選択できます。ファイルの内の値と値を区切る文字を、「タブ」または「カンマ」から選択します。</p>
③データの開始行	1～999の整数	<p>当欄は「仕訳読み込みテンプレートの利用」欄を「利用する」と設定した場合に限り選択できます。業務システムから出力されるファイルの各行のうち、読み込むデータが格納されている行が開始する行数を入力します。当欄に入力した行数よりも少ない行数のデータはタイトル行とみなされ、読み込まれません。</p>
④年月日形式		<p>当欄は「仕訳読み込みテンプレートの利用」欄を「利用する」と設定した場合に限り選択できます。業務システムから出力されるデータのうち、日付に該当する値をセットした項目の日付の表現方法を以下の中から選択します。なお、以下の例はすべて2010年4月1日及び2010年12月31日の場合です。</p>

		<p>①YYYYMMDD (例: 20100401、20101231)</p> <p>②YYYY/MM/DD (例: 2010/04/01、2010/12/31)</p> <p>③YYYY MM DD (例: 2010 04 01、2010 12 31)</p> <p>④YY M D (例: 10 4 1、101231)</p> <p>⑤YYYY年M月D日 (例: 2010年4月1日、2010年12月31日)</p> <p>⑥和暦 (例: 22 4 1、平成22年12月31日)</p> <p>※「和暦」については、下記の形式に対応しています。</p> <p>1) 区切り文字が「年」「月」「日」</p> <p>平成22年_1月_1日 平成22年01月01日 平成22年1月1日 H22年_1月_1日 H22年01月01日 H22年1月1日 22年_1月_1日 22年01月01日 22年1月1日</p> <p>2) 区切り文字が「/」</p> <p>平成22/_1/_1 平成22/01/01 平成22/1/1 H22/_1/_1 H22/01/01 H22/1/1 22/_1/_1 22/01/01 22/1/1</p> <p>3) 区切り文字「なし」</p> <p>平成22_1_1 H220101 22_1_1 220101</p>
⑤仕訳明細ファイルの拡張子		<p>当欄は「仕訳読込テンプレートの利用」欄を「利用する」と設定した場合に限り選択できます。仕訳明細ファイルの拡張子を入力します。</p>
⑥部門明細ファイルを利用する		<p>①当欄は「仕訳読込テンプレートの利用」欄を「利用する」と設定した場合に限り選択できます。仕訳明細ファイルと併せて部門明細ファイルからの読込を行う場合にチェックを付けます。</p> <p>②ただし、次のいずれかに該当する場合、当欄は選択できません。</p> <p>1) [受入レイアウト] ボタンで「レイアウト2 (複合仕訳形式)」を選択した場合</p> <p>2) [受入レイアウト] ボタンで「データ1行から生成する仕訳数」を2件以上と設定した場合</p> <p>③なお、部門明細ファイルに関する詳細は、システム解説書の「第2章 仕訳の入力」-「2. 他システムとの仕訳連携」-「2.3 自動仕訳ファイルの形式」をご覧ください。</p>
⑦部門明細ファイルの拡張子		<p>当欄は「部門明細ファイルを利用する」欄にチェックを付けた場合に限り選択できます。部門明細ファイルからの読込を行う場合、その拡張子を入力します。</p>
⑧証憑情報ファイルを使用する		<p>①当欄は「仕訳読込テンプレートの利用」欄を「利用する」と設定した場合に限り選択できます。仕訳明細ファイルと併せて証憑情報ファイルからの読込を行う場合にチェックを付けま</p>

		<p>す。</p> <p>②ただし、次のいずれかに該当する場合、当欄は選択できません。</p> <p>1) [受入レイアウト] ボタンで「レイアウト 2 (複合仕訳形式)」を選択した場合</p> <p>2) [受入レイアウト] ボタンで「データ 1 行から生成する仕訳数」を 2 件以上と設定した場合</p> <p>③なお、当ファイルを取り込むには、「31 業務システムの登録」メニューにて、「TKC 証憑ストレージサービスに保管された証憑の証憑 ID を併せて読み込む」にチェックを入れる必要があります。</p>
⑨証憑情報ファイルの拡張子		<p>当欄は「証憑情報ファイルを利用する」欄にチェックを付けた場合に限り選択できます。証憑情報ファイルからの読込を行う場合、その拡張子を入力します。</p>

4. 2. 4 「受入レイアウト」画面



(1) 入力項目

項目名	入力桁数	内容
①ファイル受入レイアウトの選択		受け入れるファイルのレイアウトを「レイアウト 1 (単純仕訳形式)」とするか「レイアウト 2 (複合仕訳形式)」とするか選択します。
②データ 1 行から生成する仕訳数	1~99 の整数	業務システムから切り出されたデータ 1 行から生成される仕訳数を入力します。なお、当欄は「レイアウト 1 (単純仕訳形式)」を選択した場合のみ有効となります。

(2) 操作説明

① F X 4 クラウド標準のレイアウトは次の 2 種類あります。「ファイル受入レイアウトの選択」欄ではどちらのレイアウトを利用して読み込むか選択します。業務システムから切り出されるデータに合ったレイアウトを選択してください。

1) レイアウト 1 (単純仕訳形式)

「伝票 (1 伝票型)」の入力項目を前提としています。課税区分、取引金額、部門等は行単位でセットします。

取引年月日	伝番	税区	借方科目	貸方科目	取引金額	内、消費税等	消費税率	取引先	元帳摘要	部門
20150301	1	1	1122	4111	210000	10000	500	100001	本日掛売上高	200
20150301	1	1	1122	4112	105000	5000	500	100002	本日掛売上高	200
20150301	2	11	4115	1122	21000	1000	500	100001	掛売上高返品	200

2) レイアウト 2 (複合仕訳形式)

「複合仕訳」の入力項目を前提としています。課税区分、取引金額、部門等は貸借それぞれにセットします。

取引年月日	伝番	借方						貸方						元帳摘要
		部門	税	科目	金額	税額	税率	部門	税	科目	金額	税額	税率	
20150301	1	000	0	1122	315000	0		200	1	4111	210000	10000	500	本日掛売上高
20150301	1								1	4112	105000	5000	500	本日掛売上高
20150301	2	000	11	4115	21000	1000	500	200	0	1122	21000	0		掛売上高返品

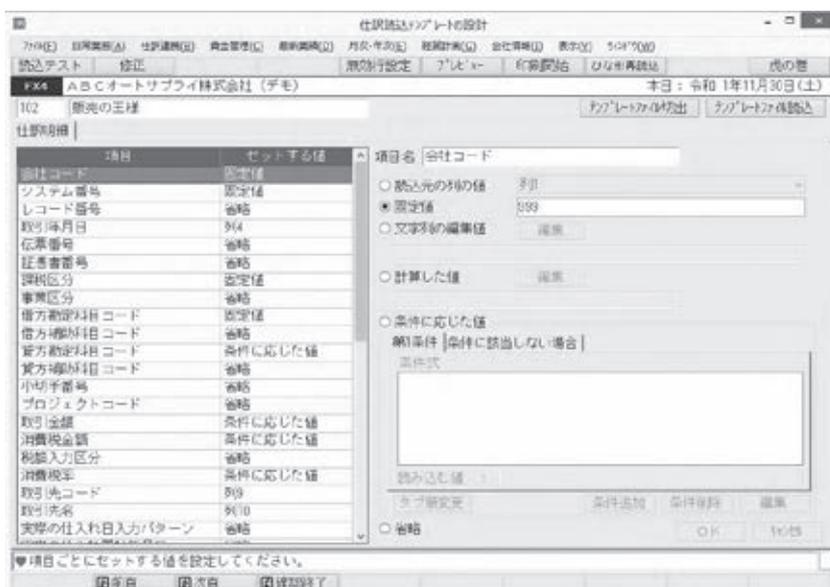
- a. レイアウト 2 を使用して読み込んだ場合、仕訳データの読込時に、諸口勘定を使用して単純仕訳へ自動分解されます。また、読込後に問合せ画面から伝票画面までドリルダウンした場合は、複合仕訳入力画面が表示されます（F X 4 クラウドの複合仕訳入力機能を利用して入力した取引と同様の扱いとなります）。
- b. 上記の通り、諸口勘定を利用した単純仕訳に自動分解した上で読み込みます。このため、「会社情報」タブのメニュー「2 経理情報」で、諸口勘定に次の条件のすべてに合致する科目が登録されている必要があります。資金管理を行っている場合（システム情報の「5. 資金管理」にチェックをしている場合）は、資金諸口、資金外諸口の両方に、資金管理していない場合は、資金諸口、資金外諸口どちらか一方に科目を登録する必要があります。
- i) 資金諸口
- ・ 貸借対照表科目
 - ・ 消費税が「発生しない」科目（消費税属性が B）
 - ・ 資金定義「する」としている科目
 - ・ 口座別管理「しない」科目
 - ・ 取引先別管理「しない」科目
 - ・ 部門別管理「しない」科目
 - ・ 経営分析属性が「現金」「流動性預金」以外の科目
 - ・ 内訳管理「しない」科目
- ii) 資金外諸口
- ・ 貸借対照表科目
 - ・ 消費税が「発生しない」科目（消費税属性が B）
 - ・ 資金定義「しない」としている科目
 - ・ 口座別管理「しない」科目
 - ・ 取引先別管理「しない」科目
 - ・ 部門別管理「しない」科目
 - ・ 内訳管理「しない」科目
- c. 単純仕訳に分解する際に使用する諸口勘定は次の通りとなります。
- i) 資金管理を行っている場合
- 貸借科目がすべて資金外科目の場合は、登録されている資金外諸口勘定を使用します。
貸借科目に資金科目が存在する場合は、登録されている資金諸口勘定を使用します。
- ii) 資金管理を行っていない場合
- 資金外諸口科目が登録されている場合は資金外諸口科目を使用します。登録されていない場合は資金諸口科目を使用します。
- d. レイアウト 2（複合仕訳形式）で読み込む場合は、単純仕訳に分解した際、仕訳が 1,000 枚以下になるようにしてください。1,000 枚を超えると仕訳読込時にエラーとなります。
- ②他社システム自動仕訳の読込機能は、業務システムから切り出されたデータ 1 行に対して 1 仕訳を生成することを原則としていますが、データによっては 1 行から複数仕訳を生成したいケースも存在します。例えば、下図のようなケースでは、1 日につき「現金売上」「カード売上」「商品券売上」「他店商品券売上」の 4 種類の仕訳を生成することとなります。

A	B	C	D	E
年月日	現金売上	カード売上	商品券売上	他店商品券売上
26/10/1	120,059	189,778	0	13,000
26/10/2	135,860	160,379	45,000	25,000
26/10/3	230,015	178,335	0	0
26/10/30	188,488	122,888	23,200	0
26/10/31	189,116	145,250	11,000	58,220

このようなデータを読み込む場合は、「データ 1 行から生成する仕訳数」欄にデータ 1 行につき生成する仕訳の件数を入力してください。なお、当欄は「レイアウト 1（単純仕訳形式）」にのみ対応しています。当機能をご利用の場合は「レイアウト 1（単純仕訳形式）」を選択してください。

- ③さらに、読込処理実行時に、特定条件に合致する行については読み飛ばすということも可能です。「取引金額が 0 円の行は読み飛ばしたい」等の場合にご利用いただけます。後述の [無効行設定] で行えます。

4. 2. 5 「仕訳読込テンプレートの設計」画面



(1) 入力項目

項目名	入力桁数	内容
①セットする値 (画面右側のラジオボタン群)		<p>「読込元の列の値」「固定値」「文字列の編集値」「計算した値」「条件に応じた値」「省略」の中から選択します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「読込元の列の値」とした場合、指定した「読込元の項目名」の値がそのまま読み込まれます。 「固定値」とした場合、入力した「固定値」が読み込まれます。 「文字列の編集値」とした場合、複数の列の値を結合した文字列や、逆に文字列の 1 部分のみを抽出した値が読み込まれます。 「計算した値」とした場合、ファイル内の値や「固定値」を元に設定した計算式の結果が読み込まれます。 「条件に応じた値をセット」とした場合は、条件を定義し、条件ごとに読み込む値を設定します。 「省略」とした場合、選択中の項目の読込を省略します。

1) 読込元の項目名		当入力欄は、「読込元の列の値」の場合のみ設定できます。「ひな型ファイルまたはテスト用データ」における各列の中から、選択中の項目に該当する列を選択します。
2) 固定値	半角 40 文字	当入力欄は、「固定値」の場合のみ設定できます。選択中の項目に読み込む値を入力します。
3) 文字列の編集値		「文字列の編集値」の場合に読み込む文字列を設定します。詳細は下記「(2)③文字列編集値の設定」を参照ください。
4) 計算式		「計算した値」の場合に「計算式」を設定します。詳細は下記「(2)③④計算式の設定」を参照ください。
5) 条件		「条件に応じた値」の場合に「条件」を設定します。設定できる「条件」の数に制限はありません。詳細は下記「(2)⑤条件の設定」を参照ください。

(2) 操作方法

① ひな形ファイルの読込

当画面をはじめて表示した場合、「ひな型ファイルの読込」画面が表示されます。

当画面で仕訳として読み込むファイルと同様のレイアウトのファイルを指定します。「仕訳読込テンプレート設計」画面では業務システムから出力したファイルの列を元に仕訳にセットする値が決定するため、ファイルの列数等を特定する目的からこのひな型ファイルを読み込む必要があります。



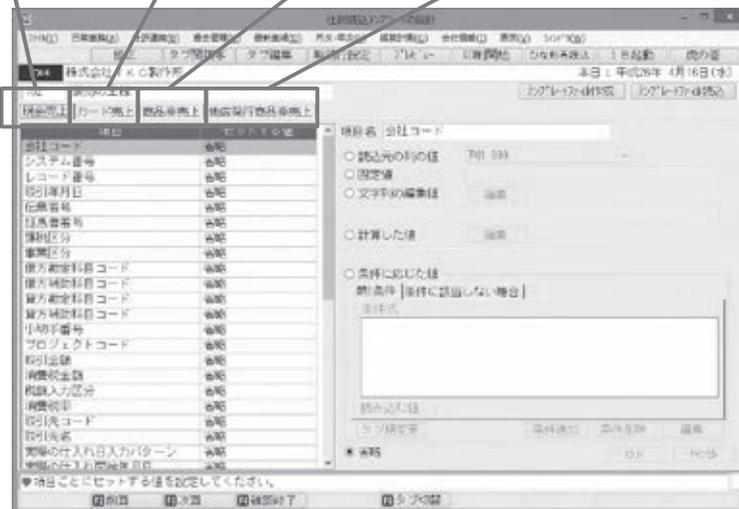
また、業務システムから出力されるファイルのレイアウトに変更があった場合など、ひな型ファイルの再読込は「ひな型再読込」ボタンで行います。

なお、レイアウトの読込と同時に仕訳ファイル 1 行目のデータの内容を、仕訳読込テンプレートの列のラベルとして採用します。1 行目が見出し行ではなく、1 行目からデータが格納されている場合、見出し行のみの仮のファイルを作成して読み込むとテンプレート設計の際に便利です。

② データ 1 行から複数件の仕訳を生成する場合の操作について

1) 上記「4. 2. 4 「受入レイアウト」画面」で「データ 1 行から生成する仕訳数」を 2 件以上と設定した場合、それぞれの仕訳種類ごとに仕訳読込テンプレートの設計をする必要があります。

A	B	C	D	E
年月日	現金売上	カード売上	商品券売上	他店商品券売上
26/10/1	120,059	189,778	0	13,000
26/10/2	135,860	160,379	45,000	25,000
26/10/3	230,015	178,335	0	0
26/10/31	189,116	145,250	11,000	58,220



2) 例えば、上図のようなケースで、1日につき「現金売上」「カード売上」「商品券売上」「他店商品券売上」の4種類の仕訳を生成するために「4件」と設定した場合、仕訳読込テンプレートの設計画面に4種類のタブが表示されます。各タブで、仕訳種類ごとに設計を行います。なお、このように設計した場合、仕訳データの読込は横方向→縦方向の順となります。

①まず最初に横方向へ読み込む

A	B	C	D	E
年月日	現金売上	カード売上	商品券売上	他店商品券売上
26/10/1	①120,059	②189,778	③0	④13,000
26/10/2	⑤135,860	⑥160,379	⑦45,000	⑧25,000
26/10/3	⑨230,015	⑩178,335	⑪0	⑫0
26/10/31	189,116	145,250	11,000	58,220

②次に縦方向へ読み込む

3) [タブ編集] ボタンをクリックすると、右の画面が表示されます。ここではタブの見出しと表示順を設定できます。

「仕訳の種類」の初期値は「仕訳種類 1」「仕訳種類 2」「仕訳種類 3」・・・となっていますので、「現金売上」「カード売上」等、仕訳の種類を判別しやすい名称へ変更すると便利です。

また、仕訳データはタブの左から右へ順に読み込まれますので、読込順を変更したい場合は、[F6 上へ移動] [F7 下へ移動] ボタンをクリックします。



※仮に下図のようにタブ順を設定している場合、C列の「カード売上」のほうがB列の「現金売上」よりも先に読み込まれてしまいます。

A	B	C	D	E
年月日	現金売上	カード売上	商品券売上	他店商品券売上
26/10/1	②120,059	①189,778	③0	④13,000
26/10/2	⑥135,860	⑤160,379	⑦45,000	⑧25,000
26/10/3	⑩230,015	⑨178,335	⑪0	⑫0
26/10/31	189,116	145,250	11,000	58,220

- 4) また、[タブ間複写] ボタンをクリックすると、他のタブで設計した内容を別のタブへ複写できます。例えば、「現金売上」で設計した内容を「カード売上」へ複写し、科目コード、取引金額等の一部項目のみを変更して完成させるという利用が可能です。



- 5) また、下記⑥の無効行設定も仕訳種類ごとに可能です。無効行設定の詳細は下記⑥をご参照ください。

③ 文字列編集値の設定



1) 文字列編集値の設定機能について

当機能を利用して次のような読込が可能です。

a. 複数文字列を1つに結合して読み込む

例えば、販売管理システムから「単価、数量、商品名」が別々の列に切り出されてくるような場合、これを結合して「元帳摘要」にセットするという読込が可能です。

b. 文字列の一部を取り出して読み込む

逆に「業務システムの列にセットされた取引コード20文字の先頭3文字が部門コードを表す」というように、列の値をそのままセットするのではなく、先頭の3文字分だけをセットすることが可能です。

2) 設定方法

- a. ファイル内の値を設定する場合は、「ファイル内の列名」を選択し、画面左部の [↓] ボタンをクリックします。もし、ファイル内の値のうち、一部分だけを取り出したい場合は「部分文字列」

欄にチェックを付けて、取り出す文字列の開始位置と何文字分を取り出すか指定してください。

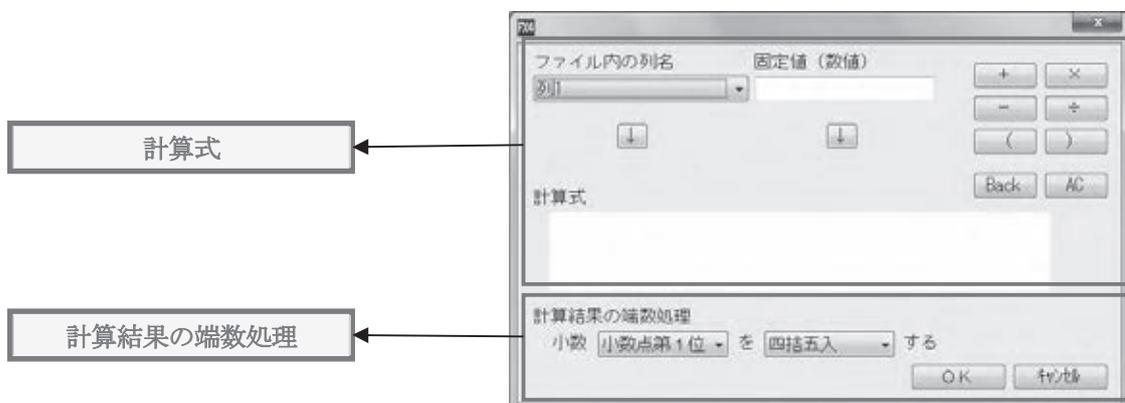
例) 列1の値がABCDEFGHIJKLの場合

- i) 「1文字目から4文字分」と指定した場合は「ABCD」が取り出されます。
- ii) 「5文字目から2文字分」と指定した場合は「EF」が取り出されます。

なお、「部分文字列」とした場合、「セットする値」欄には、開始位置(A)と何文字分(B)かという情報が(A:B)の形式で表示されます。

- b. 固定値を設定する場合は、「固定値(文字列)」欄に値を入力し、画面右部の[↓]ボタンをクリックします。
- c. 複数回[↓]ボタンをクリックすると、現在設定済みの値の後ろに当該文字列が追加されます。
- d. [空欄(半角)], [空欄(全角)]ボタンをクリックすると、現在設定済みの値の後ろに半角スペース、全角スペースが追加されます。

④計算式の設定



1) 計算式機能について

F X 4クラウドに仕訳を読み込む際に、業務システム上の金額の演算結果を、「取引金額」または「内、消費税等」などにセットすることができます。

(例)

ファイル内の金額(税込金額)のうち、消費税等に該当する金額を「内、消費税等」にセット

$$\text{「内、消費税等」} = ([\text{税込金額}] \times 8) \div 108$$

2) 当機能の制限事項

- i) 計算式内で利用できる固定値(8、108など)には、小数点以下の桁数を1桁までしか登録できません。そのため、「0.08」や「1.08」を乗算する場合には、「8」や「108」を乗算した後に、「100」を除算する必要があります。

(例) 元の金額に1.08を乗算する場合

$$\text{「うち、消費税等」} = ([\text{税抜金額}] \times 8) \div 100 \rightarrow \text{○}$$

$$\text{「うち、消費税等」} = [\text{税抜金額}] \times 0.08 \rightarrow \text{×}$$

- ii) 1つの計算式内で、除算及び乗算の両方を用いる場合には、優先順位に基づいて()及び()をセットする必要があります。

(例) 元の金額に8を乗じた金額を108で除算する場合

$$\text{「うち、消費税等」} = ([\text{税込金額}] \times 8) \div 108 \rightarrow \text{○}$$

$$\text{「うち、消費税等」} = [\text{税込金額}] \times 8 \div 108 \rightarrow \text{×}$$

この場合、8を108で除した金額(0.074...)を[税込金額]に乗算することになり、端数処理等により誤差が生じます。

3) 設定方法

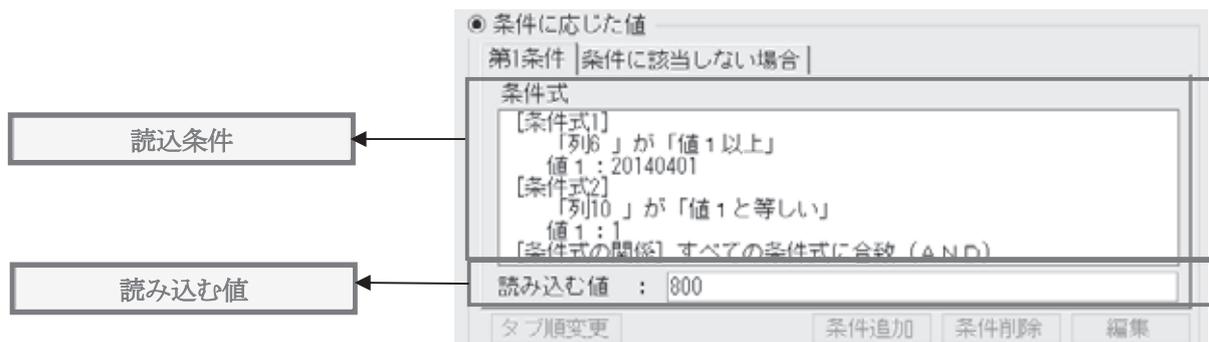
i) 計算式の設定

- a. ファイル内の値を計算式に設定する場合は、「ファイル内の列名」を選択し、画面左部の「↓」ボタンをクリックします。
- b. 固定値を計算式に設定する場合は、「固定値(数値)」欄に当該値を入力し、画面中央の「↓」ボタンをクリックします。
- c. 「ファイル内の値」、「固定値」の間には、「+」「-」「×」「÷」のいずれかを指定します。
- d. また、 または を指定する場合には、「ファイル内の値」または「固定値」の前後に指定します。また、 と の個数が一致するようにします。

ii) 計算結果の端数処理

- a. 端数処理を行う位を「小数第1位」～「小数第5位」の中から選択します。
- b. 端数処理の方法を「四捨五入」「切り捨て」「切り上げ」の中から選択します。

⑤条件の設定



1) 条件の設定について

- i) 「条件」と「読み込む値」を定義し、「条件式」を設定します。
- ii) どの条件にも該当しない場合に「読み込む値」として、「条件に該当しない場合」は必ず設定する必要があります。
- iii) 初期値としては、「第1条件」と「条件に該当しない場合」が設けられています。この場合、「第1条件」内の「条件」に該当する場合には「第1条件」内の「読み込む値」が読み込まれ、「第1条件」内の「条件」に該当しない場合には、「条件に該当しない場合」の「読み込む値」が読み込まれます。
- iv) 設定できる「条件」の数に制限はありません。
- v) また、1つの「条件」内には複数の「条件式」を設定することが可能です。「条件式」を組み合わせ、例えば「列1の値がAで、かつ列2の値がBなら値Cを読み込む」という設定もできます。なお、設定できる「条件式」の数に制限はありません。
- vi) このとき、「条件に該当しない場合」の設定も忘れずに行ってください。

2) [タブ順変更] ボタン

「条件」は番号の小さいもの（一番左のタブ）から優先して処理されます。設定済みのタブ順を変更したい場合は当ボタンをクリックします。



3) [条件追加] ボタン

「条件」を追加します。

4) [条件削除] ボタン

選択している「条件」（タブ）を削除します。なお、「第1条件」タブ及び「条件に該当しない場合」タブは削除できません。

5) [編集] ボタン

選択中の「条件」の編集を行います。

6) 「条件」の設定

「条件」の設定は、読込条件（「何が」「何と比べて」「どういう場合に」）と読み込む値（「何を」）を定義します。



i) 読み込み条件

a. 基準

「何が」に該当するものを定義します。「ひな型ファイルまたはテスト用データ」の列の中から、基準となる列を選択します。なお、列の値をそのまま用いず、文字列の一部を基準とすることも可能です。例えば、20桁のコードのうち、先頭3桁が「部門」を示すという場合、先頭3桁だけを取り出して条件式に利用できます。

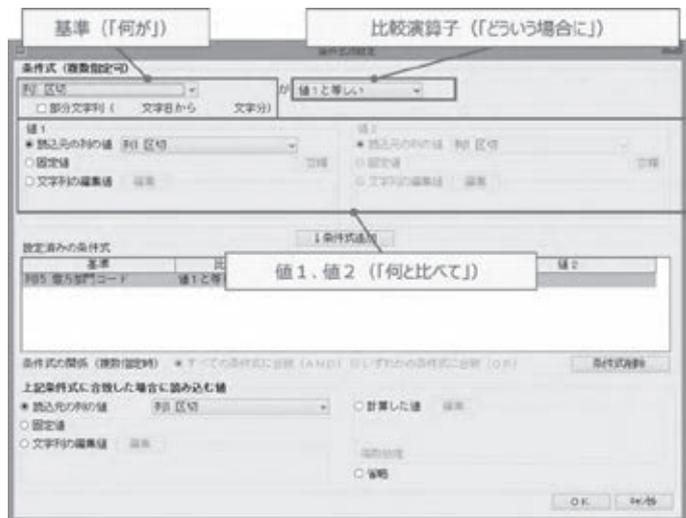
b. 比較演算子

「どういう場合に」に該当するものを定義します。上記 a. の「基準」から見た下記 c. の「値1、値2」に対する大小関係を指定します。次のいずれかから選択可能です。

- ・ 値1と等しい
- ・ 値1と等しくない
- ・ 値1以上 (値1は数値であることが前提となります。)
- ・ 値1以下 (値1は数値であることが前提となります。)
- ・ 値1より大きい (値1は数値であることが前提となります。)
- ・ 値1より小さい (値1は数値であることが前提となります。)
- ・ 値1以上かつ値2以下 (値1、値2とも数値であることが前提となります。)

c. 値1、値2

「何と比べて」に該当するものを定義します。「読み元の列の値」、「固定値」、または「文字列の編集値」が選択できます。また、[空欄] ボタンにより、空欄であることを条件として指定できます。なお、「値2」は、上記 ii) の「比較演算子」で「値1以上かつ値2以下」を指定した場合のみ設定できます。



d. [↓条件式追加]

[↓条件式追加] ボタンをクリックすると、「設定済みの条件式」欄に条件式が転記されます。これにより設定した条件式が確定します。

e. 複数条件の指定

上記 a. ～d. を繰り返すことにより、1 条件の中に複数の条件式を設定することが可能です。

なお、複数の条件式を設定した場合、条件式同士の関係を設定する必要があります。

「すべての条件に合致 (AND)」、「いずれかの条件に合致 (OR)」のいずれかを選択します。例えば「列 4 が 0 と等しくない」、「列 10 が 000 と等しい」という 2 つの条件式を設定した場合、「すべての条件に合致 (AND)」を選択すると、「列 4 が 0 と等しく、かつ列 10 が 000 と等しい場合」となります。「いずれかの条件に合致 (OR)」を選択すると「列 4 が 0 と等しい、または列 10 が 000 と等しい場合」となります。

また、1 つの条件の中に AND と OR を混在させることはできません。3 つ以上の条件式を設定する場合、すべての条件を満たすか、いずれかの条件を満たすかという指定のみが可能です。

ii) 読み込む値

「何を」に該当するものを定義します。「ファイル内の列名」、「固定値」、「文字列の編集値」、「計算した値」、または「省略」が選択できます。読込条件に合致した場合に「読み込む値」を設定します。なお、「文字列の編集値」または「計算した値」を選択した場合の設定方法の詳細はそれぞれ上記③④を参照してください。

7) 「条件に該当しない場合」の設定

すべての「条件」に該当しない場合に、読み込む値を設定します。

⑥無効行の設定

[無効行設定] ボタンをクリックすると、右の画面が表示されます。他社財務会計システムから出力されるデータの中に小計行等の読込不要な行が存在する場合、当画面で条件を指定することにより、当該条件に合致した行を読み飛ばすことが可能となります。

なお、[空欄] ボタンをクリックすることにより、「空欄」を条件として指定することも可能です。「空欄」の指定を取り消す場合は、[解除] ボタンをクリックします。

なお、画面の操作方法については「条件」の設定画面と同様です。上記⑤の 6) をご参照ください。

また、上記「4. 2. 3 「受入レイアウト」画面」で「データ 1 行から生成する仕訳数」を 2 件以上と設定した場合、それぞれの仕訳種類ごとに無効行を設定できます。

もし、当設定の結果、読込対象の仕訳が 0 行となった場合、仕訳読込時の「ファイルの整合性チェック」の 1 番目でエラーになります。

⑦仕訳読込テスト

設定した仕訳読込テンプレートを利用して実際に読み込まれる仕訳を確認できる機能として仕訳読込テスト機能を搭載しています。「読込テスト」ボタンを押下して表示されるファイルの選択画面で、仕訳ファイルを選択することで、当該仕訳ファイルの読込可否等を確認できます。

⑧作成したテンプレートの共有



[テンプレートファイル切出]ボタンで作成したテンプレートファイルを切り出すことが可能です。また、[テンプレートファイル読込]ボタンで切り出したテンプレートファイルの読込が可能です。これにより、作成したテンプレートを共有することが可能です。複数社ご利用の場合で、同一の業務システムから仕訳読込を行う場合等に有効活用いただけます。

4. 2. 5 「コード変換表」画面



(1) 入力項目

当画面ではファイル読込による入力のみ可能です。ファイル読込レイアウトについては「システム解説書」の巻末資料を参照ください。

(2) 操作方法

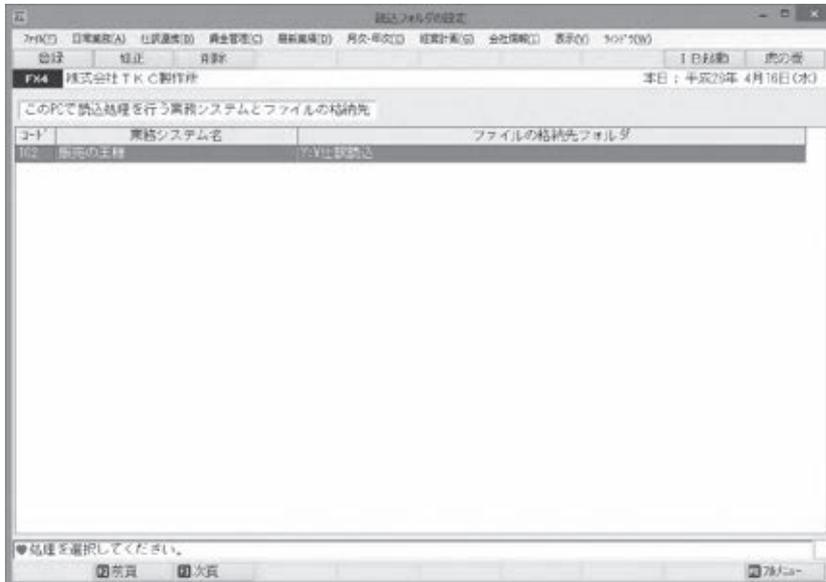
- ①コード変換表には「勘定科目コード、補助科目コード変換表」、「部門コード変換表」、「取引先コード変換表」及び「課税区分変換表」の4種類のコード変換表があります。それぞれのコード変換表が「コード変換表の登録」画面の各タブに割り当てられています。「勘定科目コード、補助科目コード変換表」は「勘定科目、補助科目」タブで、「部門コード変換表」は「部門」タブで、「取引先コード変換表」は「取引先」タブで、「課税区分変換表」は「課税区分」タブでそれぞれ確認・読込を行うことができます。
- ②「ファイル切出」ボタンで、選択中のタブのコード変換表をCSVファイルに出力できます。
- ③「ファイル読込」ボタンで、選択中のタブのコード変換表を読み込むことができます。

4. 3 「33 読込フォルダの設定」

4. 3. 1 概要

仕訳読込処理を行う PC ごとに、読み込むファイルの格納先のフォルダの指定を行います。この設定を行うことによって、はじめて仕訳読込処理を利用できるようになります。

4. 3. 2 「読込フォルダの設定」画面



(1) 操作方法

① 「31 業務システムの登録」で登録した業務システムについて、各業務システムの仕訳ファイルの格納先のフォルダを設定します。

② [登録] ボタンのクリックで読込フォルダの設定画面が開きます。当画面で業務システム及び仕訳ファイルが格納されたフォルダを指定します。



メニュー「2 他社システム自動仕訳の読込」で読み込む対象となるファイルは、ここで指定したフォルダ内のファイルのうち、メニュー「32 ファイルレイアウト設定」で指定した拡張子に合致するすべてのファイルとなります。例えば、「ファイル拡張子」を「csv」とした場合、当画面で指定したフォルダ内のファイルのうち、拡張子が「csv」であるすべてのファイルが読込対象となります。

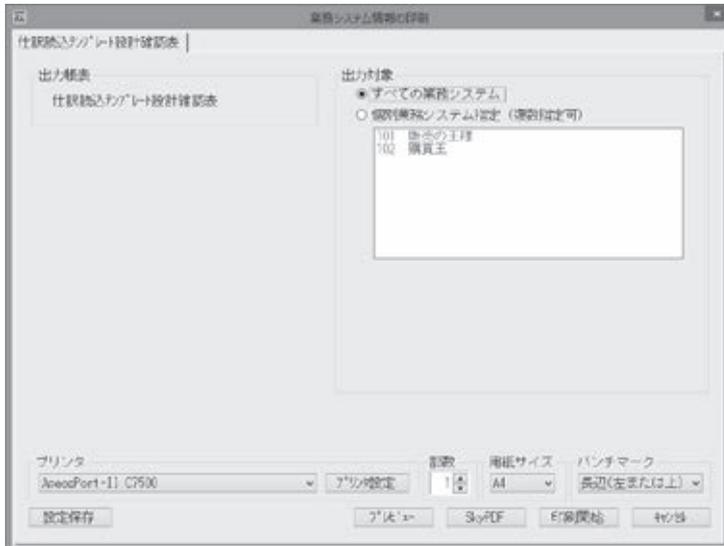
③格納先フォルダの変更を行う場合は [修正] ボタンを、登録済みの情報を削除する場合は [削除] ボタンをそれぞれクリックします。

4. 4 「34 業務システム情報の印刷」

4. 4. 1 概要

仕訳読込テンプレートを利用して連携している業務システムについて、仕訳読込テンプレートの設計内容を印刷します。

4. 4. 2 「業務システム情報の印刷」画面



(1) 操作方法

①印刷内容の条件指定画面が表示されます。以下の項目について、印刷条件を設定します。

1) 出力対象

出力する業務システムを選択します。

a. 「すべての業務システム」：すべての業務システムが印刷対象となります。

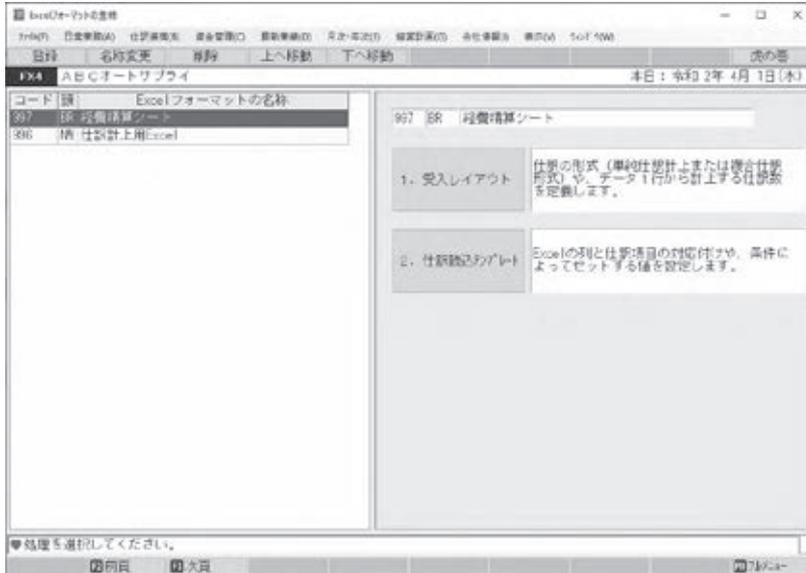
b. 「個別業務システム指定」：指定された業務システムが印刷対象となります。

②印刷条件を設定後、[印刷開始] ボタンをクリックします。

③ [プレビュー] ボタンをクリックすると印刷する内容が画面で確認できます。

5. 事前準備 (Excel からの仕訳計上)
 5. 1 「41 Excel フォーマットの登録」
 5. 1. 1 概要

Excel からの仕訳計上機能で活用する Excel フォーマットを F X 4 クラウドに登録します。Excel フォーマットごとに、ファイルのレイアウトや仕訳読込テンプレートを設計します。



- (1) 「登録」ボタンまたは「名称変更」ボタンで、「Excel フォーマットの登録」画面を起動できます。
- (2) 「削除」ボタンで、登録した Excel フォーマットを削除できます。
- (3) 「1. 受入レイアウト」ボタンで、「受入レイアウト」画面を起動できます。
- (4) 「2. 仕訳読込テンプレート」ボタンで、「仕訳読込テンプレート」画面を起動できます。

5. 1. 1 Excel フォーマットの登録画面



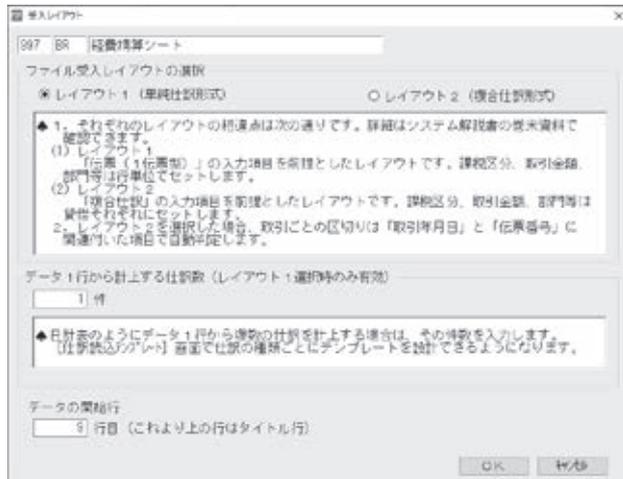
- (1) 入力項目

Excel フォーマットごとに以下の設定を行います。

項目名	入力桁数	内容
①コード	101～998	Excel フォーマットの「コード」を入力します。当システムに読み込むファイル内の項目「システム番号」には、当欄に入力した「コード」をセットします。なお、業務システム(仕訳読込機能)で使用しているコードや、他の Excel フォーマットで使用しているコードは登録できません。
②頭文字	2 桁の半角英数字のみ有効	Excel フォーマットの「頭文字」を入力します。 なお、業務システム(仕訳読込機能)で使用している頭文字、他の Excel フォーマットで使用している頭文字、および次の頭文字は使用できません。 (使用できない頭文字) ①A1、②CR、③DX、④EX、⑤FM、⑥HT、⑦IB、⑧MT、⑨PM、⑩PP、⑪PX、⑫RZ、⑬S0、⑭S1、⑮SX、⑯TK、⑰TP、⑱TX、⑲TY

③Excel フォーマットの名称	全角 20 文字	Excel フォーマットの名称を入力します。
④計上する仕訳は「期末整理仕訳」とする		当 Excel フォーマットから計上する仕訳を「期末整理仕訳」として計上する場合は当欄にチェックを付けます。

5. 1. 2 受入レイアウト画面



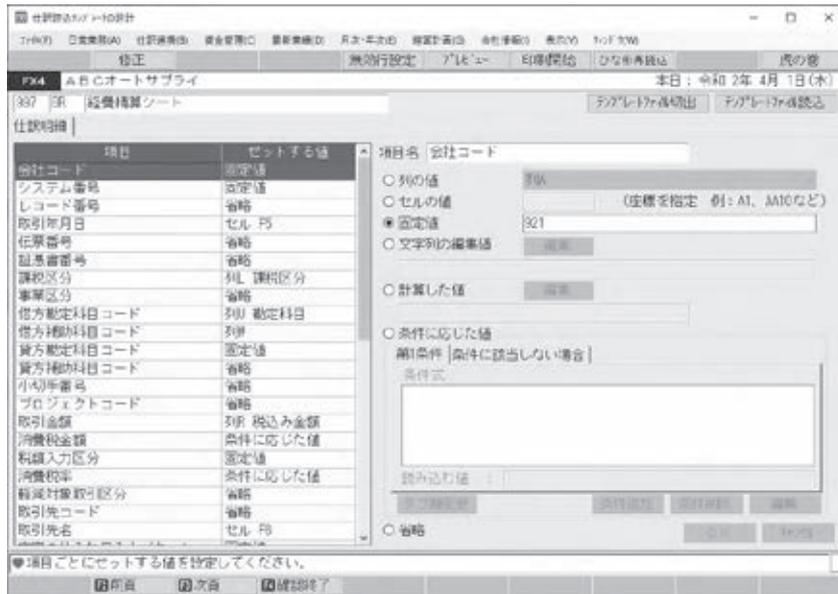
(1) 入力項目

Excel フォーマットごとに以下の設定を行います。

項目名	入力桁数	内容
①ファイル受入レイアウトの選択		受け入れるファイルのレイアウトを「レイアウト1 (単純仕訳形式)」とするか「レイアウト2 (複合仕訳形式)」とするか選択します。この設定は、メニュー「32 ファイルレイアウト設定」の設定と同様です。
②データ1行から生成する仕訳数	1～99の整数	Excel のデータ1行から生成される仕訳数を入力します。なお、当欄は「レイアウト1 (単純仕訳形式)」を選択した場合のみ有効となります。当設定も、メニュー「32 ファイルレイアウト設定」の設定と同様です。
③データの開始行	1～999の整数	当欄は「仕訳読込テンプレートの利用」欄を「利用する」と設定した場合に限り選択できます。計上対象のExcel ファイルの各行のうち、仕訳部に該当する行の先頭行を入力します。当欄に入力した行よりも上の行については、タイトル行として計上対象外となります。当設定も、メニュー「32 ファイルレイアウト設定」の設定と同様です。

なお、Excel からの仕訳計上機能は、業務システムからの仕訳読込機能と異なり、表示形式を「日付」と定義したセルから計上することを前提としているため、日付形式の設定は不要です。また、Excel からの計上を前提としているため、区切り文字や拡張子等の設定も不要です。

5. 1. 3 仕訳読込テンプレート画面



(1) 入力項目

項目名	入力桁数	内容
①セットする値 (画面右側のラジオボタン群)		「列の値」「セルの値」「固定値」「文字列の編集値」「計算した値」「条件に応じた値」「省略」の中から選択します。 1) 「列の値」とした場合、該当行の指定した列の値をそのまま計上します。 2) 「セルの値」とした場合、行に関係なく、指定したセルの値をそのまま計上します。ヘッター部の値を読み込む運用を想定した設定です。 2) 「固定値」とした場合、入力した「固定値」を計上します。 3) 「文字列の編集値」とした場合、複数の列の値を結合した文字列や、逆に文字列の1部分のみを抽出した値を計上します。 4) 「計算した値」とした場合、ファイル上の値や「固定値」を元に設定した計算式の結果が計上します。 5) 「条件に応じた値をセット」とした場合は、条件を定義し、条件ごとに計上する値を設定します。 6) 「省略」とした場合、選択中の項目の計上を省略します。
1) 列		当入力欄は、「列の値」の場合のみ設定できます。 「ひな型ファイルまたはテスト用データ」における各列の中から、選択中の項目に該当する列を選択します。
2) セル		当入力欄は、「セルの値」の場合のみ設定できます。 セルの座標(例:A1, AA10など)を入力します。なお、R1C1形式での座標指定はできません。
3) 固定値	半角 40 文字	当入力欄は、「固定値」の場合のみ設定できます。 選択中の項目に読み込む値を入力します。
4) 文字列の編集値		「文字列の編集値」の場合に読み込む文字列を設定します。詳細は、「4. 2. 5 仕訳読込テンプレートの設計」画面の「(2)③文字列編集値の設定」の説明を参照ください。
5) 計算式		「計算した値」の場合に「計算式」を設定します。詳細は、「4. 2. 5 仕訳読込テンプレートの設計」画面の「(2)3④計算式の設定」を参照ください。
6) 条件		「条件に応じた値」の場合に「条件」を設定します。設定できる

		「条件」の数に制限はありません。詳細は、「4. 2. 5 仕訳読込テンプレートの設計」画面の「(2)⑤条件の設定」を参照ください。
--	--	---

(2) 操作方法

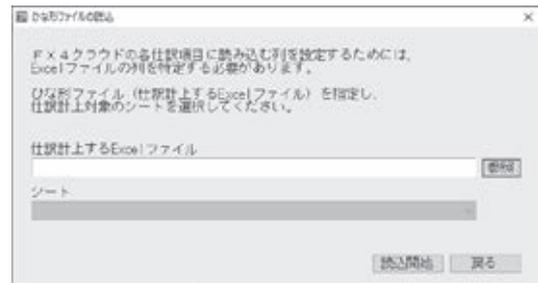
① 設計方法の選択

当画面をはじめて表示した場合、「設計方法の選択」画面が表示されます。設計方法として、「新規に設計」または「設計済の読込テンプレートから複写」から選択します。



1) 新規に設計

設計済の読込テンプレートの内容を複写せず、新規に読込テンプレートを定義する場合は「新規に設計」を選択します。「新規に設計」を選択し、「OK」ボタンを押下すると、「ひな形ファイル」の読込画面が表示されますので、仕訳計上する Excel ファイルおよび仕訳計上対象のシートを選択します。



2) 設計済の読込テンプレートから複写

他の Excel フォーマットや業務システム(仕訳読込機能)の仕訳読込テンプレートから複写する場合は、「設計済の読込テンプレートから複写」を選択します。この設計方法の場合、仕訳読込テンプレート画面の「テンプレートファイル切出」ボタンから、あらかじめテンプレートファイルを出力しておく必要があります。

「設計済の読込テンプレートから複写」を選択し、「OK」ボタンを押下すると、「テンプレートファイルの読込」画面が表示されますので、複写元のテンプレートファイルを指定します。



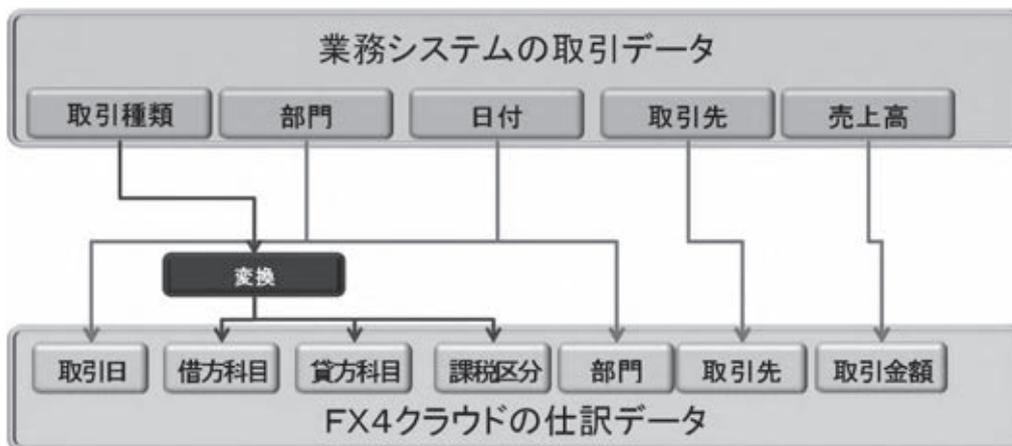
第2章 仕訳の入力

2. 他システムとの仕訳連携

2. 1 機能概要

2. 1. 1 特長

- (1) F X 4クラウドでは、販売管理システム等の業務システムから出力されたファイルを仕訳として読み込むことができます。このため、業務システム上のデータを参考にした仕訳の手入力は不要となり、経理業務の省力化に貢献します。
- (2) 業務システムから出力したデータをそのまま読み込めるように仕訳読込テンプレートの設計機能が設けられています。当機能を利用することで、勘定科目や課税区分など、業務システムにおいて把握できない情報を仕訳データに動的にセットできます。このため、仕訳連携機能を利用開始する際に発生する業務システム側のカスタマイズ等が不要です。



- (3) 仕訳読込に係るモレ・ダブリを防止するために、仕訳連携時に以下の整合性チェックを行うことができます。整合性チェックに該当し警告メッセージが表示された場合、続行の理由等のメモを入力し、そのまま連携処理を続行できます。仕訳連携時の整合性チェック結果は読込の有無に関係なく「仕訳読込履歴」機能で確認することができます。

①自動仕訳番号の連続性チェック

選択により、仕訳読込時に仕訳ごとにセットされている自動仕訳番号が連続しているかをチェックするように設定できます。1つのファイル内での連続性だけでなく、前回読み込んだファイルの自動仕訳番号との連続性も確保されますので、モレ・ダブリを防止することができます。

②ファイルのタイムスタンプのチェック

選択により、仕訳読込時において以下の条件に該当した場合に警告メッセージを表示することができます。

- 1) 「更新日時」が「作成日時」の後の場合に警告を表示できます。ファイル作成後に何らかの修正が行われた場合、「更新日時」が「作成日時」よりも後の日時となります。このような場合に警告メッセージを表示でき、ファイルの改竄を防止できます。
- 2) 仕訳読込処理を行おうとした日時と「作成日時」とを比較し、ある程度の期間(当期間も設定可能)が経過している場合に警告メッセージを表示できます。業務システムから出力したファイルのある程度の期間放置し、その後に読み込むような運用を防止できます。

③同一仕訳のチェック

選択により、入力されている仕訳の中で、読み込む仕訳と以下の項目が同一である仕訳がすでに存在する場合に警告メッセージを表示できます。

- ・取引年月日、勘定科目、取引先、取引金額

④消費税率のチェック

選択により、税率テーブルの「標準税率」または「軽減税率」に登録された税率と異なる税率の仕訳データを読み込もうとした場合に警告メッセージを表示できます。誤った税率の仕訳データ読込を防止できます。

- (4) 仕訳連携機能を利用して読み込んだ仕訳の金額を、業務システムごと、勘定科目ごと、取引年月日ごとに集計した結果を確認できます。FX 4クラウド上のこの集計結果と、業務システム上のデータとを突合することにより、連携モレ等を発見することができます。
- (5) 仕訳連携処理の履歴を業務システムごとに確認できます。この連携した日と連携していない日をカレンダー形式で表示し、「読むべき日に読んだか?」と「本来読まない日に読んでいないか?」の両方を確認できます。

月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5 ✓	6	7	8 ✓	9	10	11
12 !	13	14	15 !	16	17	18
19 ✓	20	21	22 ✓	23 !	24	25
26 ✓	27	28	29	30	31	

読むべき日

本来読まない日

2. 1. 2 機能の概要

(1) データレイアウト

①FX4クラウド標準のレイアウトは2種類あります。業務システムから切り出されるデータに合ったレイアウトを選択してください。

1) レイアウト1 (単純仕訳形式)

「伝票 (1伝票型)」の入力項目を前提としています。課税区分、取引金額、部門等は行単位でセットします。

取引年月日	伝番	税区	借方科目	貸方科目	取引金額	内、消費税等	消費税率	取引先	元帳摘要	部門
20150301	1	1	1122	4111	210000	10000	500	100001	本日掛売上高	200
20150301	1	1	1122	4112	105000	5000	500	100002	本日掛売上高	200
20150301	2	11	4115	1122	21000	1000	500	100001	掛売上高返品	200

2) レイアウト2 (複合仕訳形式)

「複合仕訳」の入力項目を前提としています。課税区分、取引金額、部門等は貸借それぞれにセットします。

取引年月日	借方						貸方						元帳摘要	
	伝番	部門	税	科目	金額	税額	税率	部門	税	科目	金額	税額		税率
20150301	1	000	0	1122	315000	0		200	1	4111	210000	10000	500	本日掛売上高
20150301	1								1	4112	105000	5000	500	本日掛売上高
20150301	2	000	11	4115	21000	1000	500	200	0	1122	21000	0		掛売上高返品

なお、レイアウト2を使用して読み込んだ場合、仕訳データの読込時に、諸口勘定を使用して単純仕訳へ自動分解されます。このため、「会社情報」タブのメニュー「2 経理情報」で、諸口勘定が登録されている必要があります。資金管理を行っている場合 (システム情報の「5. 資金管理」にチェックをしている場合) は、資金諸口、資金外諸口の両方に、資金管理していない場合は、資金諸口、資金外諸口どちらか一方に科目を登録する必要があります。

②読込対象のデータが、上記①の「FX4クラウド標準のレイアウト」通りか否かを選択します。なお、FX4クラウドの標準レイアウトについては、巻末資料「2. 自動仕訳データレイアウト<レイアウト1:単純仕訳形式>」及び「3. 自動仕訳データレイアウト<レイアウト2:複合仕訳形式>」をご参照ください。FX4クラウド標準のレイアウト以外の場合は、仕訳読込テンプレートの設計機能を使い、連携対象システムの切り出しデータを上記①のいずれかの標準レイアウトへ組み替えて読み込めます。

仕訳読込テンプレートの設計機能の詳細については下記2. 4をご参照ください。

③また自動仕訳データ1行につき1仕訳を生成することを原則としますが、「レイアウト1 (単純仕訳形式)」を選択した場合、下図のファイルのように、1行から複数の仕訳を生成するケースも読み込めます (「レイアウト2 (複合仕訳形式)」は対応していません)。

A	B	C	D	E
年月日	現金売上	カード売上	商品券売上	他店商品券売上
26/10/1	120,059	189,778	0	13,000
26/10/2	135,860	160,379	45,000	25,000
26/10/3	230,015	178,335	0	0
26/10/3	188,480	145,335	23,200	0
26/10/31	189,116	145,250	11,000	58,220

(1行につき、現金売上、カード売上、商品券売上、他店商品券売上の4仕訳を計上)

④さらに、読込処理実行時に、特定条件に合致する行については読み飛ばすということも可能です。「取引金額が0円

の行は読み飛ばしたい」等の場合にご利用いただけます。

⑤以上を考慮し、どのようなレイアウトのファイルを読み込むかを最初に決定する必要があります。設定は「仕訳連携」タブのメニュー「32 ファイルレイアウト設定」の「1. 基本情報」画面、及び当該画面から起動される「受入レイアウト」画面で行います。

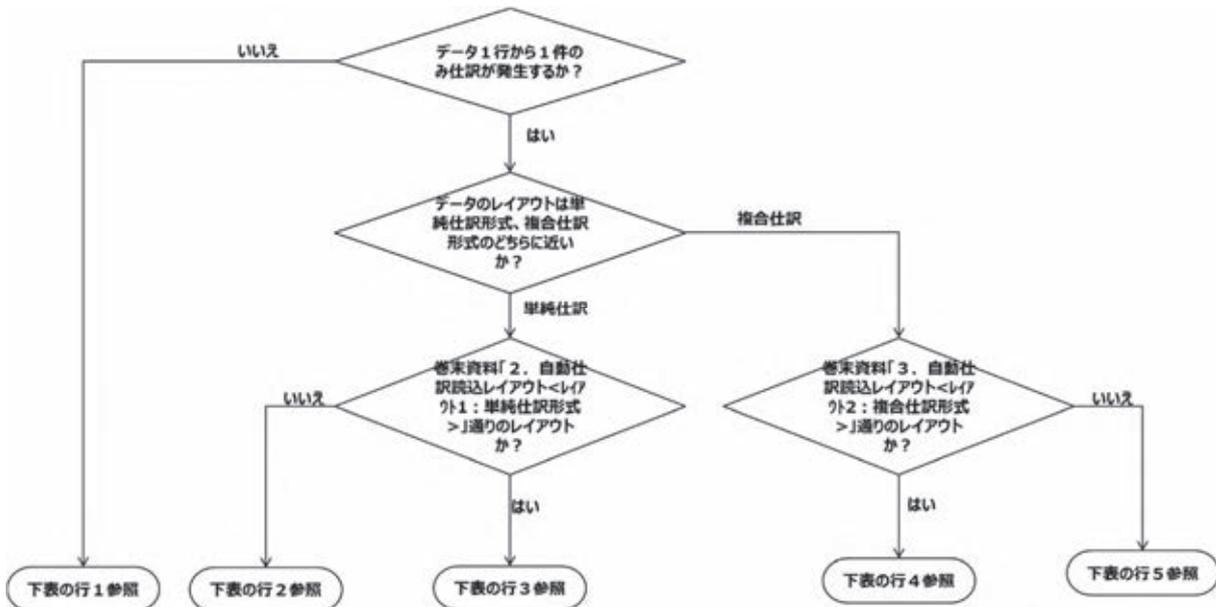
<画面1：「基本情報」画面>



<画面2：「受入レイアウト」画面>



読込対象データのレイアウトごとに上記画面で設定すべき内容は変わります。概ね次の通りとなります。



行	上記画面での設定値		
	仕訳読込テンプレートの利用 (上記画面1)	ファイル受入レイアウトの選択 (上記画面2)	データ1行から生成する仕訳数 (上記画面2)
1	利用する	レイアウト1	件数を入力
2	利用する	レイアウト1	「1」と入力
3	利用しない	レイアウト1	「1」と入力
4	利用しない	レイアウト2	－ (入力不可)
5	利用する	レイアウト2	－ (入力不可)

(2) 業務システムの登録

連携を行うシステムは、システムコード、システム名等の情報をあらかじめFX4クラウドに登録しておきます。登録はメニュー「業務システムの登録」で行います。

業務システムとして登録できるシステムコードは101～998の数字3桁のコードです。また、頭文字については以下の頭文字は使用できません。

- (使用できない頭文字) ①A1、②CR、③DX、④EX、⑤FM、⑥HT、⑦IB、⑧MT、⑨PM、⑩PP、⑪PX、⑫RZ、⑬S0、⑭S1、⑮SX、⑯TK、⑰TP、⑱TX、⑲TY

(3) 読込ファイルレイアウトの設定

予め連携を行うシステムごとに、ファイルの種類、形式を指定しておきます。また、仕訳読込テンプレートの設計機能を利用する場合は、テンプレートの設計を行います。連携を行うシステムのコード（勘定科目、口座、部門、取引先）と F X 4 クラウドで利用するコードが異なる場合は、コードの変換表も登録しておきます。これらの作業はメニュー「ファイルレイアウト設定」で行います。

(4) 読込フォルダの設定

連携対象システムが作成した自動仕訳ファイルは予め任意のフォルダに格納されているものとします。メニュー「読込フォルダの設定」でこのフォルダを事前に設定しておきます。

(5) データの取り込み方法

仕訳データはユーザの取り込み指示により取り込みを行います。正しく取り込まれたファイルは再計上を防止するためファイルの拡張子をシステムが自動的に変更します。

なお、仕訳データは F X 4 クラウドにて読み込んでからデータの補正等の必要がないように作成されているものとします。

(6) 自動仕訳ファイルの保存場所について

上記(5)の通り、読込終了後にファイルの拡張子の変更処理を行うため、書込権限のあるフォルダに保存されている必要があります。CD-R に作成した場合、または、FD を書込禁止としている場合は読み込むことはできません。

書込権限のあるフォルダであれば、F X 4 クラウドがインストールされているパソコンに保管する必要はありません。サーバや他の PC に保管されているファイルでも読込可能です。

(7) データの取り込みエラーについて

仕訳データにセットされているデータと F X 4 クラウドの項目データとが一致していない等、データ不整合の問題が発生した場合は、画面上その旨を表示し、そのファイル全体を取り込み不可能とします。

(8) 読み込んだデータの確認方法について

F X 4 クラウドで入力した仕訳と同じように確認することができます。また、条件検索機能を利用することにより、業務システムから取り込んだ仕訳のみを抽出することも可能です。

なお、「レイアウト 2（複合仕訳形式）」を選択した場合は、仕訳データの読込時に、諸口勘定を使用して単純仕訳へ自動分解されます。また、読込後に問合せ画面から伝票画面までドリルダウンした場合は、複合仕訳入力画面が表示されます（F X 4 クラウドの複合仕訳入力機能を利用して入力した取引と同様の扱いとなります）。

(9) データ連携後の訂正・削除

業務システムから取り込んだ仕訳データを訂正・削除する必要がある場合は、業務システム側で訂正・削除等の処理を行った後、再度データを作成し、訂正・削除後の仕訳データを F X 4 クラウドで取り込むことを前提とします。

システム間の整合性が失われる可能性があるため、業務システムから F X 4 クラウドに取り込んだ仕訳を訂正・削除することは望ましくありません。このため、業務システムから F X 4 クラウドに取り込んだ仕訳を訂正・削除しようとする場合には、システム間の整合性が失われる旨を警告し、その後に訂正・削除処理を行うことを可能としています。

訂正の場合は訂正する仕訳及び部門の金額に -1 を乗じた自動仕訳を作成しその上で追加仕訳を作成する、もしくは訂正の差額分のみの自動仕訳を作成します。

なお、読み込んだ仕訳は、「21 仕訳読込履歴」メニューより一括削除できます。

(10) F X 4 クラウドで入力した仕訳との相違点について

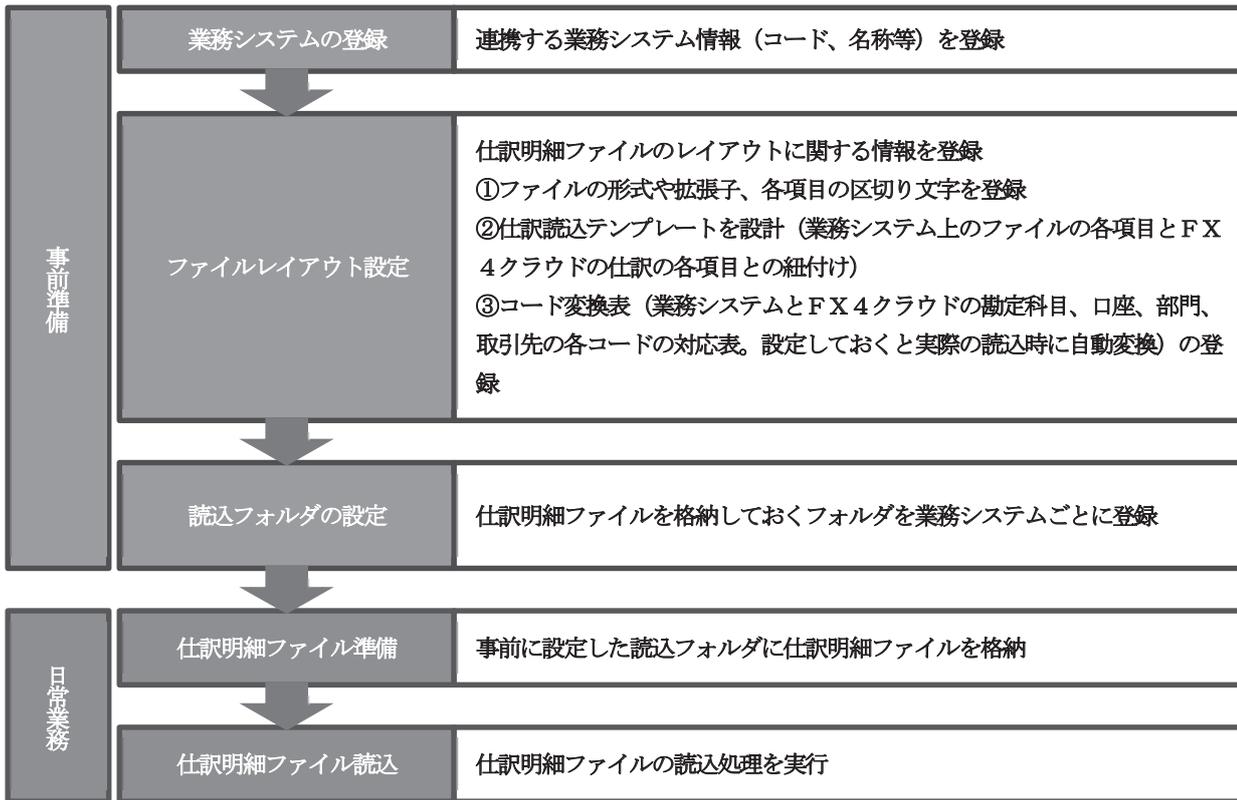
業務システムから取り込んだ仕訳と F X 4 クラウドで入力した仕訳の間に大きな違いはありません。

主な違いは以下の通りです。

- ①訂正・削除の際に警告メッセージが表示される。
- ②仕訳確認時に、画面上に連携システム名が表示される。

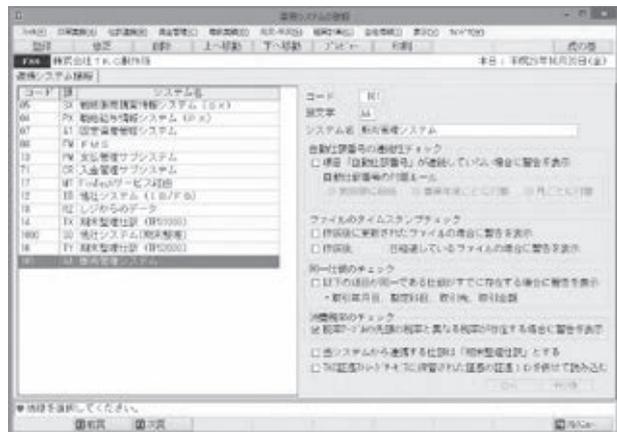
2. 2 仕訳連携処理の流れ

(1) 概要



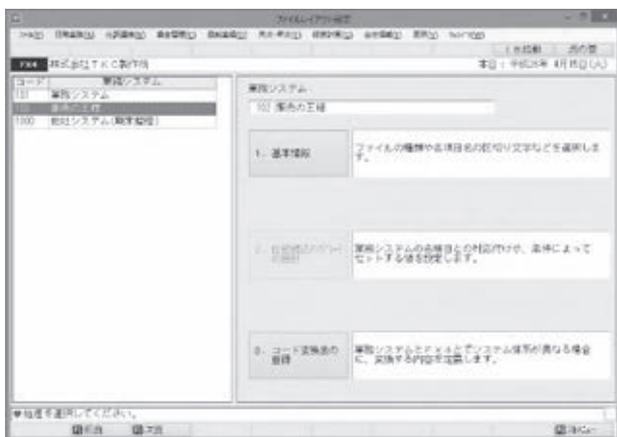
(2) （事前準備）業務システムの登録

連携対象となる業務システムを登録します。
また、仕訳読込時に行う整合性チェックの内容の設定等を行います。



(3) （事前準備）ファイルレイアウトの設定

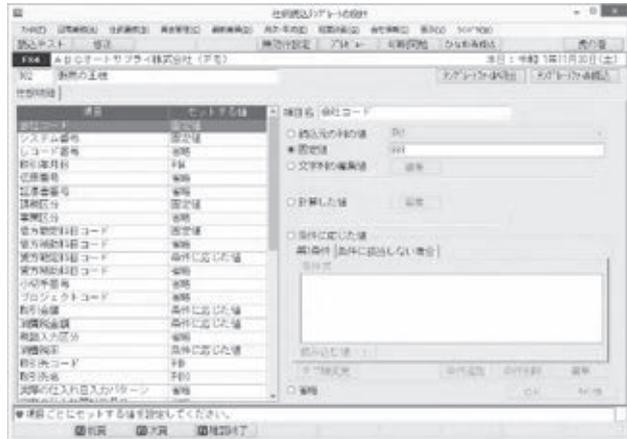
- ①業務システムごとにファイルレイアウトに関する各種情報を登録します。



①「基本情報の登録」画面では業務システムごとにファイルの形式や拡張子等の情報を登録します。また、仕訳読込テンプレートの利用有無、受入レイアウトの選択、データ1行から生成する仕訳数等も併せて設定します。詳細については、上記2. 1. 2の(1)をご参照ください。



②当画面は、上記②の画面で「仕訳読込テンプレートを利用する」と設定した場合に利用します。「仕訳読込テンプレートの設計」画面では業務システム上のファイルの各項目とFX4クラウドの仕訳の各項目との紐付けや、条件によってセットする値を設定します。



④「コード変換表の登録」画面では、業務システムとFX4クラウドでコード体系が異なる場合は、「勘定科目コード変換表」、「補助科目コード変換表」、「取引先コード変換表」、「課税区分変換表」を登録しておきます。



(4) (事前準備) 読込フォルダの設定

仕訳読込処理を行うPCごとに、読み込むファイルの格納先のフォルダの指定を行います。この設定を行うことによって、はじめて仕訳読込処理を利用できるようになります。

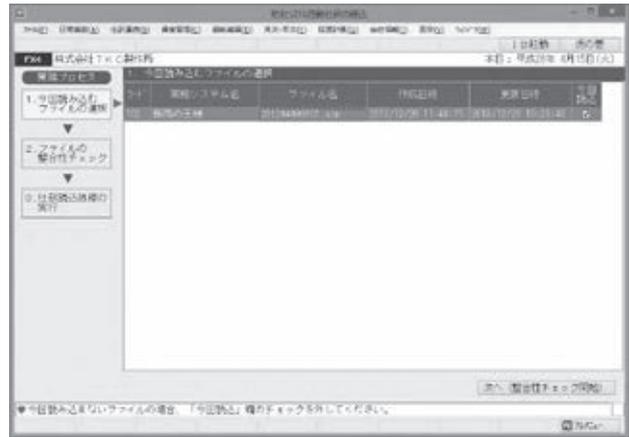
なお、PCを入れ替えたり、日々処理しているPCとは別のPCで処理する場合は、再度設定する必要があります。



(5) (日常業務) 他社システム仕訳の読込

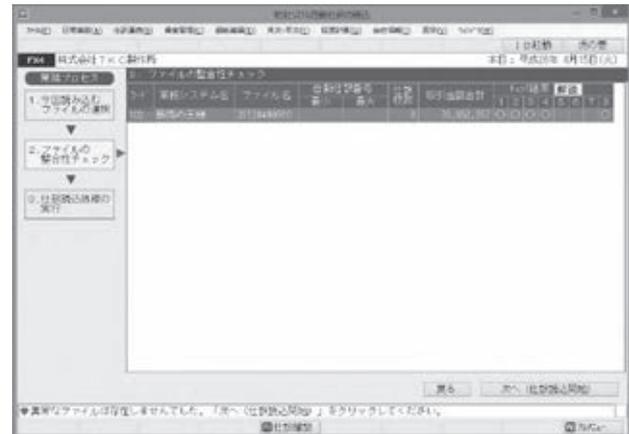
① 今回読み込むファイルの選択

事前設定した読込フォルダに格納されたファイルが表示されます。今回読み込むファイルを選択した上、[次へ (整合性チェック開始)] ボタンをクリックします。



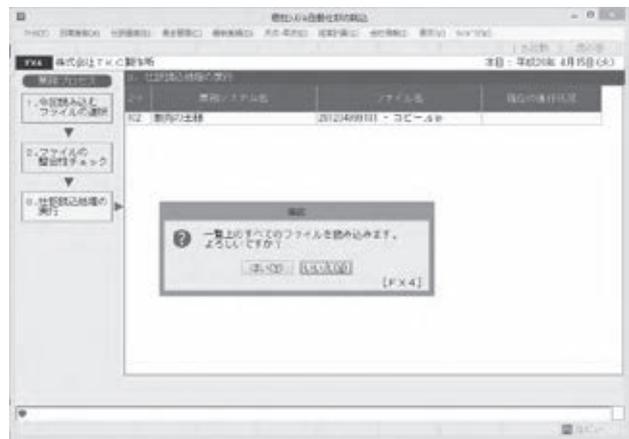
② ファイルの整合性チェック

整合性チェックを行います。チェックの結果、エラーとなった場合は、詳細を表示します。エラーがない場合は [次へ (仕訳読込開始)] ボタンで読込を実行します。



③ 仕訳読込処理の実行

「現在の進行状況」列で各ファイルの読込状況を確認できます。仕訳読込処理が終了したファイルについては「読込完了」の文字が表示されます。



2. 3 自動仕訳ファイルの形式

(1) ファイルの形式

タブ、カンマのいずれかにより区切られたテキストファイルとします。仕訳データのレコードの区切りには改行コードを使用します。

(2) ファイルの構成

① 1仕訳は1つの仕訳レコードと0または1以上の部門レコードから構成されます。

1) 仕訳部の貸借科目のどちらかが営業損益もしくは経常損益の科目である場合で、その取引が複数の部門にかかる取引である場合は2つ以上の部門レコードが必要です。この場合、仕訳レコードを格納した「仕訳明細ファイル」と部門レコードを格納した「部門明細ファイル」の2つが必要となります。ただし、選択したデータレイアウト（上記2. 1. 2 (i) 参照）によっては、「部門明細ファイル」を利用したデータ連携はできません。「受入レイアウト」画面での設定内容ごとの「部門明細ファイル」使用可否は次の通りです。行2,3で読み込む場合は、1仕訳レコードに対して1部門以下の部門レコードとなるようファイルを作成してください。

行	ファイル受入レイアウトの選択	データ 1 行から生成する仕訳数	部門明細ファイル利用可否
1	レイアウト 1 (単純仕訳形式)	1 件	可
2	レイアウト 1	2 件以上	不可
3	レイアウト 2 (複合仕訳形式)	— (入力不可)	不可

2) 上記科目以外の取引仕訳の場合、部門レコードは不要です。

②なお、仕訳部にいくつの部門レコードが後続するかは仕訳部の「部門明細数」の項目で設定します。

1) 1 仕訳に対して 0 部門の場合

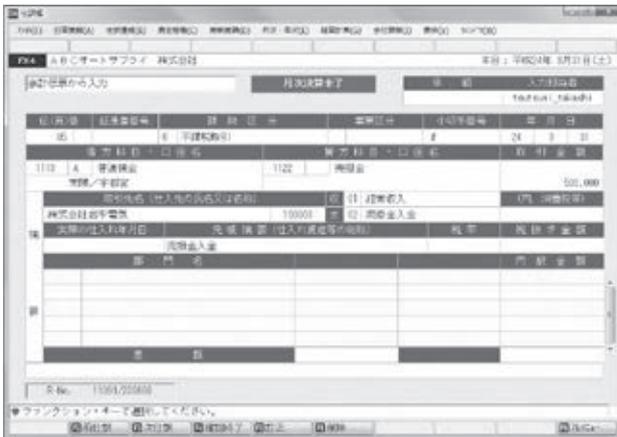
仕訳の貸借科目のどちらにも営業損益もしくは経常損益の科目がない場合 (後述の「会計伝票イメージ①」) は、仕訳明細ファイルのみの作成となります。

2) 1 仕訳に対して 1 部門の場合

仕訳の貸借科目のどちらかが営業損益もしくは経常損益の科目である場合で、かつ、その取引が 1 部門にかかる取引の場合 (後述の「会計伝票イメージ②」) は、仕訳明細ファイルのみの作成となります (部門明細ファイルがあっても可)。

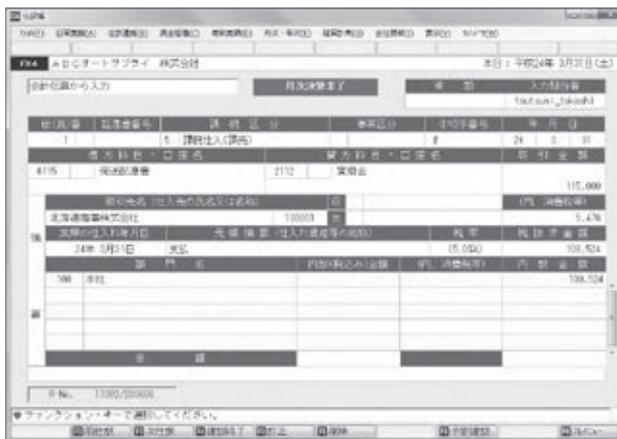
3) 1 仕訳に対して複数部門の場合

仕訳の貸借科目のどちらかが営業損益もしくは経常損益の科目である場合で、かつ、その取引が複数部門にかかる取引の場合 (後述の「会計伝票イメージ③」) は、仕訳明細ファイルに加えて部門明細ファイルの作成が必要となります。



会計伝票イメージ①

1 仕訳に対して 0 部門の場合で、かつ仕訳の貸借科目のどちらにも営業損益もしくは経常損益の科目がない場合



会計伝票イメージ②

1 仕訳に対して 1 部門の場合で、かつ仕訳の貸借科目のどちらかが営業損益もしくは経常損益の科目である場合



会計伝票イメージ③

1 仕訳に対して複数部門の場合で、かつ仕訳の貸借科目のどちらかが営業損益もしくは経常損益の科目である場合

仕訳レコードと部門レコードの関係は以下の通りです。

【例1】 売掛金 10,000 を当座預金で回収した。

(借方) 当座預金 (貸方) 売掛金 10,000

貸借科目のどちらも営業損益、経常損益の科目ではないので、仕訳明細ファイルのみが必要です。

①仕訳明細ファイルの内容

レコード番号	借方科目	貸方科目	取引金額	部門明細数	部門コード
1	当座預金	売掛金	10,000	0	

【例2】 掛けにて、部門 (001) で 15,000、部門(003)で 15,000 販売した。

(借方) 売掛金 (貸方) 売上高 30,000

[内訳] 部門 (001) 15,000

[内訳] 部門 (003) 15,000

貸方が営業損益科目で、部門明細が2つあるので、仕訳明細ファイルの他に部門明細ファイルが必要となります。

①仕訳明細ファイルの内容

レコード番号	借方科目	貸方科目	取引金額	部門明細数	部門コード
2	売掛金	売上高	30,000	2	

②部門明細ファイルの内容

レコード番号	明細部レコード番号	部門コード	内訳金額
2	1	001	15,000
2	2	003	15,000

【例3】 リース料 20,000 を、当座預金より支払った。

(借方) リース料 (貸方) 当座預金 20,000

[内訳] 部門 (002) 20,000

借方が営業損益科目で、部門明細が1つなので、仕訳明細ファイルのみが必要になります。部門明細ファイルは作成しなくても問題ありません。

①仕訳明細ファイルの内容

レコード番号	借方科目	貸方科目	取引金額	部門明細数	部門コード

3	リース料	当座預金	20,000	1	002
---	------	------	--------	---	-----

②部門明細ファイルの内容

レコード番号	明細部レコード番号	部門コード	内訳金額
3	1	002	20,000

【例4】普通預金より現金10,000を引き出した。

(借方) 現金 (貸方) 普通預金 10,000

貸借科目のどちらも営業損益、経常損益の科目ではないので、仕訳明細ファイルのみが必要になります。

①仕訳明細ファイルの内容

レコード番号	借方科目	貸方科目	取引金額	部門明細数	部門コード
4	現金	普通預金	10,000	0	

以上の【例1】～【例4】をまとめると、次のようになります。

①仕訳明細ファイルの内容

レコード番号	借方科目	貸方科目	取引金額	部門明細数	部門コード
1	当座預金	売掛金	10,000	0	
2	売掛金	売上高	30,000	2	
3	リース料	当座預金	20,000	1	002
4	現金	普通預金	10,000	0	

②部門明細ファイルの内容

レコード番号	明細部レコード番号	部門コード	内訳金額
2	1	001	15,000
2	2	003	15,000
3	1	002	20,000

仕訳明細ファイルの部門数が1の場合、上記部門明細ファイル（この例の場合、レコード番号3）は作成しないことも可能です。

(3) ファイル名

「F X 4クラウド標準のレイアウト」とした場合（仕訳読込テンプレートを利用しない場合）、仕訳明細ファイルは拡張子(.slp)、部門明細ファイルは拡張子(.cls)として特定の同一フォルダに格納します。その他のレイアウトとした場合（仕訳読込テンプレートを利用する場合）は、画面上で設定した拡張子と同一にします。

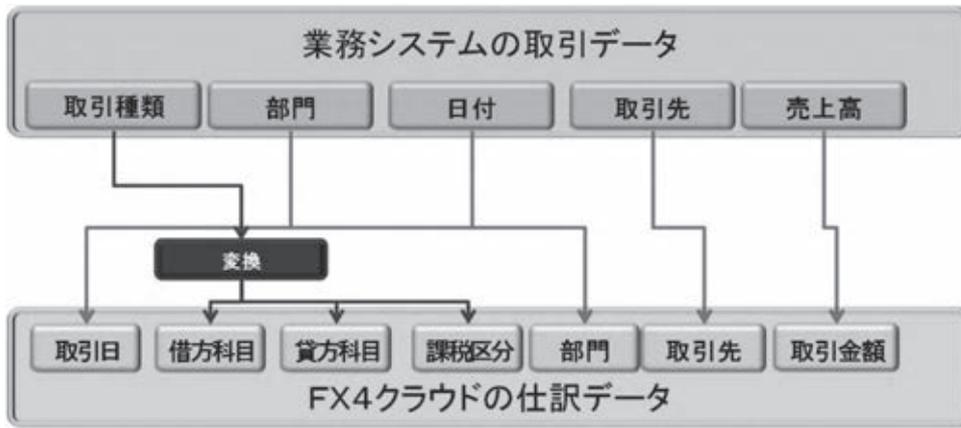
ファイル名は拡張子が指定通りであれば自由に設定可能ですが、ただし、仕訳明細ファイル名と部門明細ファイル名は拡張子以外を同一にします。

例、仕訳明細ファイル名を「20110701shiwake.slp」とした場合、部門明細ファイル名は「20110701shiwake.cls」と設定。

2. 4 仕訳読込テンプレートの設計機能

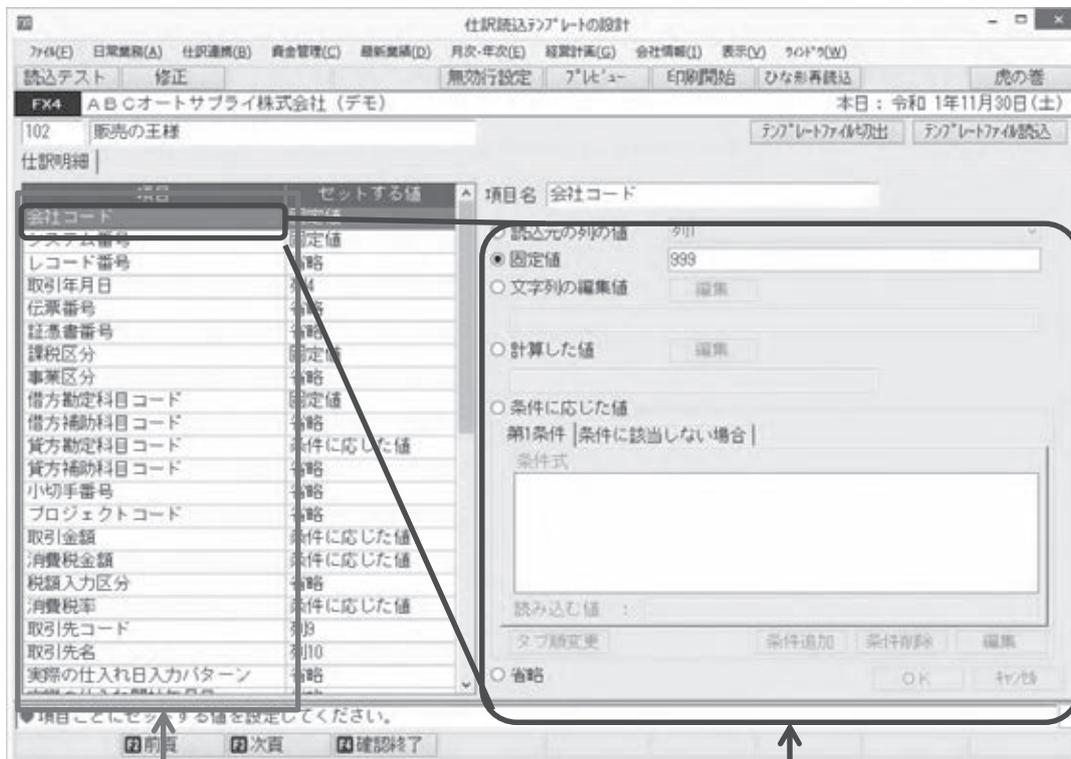
(1) 機能概要

勘定科目や課税区分など、業務システムにおいて把握できない情報を仕訳データに動的にセットできます。当機能を利用することにより、F X 4クラウド標準のレイアウトで作成されていないデータであっても、F X 4クラウドで読込可能なレイアウトへ自動的に組み替えて読み込むことが可能となります。



(2) 仕訳読込テンプレートの設計画面について

仕訳データの読込時にレイアウトの自動組み替えをするためには、事前に「仕訳読込テンプレートの設計」画面で設定作業を行う必要があります。



FX 4クラウドの仕訳データとして必要な項目 (標準レイアウト)

どの値をセットするか

上記画面の通り、FX 4クラウドの仕訳データとして必要な項目ごとに、セットする値を設定します。当画面の詳細な操作方法については、「操作説明書」の第6章「4. 2 「32 ファイルレイアウト設定」」をご参照ください。

①当画面では、項目ごとに次の値をセットできます。

1) 読込元の列の値

読込対象の仕訳データから読込元の列を選択することにより、当該列の値をそのままセットします。列の選択が可能であるため、FX 4クラウド標準のレイアウト通りに仕訳データが作成されていなくても読込が可能となります。例えば、FX 4クラウド標準のレイアウトでは「取引年月日」が4列目で、読込対象の仕訳データでは10列目に該当する項目「売上日付」があるという場合であっても、「取引年月日」にセットする値として「列10 売上日付」を選択すれば読込が可能です。

2) 固定値

読込対象の仕訳データの値に関係なく、固定の値を読み込むことができます。例えば、次のような場合にご利用

できます。

- a. 仕訳データに「会社コード」はセットされていないが、固定で自社の会社コード「999」をセットしたい。
- b. 仕訳データに「消費税率」はセットされていないが、固定で10%をセットしたい。

3) 文字列の編集値

読込対象の仕訳データの値をそのまま読み込むのではなく、複数の列の文字列を結合して読み込んだり、逆に列の文字列のうち一部のみを読み込むことが可能です。例えば、次のような場合にご利用できます。

- a. 販管システムから別々のセルへ切り出された単価、数量、商品名を結合し、元帳摘要としてセットしたい。
- b. 例えば20桁の取引コードのうち最初の3桁が部門コードを示す場合に、コードの先頭3桁を部門コードとしてセットしたい。

4) 計算した値

読込対象の仕訳データの値を加減乗除した演算結果を読み込むことができます。例えば、次のような場合にご利用できます。

- a. 仕訳データには「税込み金額」はあるが、内、消費税等に該当する金額がない場合に、「税込み金額」に8/108を乗じた値を「内、消費税」としてセットしたい。

5) 条件に応じた値

読込対象の仕訳データの値をそのまま読み込むのではなく、ある条件に合致した場合のみ読み込むことができます。条件は複数設定できるため、例えば条件Aに合致した場合には値aをセットし、条件Bに合致した場合には値bをセットするというように、条件に応じてセットする値を変更することも可能です。また、条件に合致した場合にセットする値についても、「読込元の列の値」だけではなく、「固定値」や「文字列の編集値」とすることもできますので、様々なケースにご利用できます。例としては次の通りです。

- a. 売上日付が2019年10月1日以降だったら「消費税率」に10%をセットし、それ以外の場合は8%をセットしたい。
- b. 仕訳データの所属部門が本社だったら課税区分に「7」をセットし、それ以外の場合は「5」をセットしたい。

6) 省略

選択項目への読込を省略します。ただし、必須項目の場合は読込時にエラーとなります。

- ②作成した仕訳読込テンプレートのファイル切り出し、及び読込も可能です。作成したテンプレートを共有できます。
- ③上記①の設計情報に基づき仕訳データの読込処理が行われますが、当画面の[無効行設定]ボタンで設定することにより、読込処理実行時に、特定条件に合致する行については読み飛ばすということも可能です。「取引金額が0円

円

の行は読み飛ばしたい」という場合にご利用ください。

- ④作成した仕訳読込テンプレートを利用して仕訳を読み込めることを確認できる機能として、読込テスト機能を搭載します。当画面の[読込テスト]ボタンをクリックし、読み込む予定の仕訳ファイルを選択することで、当該ファイルの読込可否や読込内容を確認できます。

2. 5 コード変換表機能

(1) 機能概要

- ①例えば、読込対象データ内に「得意先コード」という項目があるとします。ただし、この「得意先コード」と、F X 4クラウドで同得意先を管理している「取引先コード」が異なるとします。

読込対象データ内の「得意先コード」	F X 4クラウドの「取引先コード」
100	100012
200	100250
300	100330
400	100456

このような場合、「得意先コード」を「取引先コード」へ組み替えて読み込む必要があります。このための方法として、次のように仕訳読込テンプレートの「条件に応じた値」（上記参照）を利用する方法があります。

- [第1条件] 「列11 得意先コード」が「100」だったら「取引先コード」へ「100012」をセット
- [第2条件] 「列11 得意先コード」が「200」だったら「取引先コード」へ「100250」をセット
- [第3条件] 「列11 得意先コード」が「300」だったら「取引先コード」へ「100330」をセット

[第4条件]「列11 得意先コード」が「400」だったら「取引先コード」へ「100456」をセット

...

ただし、この方法の場合、得意先コードが多いと設定が煩雑となります。また、新たな得意先追加の都度、仕訳読込テンプレートを見直す必要が生じることとなります。

②このため、FX4クラウドでは、「コード変換表」機能を搭載しています。業務システムとFX4クラウドとでコード体系が異なる場合に、業務システム上のコードとそれに対応するFX4クラウドのコードを定義しておくことにより、仕訳読込時には定義したコード変換表に基づいて自動的にコードが変換されて読み込まれます。

これにより、新たな得意先追加があった場合も、仕訳読込テンプレートの設計は見直さずに「コード変換表」をメンテナンスするだけで対応できます。

売上日付	得意先コード	得意先名1	部門コード	部門名	摘要	商品コード	商品名	売上金額	税込区分コード	税込区分	消費税
2012/2/20	250	株式会社宇都宮工業	4	京都支店	売掛金計上 当月売上高	101	AA商品	210000	2	税込	10000
2012/2/20	100	千葉機械産業株式会社	1	横浜支店	売掛金計上 当月売上高	1	A商品	300000	1	税抜	0
2012/2/20	100	千葉機械産業株式会社	1	横浜支店	売掛金計上 消費税分	ZEI2	消費税	0			15000

業務システム	FX4クラウド
1	220
4	320

業務システム	FX4クラウド
100	100012
250	100250

業務システムとFX4クラウドのコードの対応関係を定義したコード変換表を作成しておくことにより、読込時に自動でコードが変換されます。

(2) コード変換表の登録機能



業務システムのコード

対応するFX4クラウドのコード

①コード変換表を利用できるマスターは次の4種類です。

- 1) 勘定科目、補助科目
- 2) 部門
- 3) 取引先
- 4) 課税区分

②コード変換表の登録は、指定レイアウトで作成されたテキストファイル（CSV形式またはタブ区切り）を読み込むことによって行います。当画面上で直接入力することはできません。コード変換表に追加があった場合は、テキストファイルをメンテナンスした上で再度読み込んでください。

なお、各コード変換表のレイアウトについては、巻末資料をご参照ください。

(3) コード変換表に関するご注意

①仕訳読み込みテンプレートと併用する場合

仕訳データの読み込みは、1)仕訳読み込みテンプレートの設計に基づくレイアウトの自動組替処理、2)コード変換表によるコードの変換、の順に行われます。このため、仕訳読み込みテンプレートの「条件に応じた値」の条件判断として読み込元の列の値を使用したい場合は、コード変換表で変換される前の値をご利用ください。

[例]

- ・業務システムから切り出された仕訳データ内にセットされた科目コードは500と600。FX4クラウドでは、それぞれ4111、5211として読み込みたい（コード変換表を作成）。
- ・科目コードは500の場合は課税区分に[1]を、600の場合は課税区分に[5]をセットして読み込みたい（仕訳読み込みテンプレートの「条件に応じた値」を利用）。

1)仕訳読み込みテンプレートの設計画面での「課税区分」は「条件に応じた値」を選択します。この場合、条件内で使用する勘定科目コードは変換前のもの（500または600）とします。

[第1条件]「列X 勘定科目コード」が「500」だったら [1] をセットする。

[第2条件]「列X 勘定科目コード」が「600」だったら [5] をセットする。

2)また、「勘定科目、補助科目コード変換表」として次の内容を登録します。

業務システムのコード		FX4クラウドのコード	
勘定科目コード	補助科目コード	勘定科目コード	補助科目コード
500		4111	

400		5211	
-----	--	------	--

- 3) 上記 1) 2) の設定をした上で、次のファイルの読込処理を行った場合、まず「仕訳読込テンプレートの設計画面」の設計内容に基づき、レイアウトの自動組替が行われます。行 1 はファイル内の「勘定科目コード」である「500」を使用して条件判断され、課税区分に [1] がセットされます。また、行 2 も同様で [5] がセットされます。
 <業務システムのデータ>

行	日付	勘定科目コード	税込み金額	
1	20140501	500	10,000	...
2	20140501	600	20,000	...



<レイアウト自動組替後の仕訳データ (イメージ) >

取引年月日	伝票番号	課税区分	借方科目	貸方科目	取引金額
20140501		1	XXXX	500	10,000
20140501		5	600	XXXX	20,000

(※) この時点では、まだ勘定科目は 500、600 のままです。

- 4) 次にコード変換表に基づく変換処理が行われます。

<コード変換後の仕訳データ>

取引年月日	伝票番号	課税区分	借方科目	貸方科目	取引金額
20140501		1	XXXX	4111	10,000
20140501		5	5211	XXXX	20,000

②貸借対照表科目を部門別管理している場合のコード変換表の利用

「貸借対照表科目を部門別管理しているが、口座別管理はしていない」という場合、「補助科目コード」欄に部門コードをセットする必要があります (詳細なレイアウトについては巻末資料をご参照ください)。このケースで、コード変換表を利用して部門コードを読み込む際には、「補助科目コード」欄に「部門コード」をセットするものの、「勘定科目、補助科目コード変換表」を利用せず「部門コード変換表」を利用することとなります。

なお、部門コードのみのコード変換で済む場合と、併せて勘定科目コードの変換も行う場合でコード変換表の作成方法に違いがありますので、事例でご説明いたします。

- A. 勘定科目コードのコード変換は不要。部門コードのコード変換のみ必要という場合
 「部門コード変換表」を登録します。下記の [例 1] をご参照ください。
- B. 勘定科目コードのコード変換のみ必要。部門コードのコード変換は不要という場合
 「勘定科目、補助科目コード変換表」を登録します。下記の [例 2] をご参照ください。
- C. 勘定科目コードのコード変換、部門コードのコード変換ともに必要という場合
 「勘定科目、補助科目コード変換表」及び「部門コード変換表」を登録します。下記の [例 3] をご参照ください。

[例 1 : 勘定科目は同一。部門コードの変換のみ実施したい場合]

<ul style="list-style-type: none"> ・業務システムから切り出された仕訳データ内の 3 列目に「科目コード」があり、1211 がセットされている。これを F X 4 クラウドではそのまま 1211 (建物) として読み込みたい。なお、1211 は部門別管理しているが、口座別管理はしていない。 ・また、同じ仕訳データ内には 10 列目に「部門コード」があり、300 がセットされている。F X 4 クラウドではこれを 400 に変換して読み込みたい。

- 1) 仕訳読込テンプレートの設計画面では次の通り設定します。
 - a. 「勘定科目コード」は「読込元の列の値」を選択し、「列 3 科目コード」を選択します。
 - b. 「補助科目コード」は「読込元の列の値」を選択し、「列 10 部門コード」を選択します。
- 2) 部門コード変換表を次のように登録します(※)。

業務システムのコード	F X 4 クラウドのコード
300	400

(※) 「部門コード」を「補助科目コード」欄へセットすると設定した場合でも、次のようには登録せずに、部門コード変換表を利用してください。

【誤った例】

a. 勘定科目、補助科目コード変換表

業務システムのコード		F X 4 クラウドのコード	
勘定科目コード	補助科目コード	勘定科目コード	補助科目コード
1211	300	1211	400

- 3) 上記 1) 2) の設定をした上で、次のファイルの読込処理を行った場合、まず「仕訳読込テンプレートの設計画面」の設計内容に基づき、レイアウトの自動組替が行われます。ファイル内の「勘定科目コード」である「1211」がそのまま「勘定科目コード」へセットされます。また、部門コード「300」がそのまま「補助科目コード」へセットされます。

<業務システムのデータ>

行	日付	科目コード	税込み金額	部門コード
1	20140501	1211	10,000	300



<レイアウト自動組替後の仕訳データ (イメージ) >

取引年月日	伝票番号	課税区分	借方科目コード	借方補助科目コード	取引金額
20140501		1	1211	300	10,000

(※) この時点では、まだ補助科目コードは 300 のままです。

- 4) 次に「部門コード変換表」に基づく変換処理が行われます。

<コード変換後の仕訳データ>

取引年月日	伝票番号	課税区分	借方科目コード	借方補助科目コード	取引金額
20140501		1	1211	400	10,000

(※) 「借方補助科目」欄は使用しているものの、実体は部門コードであるため、「部門コード変換表」に基づきコード変換処理が行われます。

■ワンポイント■ 仕訳読込テンプレートと併用する場合のコード変換処理について
 上記①の通り、仕訳読込テンプレートと併用する場合、仕訳データの読込は 1) 仕訳読込テンプレートの設計に基づくレイアウトの自動組替処理、2) コード変換表によるコードの変換、の順に行われるため、1) の自動組替処理が行われた結果に対して、コード変換処理がされます。

[例 2 : 部門コードは同一。勘定科目の変換のみ実施したい場合]

- ・業務システムから切り出された仕訳データ内の 3 列目に「科目コード」があり、100 がセットされている。これを F X 4 クラウドでは 1211 (建物) として読み込みたい。なお、1211 は部門別管理しているが、口座別管理はしていない。
- ・また、同じ仕訳データ内には 10 列目に「部門コード」があり、400 がセットされている。F X 4 クラウドではこれをそのまま 400 として読み込みたい。

- 1) 仕訳読込テンプレートの設計画面では次の通り設定します。

- 「勘定科目コード」は「読込元の列の値」を選択し、「列 3 科目コード」を選択します。
- 「補助科目コード」は「読込元の列の値」を選択し、「列 10 部門コード」を選択します。

2) 勘定科目、補助科目コード変換表を次のように登録します(※)。

業務システムのコード		F X 4 クラウドのコード	
勘定科目コード	補助科目コード	勘定科目コード	補助科目コード
100	400	1211	

(※) 「部門コード」を「補助科目コード」欄へセットすると設定した場合でも、次のようには登録しないでください。

【誤った例】

業務システムのコード		F X 4 クラウドのコード	
勘定科目コード	補助科目コード	勘定科目コード	補助科目コード
100	400	1211	400

3) 上記 1) 2) の設定をした上で、次のファイルの読込処理を行った場合、まず「仕訳読込テンプレートの設計画面」の設計内容に基づき、レイアウトの自動組替が行われます。ファイル内の「勘定科目コード」である「1211」がそのまま「勘定科目コード」へセットされます。また、部門コード「400」がそのまま「補助科目コード」へセットされます。

<業務システムのデータ>

行	日付	科目コード	税込み金額	部門コード
1	20140501	100	10,000	400



<レイアウト自動組替後の仕訳データ (イメージ) >

取引年月日	伝票番号	課税区分	借方科目コード	借方補助科目コード	取引金額
20140501		1	100	400	10,000

(※) この時点では、まだ借方科目コードは 100 のままです。

4) 次に「勘定科目、補助科目コード変換表」に基づく変換処理が行われます。

<コード変換後の仕訳データ>

取引年月日	伝票番号	課税区分	借方科目コード	借方補助科目コード	取引金額
20140501		1	1211	400	10,000

(※) 「勘定科目、補助科目コード変換表」に基づき、業務システムの科目コード「100」と補助科目コード「400」が「1211」へ変換されます。

[例 3 : 勘定科目、部門コードとも異なるため両方変換したい場合]

- ・業務システムから切り出された仕訳データ内の 3 列目に「科目コード」があり、100 がセットされている。これを F X 4 クラウドでは 1211 (建物) に変換して読み込みたい。なお、1211 は部門別管理しているが、口座別管理はしていない。
- ・また、同じ仕訳データ内には 10 列目に「部門コード」があり、300 がセットされている。F X 4 クラウドではこれを 400 に変換して読み込みたい。

1) 仕訳読込テンプレートの設計画面では次の通り設定します。

- a. 「勘定科目コード」は「読込元の列の値」を選択し、「列 3 科目コード」を選択します。
- b. 「補助科目コード」は「読込元の列の値」を選択し、「列 10 部門コード」を選択します。

2) この場合、コード変換表として次の 2 種類を登録します (※)。

a. 勘定科目、補助科目コード変換表

業務システムのコード		F X 4 クラウドのコード	
勘定科目コード	補助科目コード	勘定科目コード	補助科目コード
100	300	1211	

b. 部門コード変換表

業務システムのコード	F X 4 クラウドのコード
300	400

(※) 上記①のように、まず「仕訳読込テンプレートの設計画面」の設計内容に基づき、レイアウトの自動組替が行われます。その結果、業務システムのコードとして、一時的に「勘定科目コード」が「100」、「補助科目コード」が「300」という状態が生じます。この状態でコード変換処理が実施されます。このため、変換元となる「業務システムのコード」には「勘定科目コード」が「100」、「補助科目コード」が「300」というコードを登録する必要があります。

一方、F X 4 クラウドの科目コード 1211 は口座別管理していないため、補助科目コードとして「400」というコードは存在していません。最終的には「補助科目コード」欄にセットされた「300」という部門コードを「400」へ変換し、「補助科目コード」欄にセットした上で読み込みますが、「補助科目コード」欄は使用しているものの、「400」というコードの実体は部門コードです。このため、「勘定科目、補助科目コード変換表」の「F X 4 クラウドのコード」の「補助科目コード」欄は空欄とし、別途「部門コード変換表」を作成します。

<誤った例>

a. 勘定科目、補助科目コード変換表

業務システムのコード		F X 4 クラウドのコード	
勘定科目コード	補助科目コード	勘定科目コード	補助科目コード
100	300	1211	400

3) 上記1)2)の設定をした上で、次のファイルの読込処理を行った場合、まず「仕訳読込テンプレートの設計画面」の設計内容に基づき、レイアウトの自動組替が行われます。ファイル内の「勘定科目コード」である「100」がそのまま「勘定科目コード」へセットされます。また、部門コード「300」がそのまま「補助科目コード」へセットされます。

<業務システムのデータ>

行	日付	科目コード	税込み金額	部門コード
1	20140501	100	10,000	300



<レイアウト自動組替後の仕訳データ (イメージ) >

取引年月日	伝票番号	課税区分	借方科目コード	借方補助科目コード	取引金額
20140501		1	100	300	10,000

(※) この時点では、まだ勘定科目は100、借方補助コードは300のままです。

4) 次に「勘定科目、補助科目コード変換表」及び「部門コード変換表」に基づく変換処理が行われます。

<コード変換後の仕訳データ>

取引年月日	伝票番号	課税区分	借方科目コード	借方補助科目コード	取引金額
20140501		1	1211①	400②	10,000

(※) ①「勘定科目、補助科目コード変換表」に基づき、業務システムの科目コード「100」と補助科目コード「300」が「1211」へ変換されます。

②「部門コード変換表」に基づき、「借方補助科目コード」にセットされていた「300」が「400」に変換されます。

2. 6 データ作成上の注意

(1) 消費税法の適用に関わる項目

①課税区分

課税区分は、その取引が消費税法上どのような取引であることを明らかにするためにF X 4クラウドが定める課税区分を設定します。

②消費税額

課税区分が「1、11、12、5、51、55、6、61、65、7、71、75」に該当する取引の場合は、税込みの取引金額に含まれる消費税額をデータとして作成します。

「55、65、75」に該当しない場合は、次の計算式で求め税額入力区分は自動計算を示す「1」とします。
(計算式) 消費税金額 = 税込み取引金額 × 消費税率 ÷ (消費税率 + 100)

※計算は小数点第一位を四捨五入します。

ただし、消費税法施行規則第22条の適用を受ける場合には、実際の取引によって生じた消費税金額をデータとして作成し、その際の税額経理区分は「0」とします。

「55、65、75」に該当する取引の場合は、必ず実際に生じた消費税額をデータとして作成しなければなりません。

③実際の仕入れ年月日

課税区分「5、51、55、57、58、6、61、65、67、68、7、71、75、77、78、8」に該当する取引（課税仕入れに関わる取引）の場合、消費税の仕入税額控除をうけるために、その課税仕入れが実際に行われた日を仕訳に記帳する必要があります。そのための項目として実際の仕入れ日の項目を用意しています。

実際の仕入れ年月日の表示方式は以下の通りです。

入力パターン	開始日	終了日	F X 4クラウド上の表現
0	0	0	表示なし（入力省略）
1	YYYYMMDD	0	Z9年Z9月Z9日
2	YYYYMMDD	YYYYMMDD	Z9年Z9月Z9日～Z9年Z9月Z9日
3	YYYYMM00	0	Z9年Z9月分
4	YYYYMM00	YYYYMM00	Z9年Z9月～Z9年Z9月分

(2) システム番号の設定

①1つのファイル内には1つのシステム番号のみをセットしてください。複数のシステム番号が1ファイル内に混在する場合、当該ファイルは読み込めませんのでご注意ください。

②システム番号には、通常は「連携システム情報」で登録したコードを入力しますが、1000を入力すると、当該データを決算整理仕訳として処理します。この場合、画面上部のタイトルには「他社システム（決算整理）」と表示されます。

(3) 貸借対照表科目を部門別管理している場合のご注意

①貸借対照表科目を口座別管理かつ部門別管理している場合、「補助科目コード」欄に補助コードをセットしてください。この場合、「部門コード」欄へのセットは不要です。

②「貸借対照表科目を部門別管理しているが、口座別管理はしていない」という場合、「補助科目コード」欄に部門コードをセットしてください。

(4) 自動仕訳データ読込時のチェック

①仕訳読込時、システムでは以下のようなチェックを行っています。

No.	タイトル	チェック内容	チェックに該当した場合
1	ファイルの形式	①ファイルの形式(列数など)が、事前にメニュー「32 ファイルレイアウト設定」で設定したものと同一か ②レイアウト2（複合仕訳形式）で読み込む場合、「経理情報」メニューで諸口勘定が設定されているか ③レイアウト2（複合仕訳形式）で読み込む場合、単純仕訳に分解後の仕訳数が、1複合伝票あたり1,000件を超えていないか ※読込対象の仕訳が存在しない場合も当チェックでエラーとな	エラー

		ります。	
2	会社コード、業務システムコード	正しい会社コード及び業務システムコードは正しいか	エラー
3	未登録のマスター項目	勘定科目コード、補助科目コード、部門コード、取引先コードには、マスターに存在するコードをセットしているか	エラー
4	不完全仕訳 (下記②③参照)	必須項目に正しい値をセットしているか	エラー
5	自動仕訳番号の連続性	【任意チェック項目】今回読み込むファイルの自動仕訳番号(最小)と前回の自動仕訳番号(最大)とが連続しているか、また今回読み込むファイル内で自動仕訳番号が連続しているか	警告
6	ファイルのタイムスタンプ	【任意チェック項目】ファイルの「更新日時」が「作成日時」の60秒以内か、また、期間内(「作成日時」から起算)にファイルを読み込んでいるか	警告
7	同一仕訳	【任意チェック項目】F X 4クラウドに存在する仕訳データと次の項目がすべて同一の仕訳を読み込もうとしていないか ・取引年月日、勘定科目、取引先、取引金額	警告
8	消費税率	【任意チェック項目】標準税率または軽減税率以外の税率の仕訳データを読み込もうとしていないか	警告

②不完全仕訳のチェック

不完全仕訳のチェックに該当した場合、メッセージが表示されます。メッセージごとの原因は次の通りです。

行	表示されるメッセージ	原因
1	年月日エラー	①年月日が正しい日付ではない ※20141233 (26年12月33日等)
2	将来の日付エラー	①年月日が「本日の日付より」将来の日付である
3	年月日エラー	①年月日が入力可能範囲の処理月に該当しない 例：3月まで月次決算済みで入力可能月が3か月の場合 4月～6月分の年月日のみ読み込み可能 ②月次締切業務を実施中に仕訳入力の特権のないユーザが仕訳読込を実施した。
4	勘定科目エラー(借・貸)	①存在しない科目コードが入っている ②レイアウト2(複合仕訳形式)で読み込む際に、1複合仕訳伝票内に借方科目、または貸方科目が1行もない
5	未使用科目エラー	①製造原価科目及び引当金科目を利用しないと設定しているにもかかわらず、それに該当する科目が入っている
6	補助コードエラー(借・貸)	①口座別管理する科目で、口座コードが入っていない ②口座別管理する科目で、入力されている口座コードが存在しない ③B/S科目かつ部門別管理する科目で、口座コードが入っていない ④B/S科目かつ部門別管理する科目で、口座コードに存在しない部門が入っている ⑤口座別管理及び部門別管理しない科目にもかかわらず、口座コードが入っている
7	課税区分エラー	①消費税申告書自動作成する設定で課税区分が入っていない ②課税区分が課税区分一覧に存在しない ③仕訳の貸借科目で入力不可能な課税区分が入っている ※課税区分'1'で1111/1111等の仕訳 「4. 課税区分と仕訳」をご参照ください。
8	事業区分エラー	①事業区分が必要な仕訳で消費税情報の事業区分の内容に合致しない事業区分が入っている
9	税率エラー	①消費税情報の税率に設定していない税率が存在する ②消費税率が必要な課税区分で消費税率が0% ※'1','11','12','5','51','55','57','58','6','61','65','67','68','7','71','75','77','78'

10	取引先コードエラー	①貸借どちらかに取引先別管理する科目で取引先コードが0である ②取引先コードとして有効な値でない
11	取引金額等エラー	①金額として有効な値でない
12	消費税額エラー	①金額として有効な値でない
13	部門数エラー	①部門内訳金額が必要な取引で部門数が0と入っている ②1仕訳に入力可能な部門数を超える数が入っている
14	部門コードエラー	①部門内訳金額部に存在しない部門コードが入っている
15	部門明細差額エラー	①部門内訳金額の合計が取引金額の合計と一致しない(消費税が発生している取引の場合は取引金額-消費税金額)
16	仕入れ年月日エラー	①実際の仕入れ年月日を入力仕訳で設定されているパターンに従い入力できない期間、日付等が入っている
17	収支区分エラー	①収支大分類が1～7及び収支小分類が1～24の範囲にない
18	貸借差額エラー	①レイアウト2(複合仕訳形式)で読み込む際に、1複合仕訳伝票内で借方発生額合計と貸方発生額合計が一致しない

③システムでのみなし処理

不完全仕訳のチェックでは、データに誤りがある場合でも、読込時に自動修正を行う場合があります。この場合、当該仕訳は自動修正後の内容で更新されます。詳細は以下のとおりです。

行	表示されるメッセージ	みなし処理内容
1	課税区分を消去	①消費税情報の税率適用開始年月日が指定されていないか、取引年月日が適用開始期間に合致しない場合は消費税自動申告書作成しないとみなし課税区分等の税率情報を消去 ②消費税申告書自動作成しない設定にも関わらず課税区分がある仕訳の場合は課税区分等の税率情報を消去 ③消費税申告書自動作成しない設定にも関わらず税率がある仕訳の場合は課税区分等の税率情報を消去
2	税率を消去	①税率が必要ない課税区分(※)で税率が入っている仕訳の場合は税率を消去 ※'2','21','25','26','3','31','4','8','9','0'
3	消費税額等を消去	①消費税が発生しない取引であるのに消費税金額が入っている場合は消費税金額を消去 ②税込み経理の設定で内消費税金額が0円でない場合は消費税金額を消去
4	事業区分を消去	①事業区分が必要ではない仕訳で事業区分が入っている仕訳の場合は事業区分を消去 ※'1','11'以外
5	プロジェクトを消去	①プロジェクトコードが存在しない場合はプロジェクトコードを消去 ②プロジェクト管理しない設定でプロジェクトコードがある場合は消去 ③完了済みプロジェクトの場合は消去 ④開始日が未来の日付のプロジェクトの場合は消去
6	仕入れ年月日を消去	①実際の仕入れ年月日を入力しない仕訳で仕入れ年月日が入っている場合は消去
7	受注番号を消去	①受注番号に全角文字が設定されていた場合は消去
8	小切手番号を消去	①小切手番号が全角文字の場合は消去
9	証憑書番号を消去	①証憑書番号に全角文字が設定されていた場合は消去
10	部門数をゼロ	①部門内訳金額が必要ない取引で部門数が入っている場合は部門内訳金額部を消去
11	その他みなし処理	①収支区分を入力しない取引で収支区分が入っている場合は消去 ②収支区分を入力する科目で収支大分類、小分類とも0の場合

	<p>は資金相手科目の設定に従い初期値を仕訳の収支区分とする</p> <p>③取引先コードが0の場合は支払予定日を消去</p> <p>④貸方科目が支払予定日を入力しない科目の場合は支払予定日を消去</p> <p>⑤支払予定日が誤った日付の場合は支払予定日を消去</p> <p>⑥取引先コードが0の場合は回収予定日を消去</p> <p>⑦借方科目が回収予定日を入力しない科目の場合は回収予定日を消去</p> <p>⑧部門コードが3桁未満の数値の場合先頭から0をつけ数値3桁とみなす</p> <p>⑨伝票番号にマイナス数値が入っていた場合は消去</p> <p>⑩課税区分が'55','65','75'である場合は、消費税自動計算区分を消去</p> <p>⑪プロジェクトコードが0(1桁)~000000(6桁)の場合は省略とみなす</p> <p>⑫取引先コードが999999の場合は、取引先名を「その他取引先」とする</p> <p>⑬取引先コードがすでに存在する場合は仕訳の取引先名は存在する取引先名に置換える</p> <p>⑭登録されていない取引先コードがセットされている場合は、当該取引先コードを取引先マスターに追加</p> <p>⑮登録されていない内訳管理コードがセットされている場合は消去</p> <p>⑯レイアウト2(複合仕訳形式)で読み込む際に、1複合仕訳伝票内で自動仕訳番号がすべて一致していない場合は消去</p> <p>⑰レイアウト2(複合仕訳形式)で読み込む際に、1複合仕訳伝票内で証憑書番号がすべて一致していない場合は消去</p> <p>⑱レイアウト2(複合仕訳形式)で読み込む際に、1複合仕訳伝票内で受注番号がすべて一致していない場合は消去</p>
--	--

(画面イメージ)

仕訳の完成度	月日	伝番	税	税率	借方	ト	貸方	ト	元帳摘要	取引金額
OK	8.20	1	8.0%	売掛金	1122	半導体製造装	4111			432,430
将来の日付エラー	7.20	1	8.0%	売掛金	1122	仮受消費税等	2164			34,594
取引先コードエラー	6.20	1	8.0%	売掛金	1122	半導体製造装	4111			323,520
年月日エラー	0			売掛金	1122	仮受消費税等	2164			25,882
OK	6.20	1	8.0%	売掛金	1122	半導体製造装	4111			123,410
OK	6.20	1	8.0%	売掛金	1122	仮受消費税等	2164			9,873
取引金額等エラー	6.20	1	8.0%	売掛金	1122	半導体製造装	4111			0
OK	6.20	1	8.0%	売掛金	1122	仮受消費税等	2164			17,057
OK	6.20	1	8.0%	売掛金	1122	半導体製造装	4111			182,700
OK	6.20	1	8.0%	売掛金	1122	仮受消費税等	2164			14,616

(5) その他注意事項

① 「仕訳明細ファイル」「部門明細ファイル」を Excel で編集する場合のご注意

一度作成したファイルを Excel で編集して上書き保存すると、0 で始まる項目については、0 が外れた状態で保存されてしまいます。このため、項目によっては読込時にエラーとなります。また、エラーとならない場合でも、意図しない値 (0 が外れた値) でファイルが読み込まれてしまう可能性があります。以下の項目については、Excel で当該項目を文字列として認識させてから保存するようにしてください。

- 1) 証憑書番号
- 2) (借方・貸方) 補助コード
- 3) 小切手番号

② 「レイアウト2 (複合仕訳形式)」で読み込む場合のご注意

複合仕訳形式で作成されたデータは、諸口勘定を利用した単純仕訳に自動分解した上で読み込みます

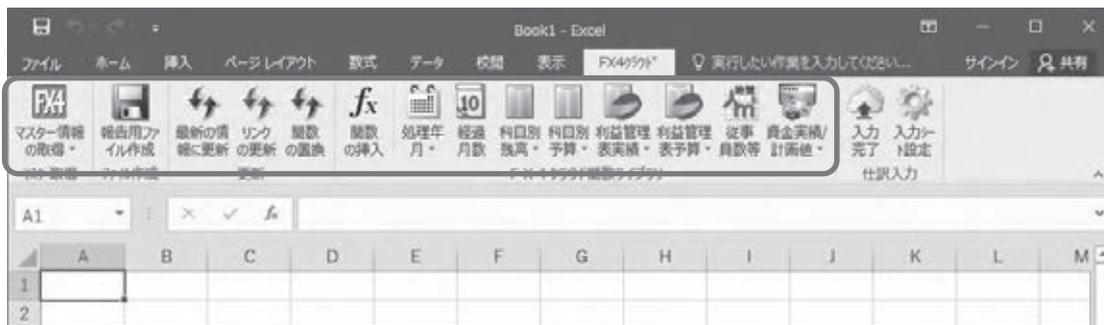
(例：5211/2112 という仕訳の場合は、「5211/9992」「9992/2112」という2仕訳に分解されます)。
分解後の仕訳数が、1複合仕訳伝票あたり1,000件を超える場合は読み込めません。1,000件以内になるよう作成してください。

第5章 マネジメントレポート設計ツール

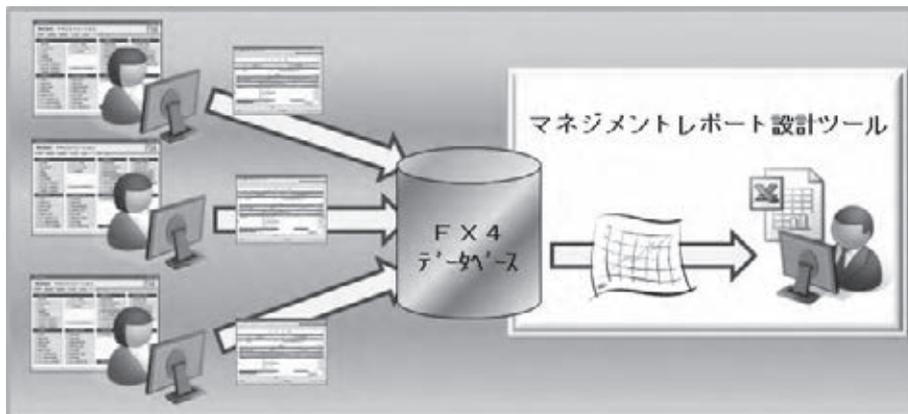
1. 特長

(1) マネジメントレポート設計ツールは、Excel で動作する Excel アドイン (Excel の追加拡張機能) です。当ツールを利用することにより、以下の内容を実現できます。

- ① Excel に F X 4 クラウドのデータの内容を出力できるため、Excel 上で最新の業績を確認できます。
- ② 帳表作成時における工数や、データ加工時の集計ミスなどのリスクを低減できます。

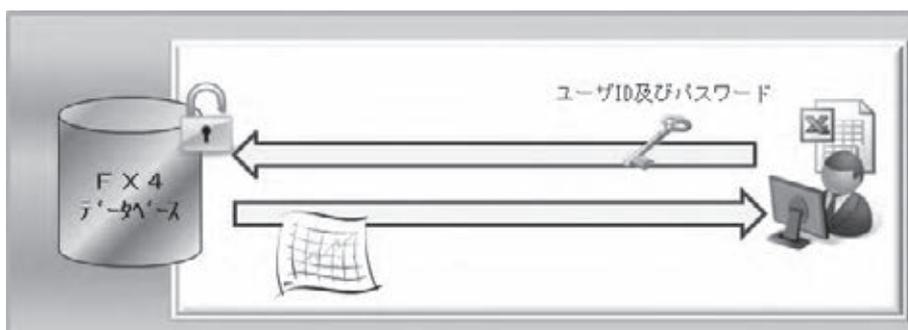


(2) マネジメントレポート設計ツールをインストールすると、実績や予算などの F X 4 クラウドのデータを取得する特有の関数を、Excel に挿入できるようになります。この関数を利用して取得した実績や予算は、その時点での最新のデータです。そのため、F X 4 クラウド本体を起動することなく、Excel 上で最新の業績を確認できます。



(3) マネジメントレポート設計ツール特有の関数と Excel の標準機能(罫線など)を併用して帳表を作成できます。このため、マネジメントレポート設計ツールを利用して帳表を一度作成すれば、その後メンテナンスすることなく、最新のデータを Excel で確認できるようになります。

(4) マネジメントレポート設計ツールを利用するには、F X 4 クラウドのユーザ ID とパスワードが必要です。そのため、F X 4 クラウドの利用者以外の方にデータを直接閲覧されることはありません。



2. 機能概要

(1) Excel へのマスターの配置機能

- ①マスター情報(科目コードや科目名)を、任意のセルに配置することができます。
- ②マスター情報を配置する際、配置する方向(縦方向または横方向)を選択することができます。当機能を利用することで、タイトル行やタイトル列が作成できます。

	A	B	C	D	E	F	G
1			A11	A12	A13	A14	A15
2			札幌営業所	弘前営業所	盛岡営業所	秋田営業所	山形営業所
3	1111	現金	「横方向」に配置				
4	1112	当座預金					
5	1113	普通預金					
6	1114	定期預金					
7	1115	通知預金					
8	1116	譲渡性預金					
9	1121	受取手形					
10	1122	売掛金					
11	1125	有価証券					

(2) 特有の関数による最新データの取得機能

- ①マネジメントレポート設計ツール特有の関数を利用して、残高や発生額などの値を取得できます。
- ②関数の引数に、コードなどのマスター情報を配置したセルの値をセットすることで、より簡単に帳表を作成できます。
- ③マネジメントレポート設計ツール特有の関数を埋め込んだファイルを起動すると、起動のタイミングで、データベースから最新の値が集計されます。そのため、残高等の変更があっても、関数のメンテナンスをすることなく、最新の値が取得できます。

	A	B	C	D	E	F	G
1			A11	A12	A13	A14	A15
2			札幌営業所	弘前営業所	引数	秋田営業所	山形営業所
3	1111	現金	1000000	1100000	1200000	1150000	900000
4	1112	当座預金	2000000	2200000	2400000	2300000	1800000
5	1113	普通預金	3100000	3410000	3720000	3565000	2790000
6	1114	定期預金	800000	880000	0	0	540000
7	1115	通知預金	0	0	0	0	0
8	1116	譲渡性預金	0	0	0	0	0
9	1121	受取手形	0	0	0	0	420000
10	1122	売掛金	6200000	6820000	7440000	7130000	5580000
11	1125	有価証券	0	0	0	0	0

- ④なお、各ユーザの設定において「利用可能な会社」に該当しない会社の場合、当該会社のデータを出力しようとしても、データは表示されません。(セルには「#VALUE」などの文字が出力されます)

(3) Excel の標準機能との併用

- ①Excel の標準の関数と、マネジメントレポート設計ツール特有の関数を組み合わせて利用することができます。マネジメントレポート設計ツールの関数を利用して取得した値に四則演算を行ったり、平均値を求めたりといったことが可能です。
- ②罫線を引くことやマネジメントレポート設計ツールを利用して取得した値をもとにグラフを作成することもできます。そのため、各種報告資料の作成業務の標準化が図れます。

	A	B	C	D	E	F	G
1		部門	A11		A12		A13
2	科目		札幌営業所	構成比	旭前営業所	構成比	盛岡営業所
3	1111	現金	1,000,000	7.8%	1,100,000	8.6%	1,200,000
4	1112	当座預金	2,000,000	7.6%	2,200,000	8.4%	2,400,000
5	1113	普通預金	3,100,000	7.4%	3,410,000	8.1%	3,720,000
6	1114	定期預金	800,000	14.0%	880,000	15.4%	0
7	1115	通知預金		0.0%		0.0%	0
8	1116	譲渡性預金		0.0%		0.0%	0
9	1121	受取手形		0.0%		0.0%	0
10	1122	売掛金	6,200,000	7.8%	6,820,000	8.6%	7,440,000
11	1125	有価証券		0.0%		0.0%	0

Excel の標準の関数も同時に利用可能

(4) 報告用ファイルの作成機能

- ① マネジメントレポート設計ツール特有の関数が埋め込まれたファイルを起動しようとする時、FX4クラウドのユーザID及びパスワードの入力画面が表示されます。このため、FX4クラウドの利用者でなければ最新の業績が確認できない旨のセキュリティが確保できる反面、FX4クラウドは利用しないが帳表は電子データで確認するといった人は当該ファイルを利用できません。
- ② このようなケースを想定し、報告用のファイルを別途作成できる機能が設けられています。当機能を利用して作成した報告用のファイルの場合、もともとマネジメントレポート設計ツールの関数を埋め込んだセルには、関数ではなく、取得した値そのものがセットされます。このため、報告用のファイルであれば、FX4クラウドの利用者ではなくとも、金額等が確認できます。
- ③ なお、報告用のファイルにはマネジメントレポート設計ツールの関数はセットされていないため、FX4クラウドのデータが変更されても、当該ファイルにはその旨は反映されません。



3. 操作説明

3. 1 【重要】従来の F X 4 用マネジメントレポート設計ツールの削除（インストールされている場合のみ）

(1) 概要

F X 4 クラウド用のマネジメントレポート設計ツールをご利用になるパソコンに、既に従来の F X 4 マネジメントレポート設計ツールがインストールされている場合は、最初に削除する必要があります。なお、インストールされていない場合は、下記 3. 2 の手順から開始してください。

(2) 操作方法

- ① Windows の「スタート」メニューから「TKCシステムの登録・削除」を選択し、続いて「ハードディスクからの削除」を選択します。



- ② 「TKCシステムのディスク削除」画面が開きます。「F X 4 マネジメントレポート設計ツール」

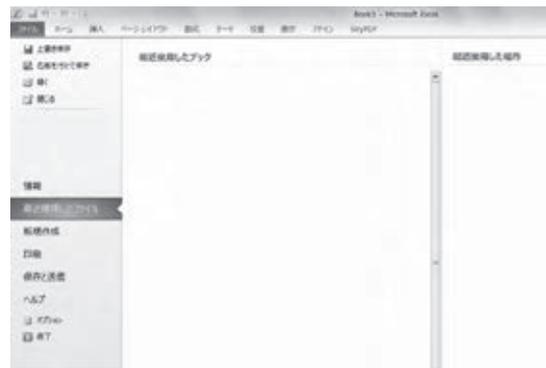
を選択して、[削除] ボタンをクリックします。「選択されたシステムを削除してもよろしいですか？」とメッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックして削除します。



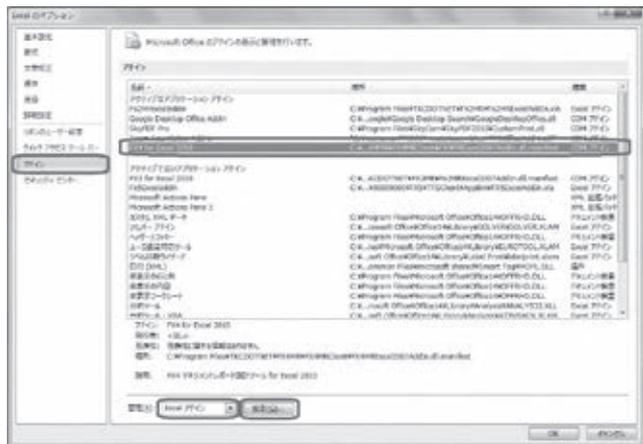
- ③ 続いて、Excel の「COMアドイン」、「Excel アドイン」を無効化します。ご利用の Excel のバージョンごとに手順が異なります。それぞれの手順は次の通りです。

1) Office2016 (Excel2016)、Office2013 (Excel2013) または Office2010 (Excel2010) の場合の手順
 (以降の手順は office2010 で行いますが、2013、2016 の場合も同様です)

a. Office2010 (Excel2010) を起動します。起動後、「ファイル」タブから「オプション」を選択します。



b. 「Excel のオプション」画面が開きます。画面の左側ペインからアドインを選択後、右側ペインの「アクティブなアプリケーションアドイン」欄に「Fx4Mrexceladdin」があることを確認します。確認後、画面下部にある「管理」欄から「Excel アドイン」を選択し、[設定(G)]ボタンを押下します。



c. 「アドイン」画面が開きます。「有効なアドイン」欄にある「Fx4Mrexceladdin」からチェックを外して[OK]ボタンを押下します。Office2010 (Excel2010) 起動時の画面に戻ります。

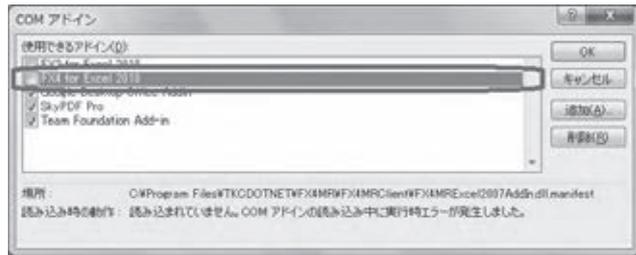


d. 再度、「Excel のオプション」画面を開き、「Fx4MrexcelAddin」が「アクティブでないアプリケーションアドイン」欄にあることを確認の上、画面右下にある [キャンセル] ボタンをクリックして画面を閉じます。

e. 再度、「Excel のオプション」画面の左側ペインからアドインを選択後、右側画面下部にある「管理」欄から「COM アドイン」を選択し、[設定(G)]ボタンを押下します。



- f. 使用できるアドイン(D)から「FX4 for Excel2010」のチェックを外します。
 (「FX4 for Excel2010」が存在しない場合はそのまま問題ありません。)



- g. 以上で設定は終了です。一旦 Excel2010 を再起動してください。

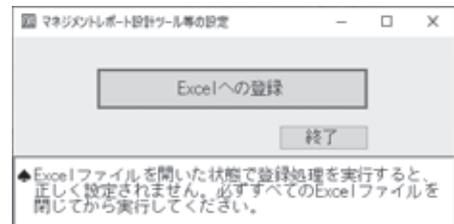
3. 2 環境設定

(1) 概要

F X 4 マネジメントレポート設計ツールをご利用するための設定を行います。

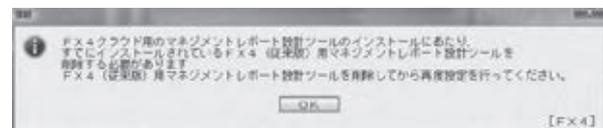
(2) 操作方法

- ① E x c e l をすべて終了します。
- ② 「ツール(T)」－「F X 4 マネジメントレポート設計ツール等の設定(A)」を選択すると当画面が開きます。



(ご注意)

ご利用のパソコンに、従来の F X 4 用のマネジメントレポート設計ツールが登録されている場合は、選択時に右のエラーが表示されません。



この場合は、上記 3. 1 の手順により、従来の F X 4 用のマネジメントレポート設計ツールを削除してから当手順を実行してください。

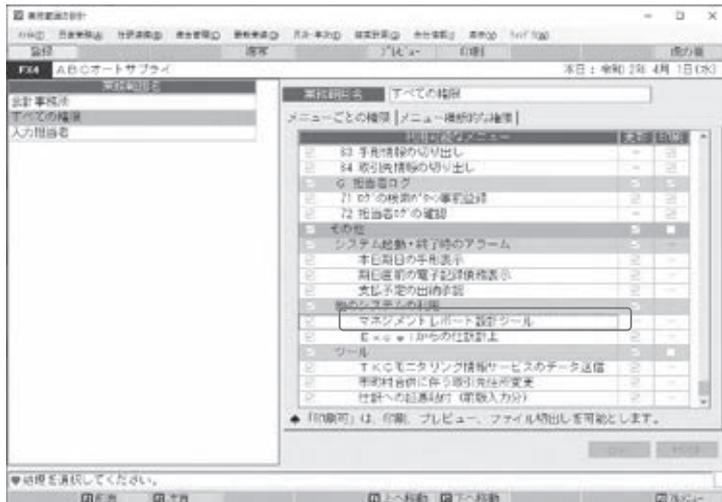
- ③ [Excel への登録] ボタンをクリックします。

3. 3 当ツールの利用の可／不可の設定

マネジメントレポート設計ツールの利用の可／不可を、ユーザ ID ごとに設定できます。当設定は、既存の業務範囲の設計機能を利用して行います。

(1) 「業務範囲」の設定変更

まず、「会社情報」タブのメニュー「業務範囲の設計」で、「業務範囲」ごとにマネジメントレポート設計ツールの利用の可／不可を選択します。



(2) ユーザ ID ごとの「業務範囲」の設定

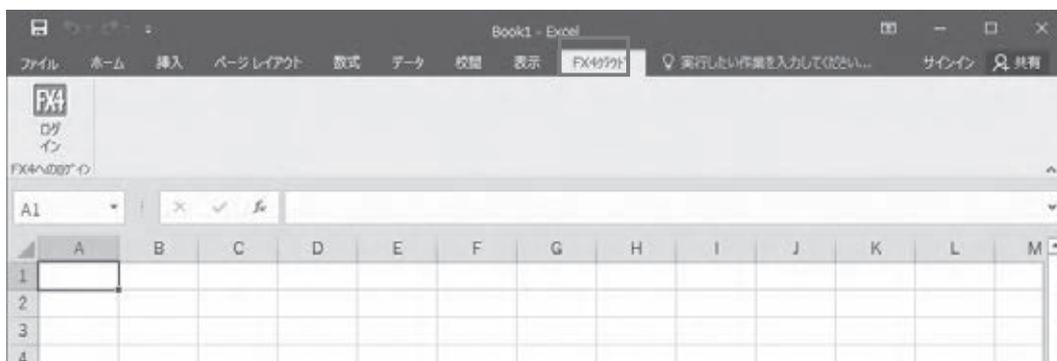
次に「会社情報」タブのメニュー「ユーザ名情報」で、ユーザ ID ごとに「業務範囲」を選択します。マネジメントレポート設計ツールの利用が「可」である業務範囲を「業務範囲」欄に設定しているユーザ ID に限りマネジメントレポート設計ツールを利用できます。



3. 4 起動と主な操作

(1) タブ「FX4 クラウド」について

マネジメントレポート設計ツールをインストールすると、Excel にタブ「FX4 クラウド」が登録されます。このタブ「FX4 クラウド」内の各メニューを利用します。

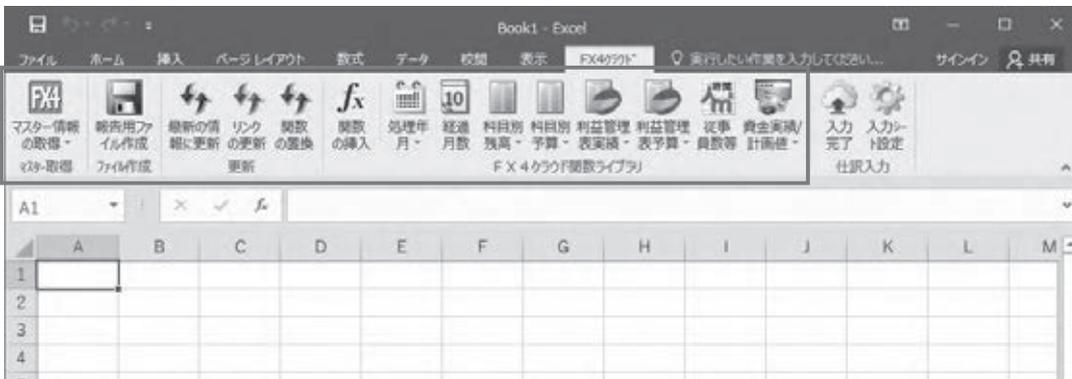


(2) ログイン

①タブ「FX4クラウド」の「ログイン」をクリックすると、FX4クラウドのログイン画面が起動します。



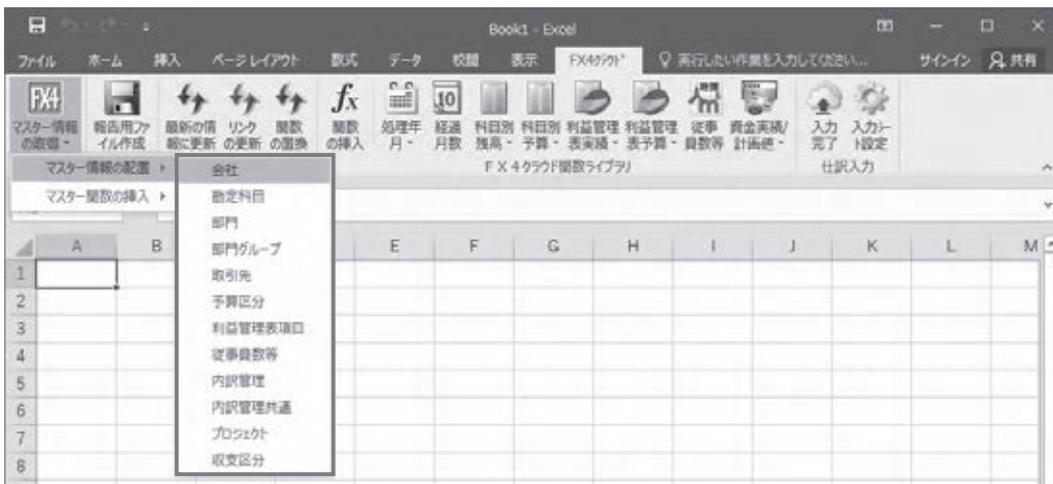
②FX4クラウドのログイン画面で企業グループコード、ID及びパスワードを入力すると、タブ「FX4クラウド」内にマネジメントレポート設計ツールの各メニューが表示されます。



(3) マスター情報の取得

①マスター情報の配置

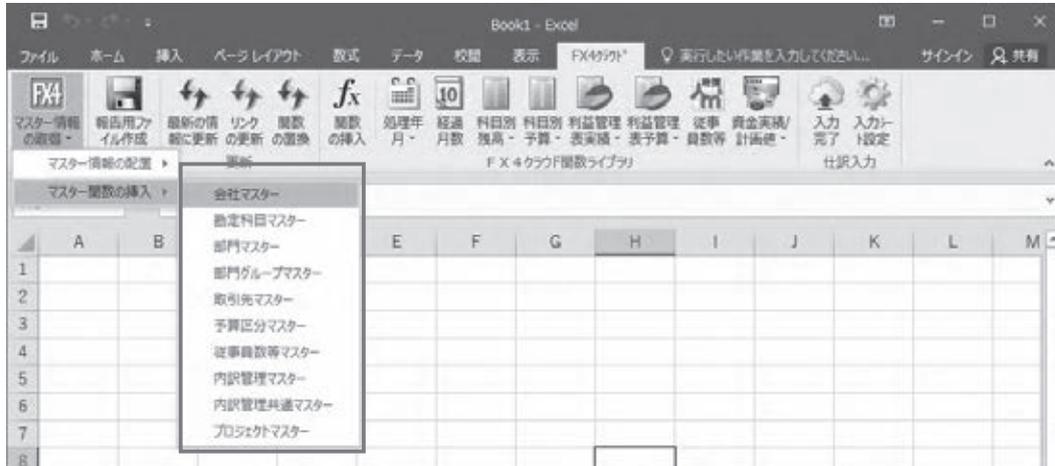
タブ「FX4クラウド」のメニュー「マスター情報の取得」の「マスター情報の配置」を選択すると、次の画面が開きます。FX4クラウドに登録されているマスター情報（勘定科目、部門等）をExcelシートに文字列として展開します。



- | | | |
|-----------|------------|------------|
| 1) 会社 | 5) 取引先 | 9) 内訳管理 |
| 2) 勘定科目 | 6) 予算区分 | 10) 内訳管理共通 |
| 3) 部門 | 7) 利益管理表項目 | 11) プロジェクト |
| 4) 部門グループ | 8) 従事員数等 | 12) 収支区分 |

②マスター関数の挿入

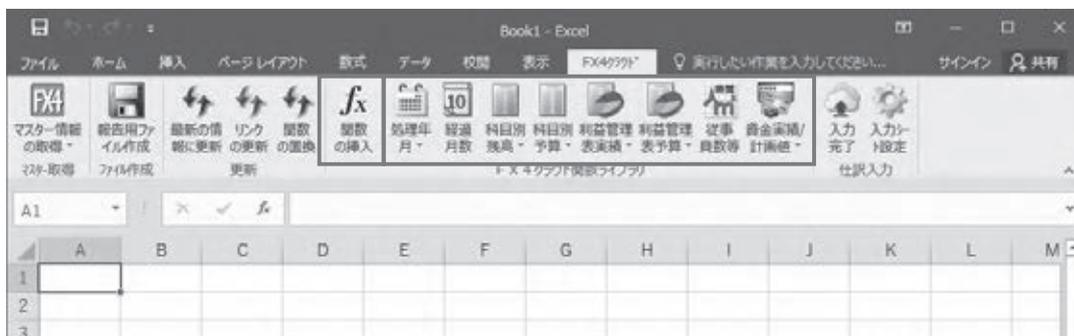
指定したセル範囲に、最新の取引先や部門等のマスター情報を取得する関数をワークシートに挿入します。マスター関数を使用するとFX 4クラウド上で取引先や部門が追加された場合でも最新の内容が取得されますので、取引先や部門等の追加があった場合でも、メンテナンスが不要なシートを作成できます。



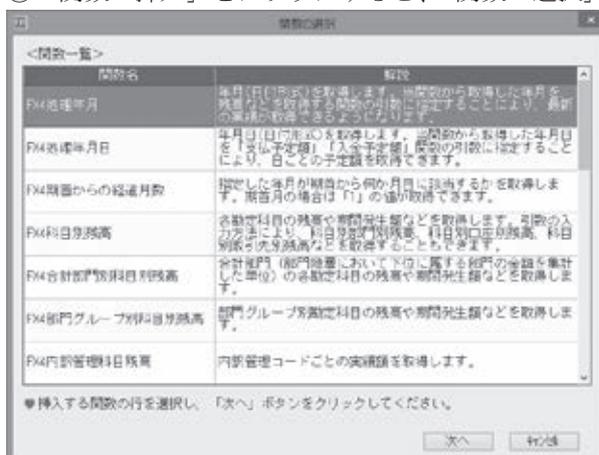
- | | | |
|---------------|--------------|----------------|
| 1) 会社マスター | 5) 取引先マスター | 9) 内訳管理共通マスター |
| 2) 勘定科目マスター | 6) 予算区分マスター | 10) プロジェクトマスター |
| 3) 部門マスター | 7) 従業員数等マスター | |
| 4) 部門グループマスター | 8) 内訳管理マスター | |

(4) 関数の挿入

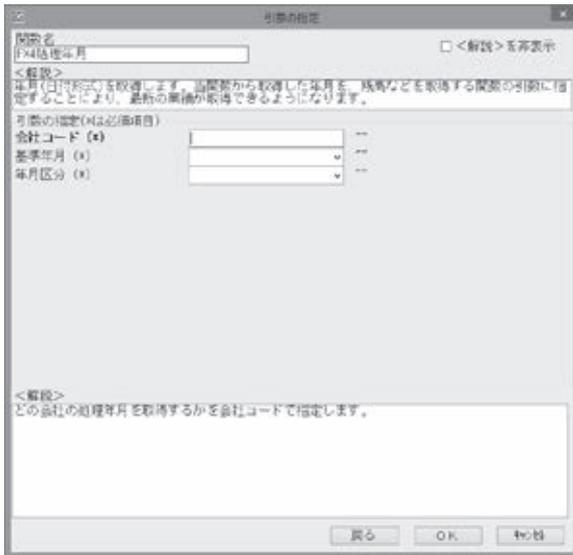
①タブ「FX4クラウド」のメニュー「関数の挿入」または、メニュー「処理年月」～「資金実績/計画値」を利用して、マネジメントレポート設計ツール特有の関数を挿入できます。



②「関数の挿入」をクリックすると、「関数の選択」画面が表示されます。



- ③「関数の選択」画面で、該当する行を選択し、[次へ(N)]ボタンをクリックすると、「引数の指定」画面が表示されます。この「引数の指定」画面で、関数ごとの引数を入力します。



- ④タブ「FX4クラウド」のメニュー「処理年月」～「従業員数等」をクリックすると、上記③と同様の「引数の指定」画面（[戻る]ボタンは表示されません。）が表示されます。当画面で、関数ごとの引数を入力します。
- ⑤「引数の指定」画面で各引数を入力し、[OK]ボタンをクリックすると、選択中のセルにマネジメントレポート設計ツールの関数が挿入されます。

(5) 最新の情報に更新

現在利用中のマネジメントレポートの内容を最新の情報に更新します。「最新の情報」をクリックすると、データベースから最新のデータが集計され、再計算処理が実行されます。



(6) 報告用ファイルの作成

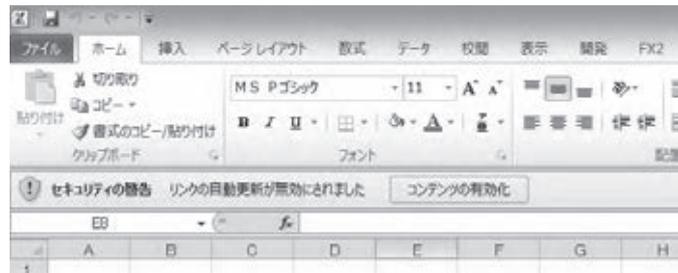
タブ「FX4クラウド」のメニュー「報告用ファイル作成」をクリックすると、「名前を付けて保存」画面が表示されます。当画面で任意のファイル名を入力し、報告用ファイルを別途保存します。

なお、作成したマネジメントレポートの保存は、通常のExcelファイルの保存方法と同様、「ファイル」の「保存」等から行います。



(7) リンクの更新

64 ビットOSのパソコンでMR設計ツールを利用して作成したブックを 32 ビットOSのパソコンで開いた場合等に、「セキュリティの警告 リンクの自動更新が無効にされました」とエラーが表示される場合があります。これは、MR設計ツールの関数が登録されたファイルをブックから正しく参照できなくなるためです。



このような場合は、[リンクの更新] ボタンをクリックすると、正しく参照できるようになります。



(8) 関数の置換

F X 2からF X 4クラウドへ移行した場合、F X 2用MR設計ツールを使用して作成したブックはそのままではF X 4クラウド用MR設計ツールでご利用できません。これは、両MR設計ツールの関数名が異なるためです。

[関数の置換] ボタンをクリックすると、F X 2用MR設計ツールを利用して作成したブックに埋め込まれた関数名をF X 4クラウド用の名称へ一括変更し、引き続きご利用できるようになります。



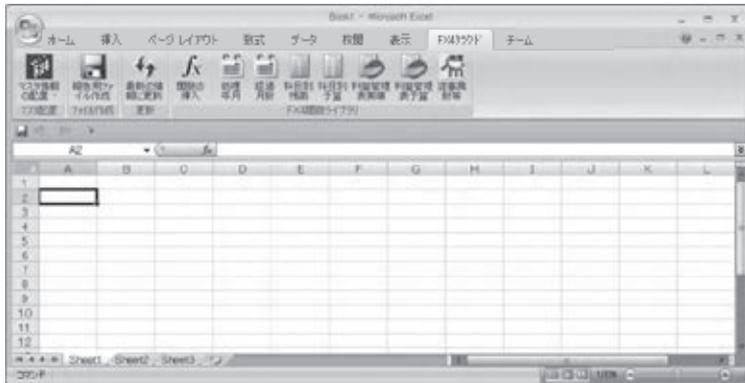
3. 7 関数の挿入

3. 7. 3 マネジメントレポート設計ツール特有の関数及び引数

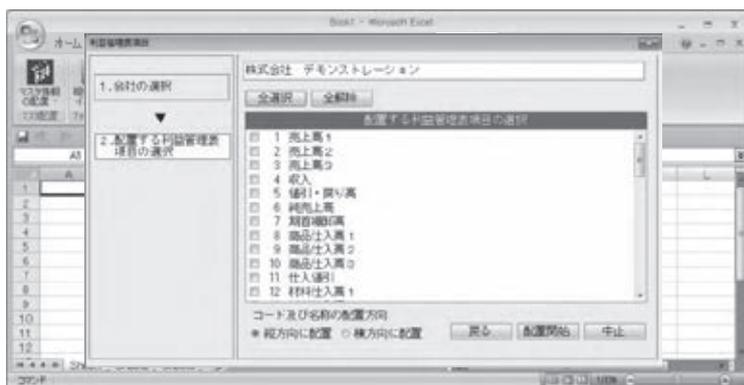
<作成例（利益管理表推移表）>

(1) 利益管理表項目の配置

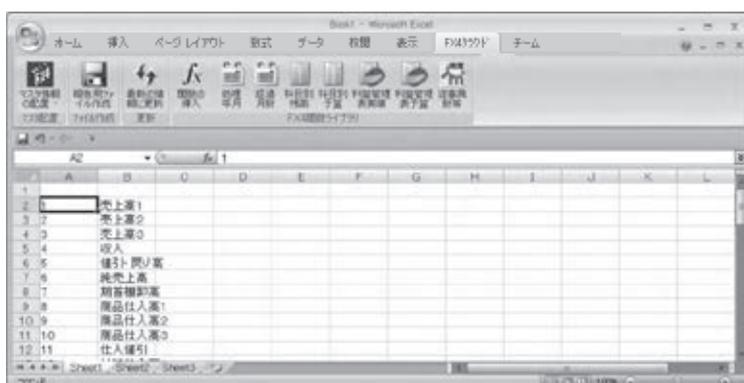
① 「A」列の「2」行目のセルを選択します。



②上記①の状態では、「マスター情報の配置」内の「利益管理表項目」をクリックします。すると、「利益管理表項目の選択」画面が表示されます。（F X 4クラウドを複数社利用している場合は会社を選択後、当該画面が表示されます。）

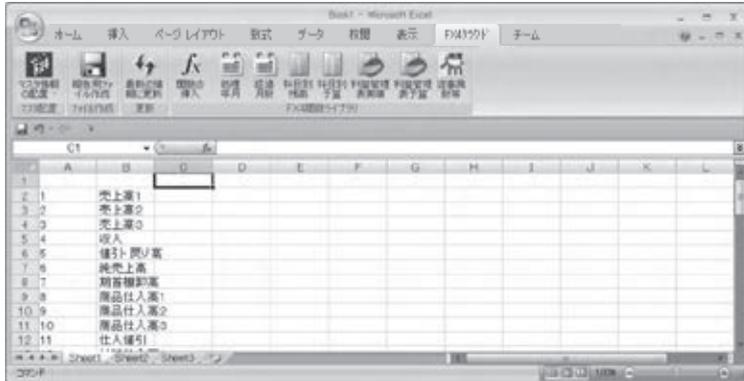


③ 「利益管理表項目の選択」画面で、[全選択]ボタンをクリックし、[配置開始]ボタンをクリックします。すると、利益管理表項目のコード及び名称が、A列及びB列の2行目以降の行に配置されます。



(2) 年月の配置

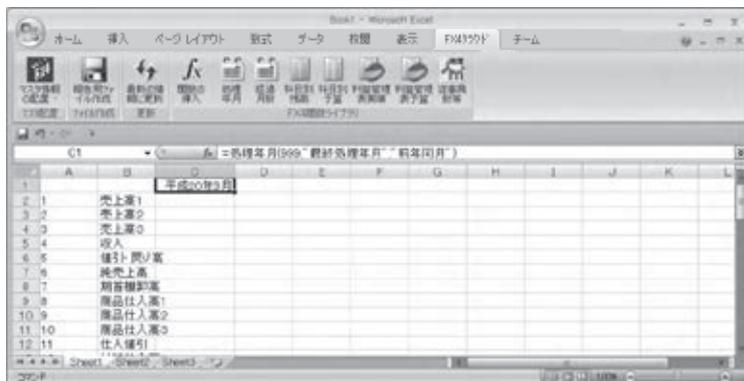
① 「C」列の「1」行目のセルを選択します。



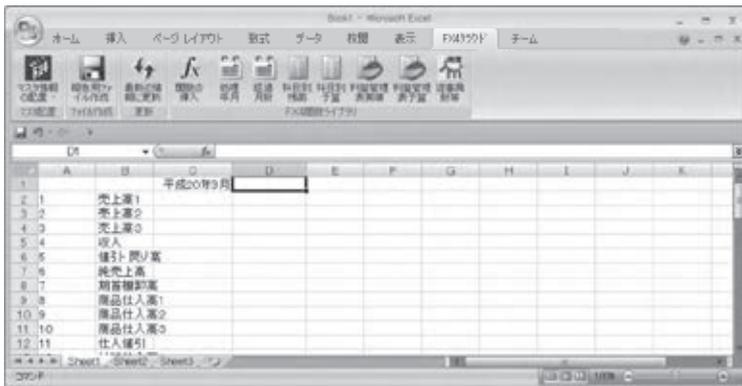
② 「処理年月」をクリックし、処理年月関数の「引数の指定」画面を表示します。この「引数の指定」画面で、「会社コード」欄に該当する会社コードを、「基準年月」欄に「最終処理年月」を、「年月区分」欄に「前年同月」を入力します。



③すると、C列の1行目に最終処理年月の前年同月の年月が表示されます。



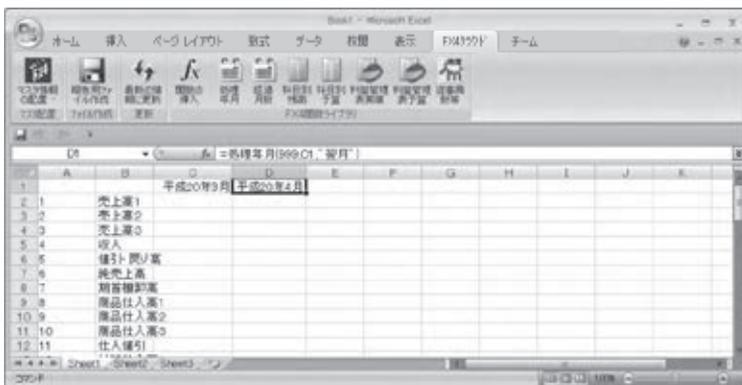
④次に、「D」列の「1」行目のセルを選択します。



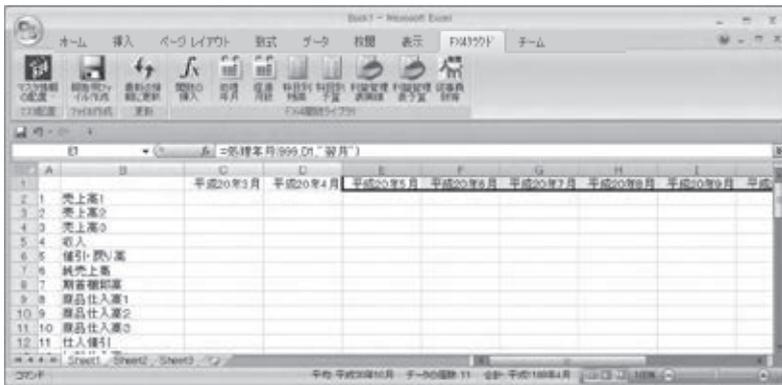
⑤また「処理年月」をクリックし、処理年月関数の「引数の指定」画面を表示します。「会社コード」欄に該当する会社コードを入力した後に、今度は、「基準年月」欄に「C1」の文字を、「年月区分」欄に「翌月」を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



すると、D列の1行目には、C列の1行目の年月の翌月の年月が表示されます。

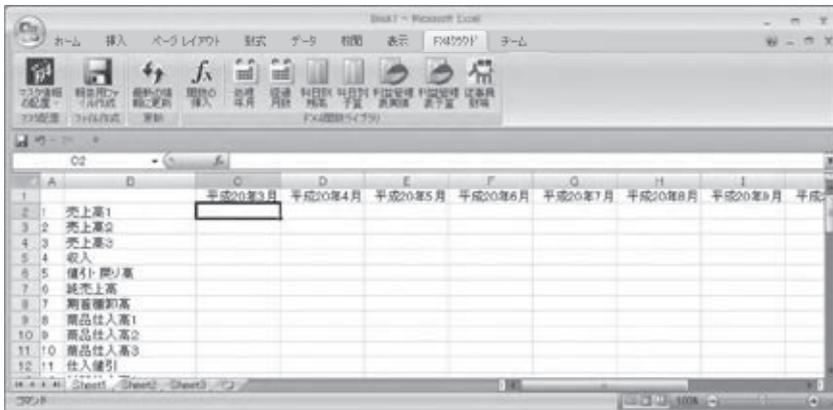


- ⑥このD列の1行目のセルの内容を、E列～0例の1行目にコピーします。
すると、D列～0列の1行目には1年間の年月が表示されます。

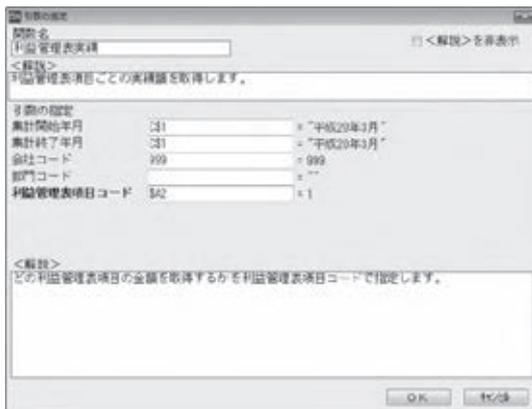


(3) 利益管理表実績の配置

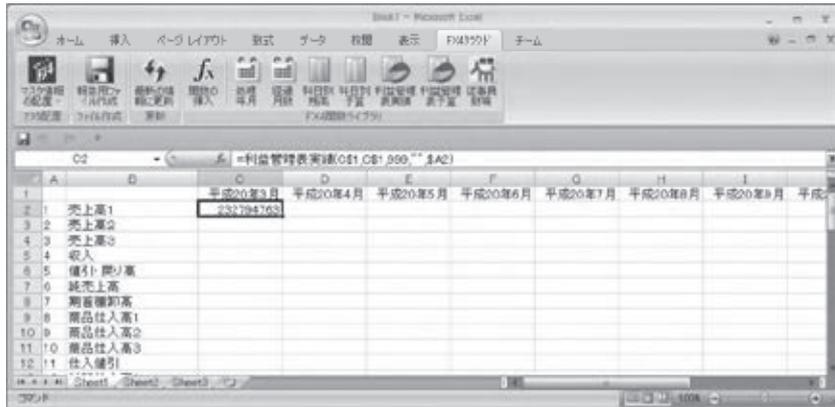
- ①「C」列の「2」行目を選択します。



- ②「利益管理表実績」をクリックし、利益管理表実績関数の「引数の指定」画面を表示します。この「引数の指定」画面で、「集計開始年月」欄及び「集計終了年月」欄の両方に「C\$1」の文字を入力し、「会社コード」欄に該当する会社コードを入力し、「利益管理表項目コード」欄に「\$A2」の文字を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



すると、C列の2行目には、最新の月次決算完了月の前年同月における利益管理表項目「売上高1」の実績額が表示されます。



③C列の2行目のセルの内容を、C列~O列の2行目~50行目のすべてのセルにコピーします。
すると、各年月における各利益管理表項目の実績額が表示されます。



④その後、列の幅の調整等を行うことにより完成です。



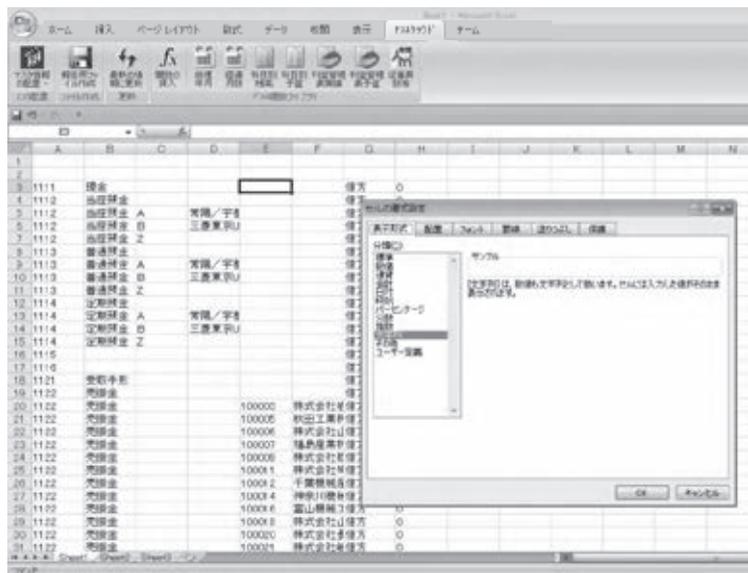
3. 8 マネジメントレポート設計ツールご利用上の注意

- (1) マネジメントレポート設計ツールをインストールした場合、Excel の起動にあたり、数秒かかる場合があります。
- (2) マネジメントレポート設計ツール特有の関数を埋め込んだファイルを起動し、Excel のフィルター機能を利用して表示内容の絞り込みを行った状態で、「報告用ファイル作成」を行うとエラーが発生する場合があります。この場合は、フィルターの設定を外した上で再度作成してください。
- (3) マネジメントレポート設計ツール特有の関数を埋め込んだファイルを起動する際、ユーザ ID 及びパスワードの入力画面が表示されます。このユーザ ID 及びパスワードの入力画面が表示されている状態では、当画面の背後の Excel のデータが表示されてしまいます。



このデータは前回当ファイルを保存した際のデータであり、データベースが再度取得したデータではありませんが、セキュリティの都合のために当該データの閲覧を禁止する場合は、ファイルの保存時にデータが存在しないシートを選択し保存するか、ドキュメントの暗号化等によりブックの起動時のパスワード等を設定します。

- (4) 「マスター情報の配置」機能を利用してマスターを配置した場合、マスターの配置の範囲（口座コードや口座名などが配置されるべき箇所）に該当するセルは、マスターの配置結果に関係なく、当該セルの「表示形式」は「文字列」となります。そのため、当該セルに日付などの値を別途入力しても、文字列として扱われますので、このような場合は表示形式を「標準」に変更する必要があります。



「表示形式」が「文字列」となる箇所（背景赤）

・「縦方向に配置」の場合

1121	受取手形	A	手持				
1121	受取手形	B	割引				
1121	受取手形	C	裏書				
1121	受取手形			000001	A社		
1122	売掛金			000001	A社		
1122	売掛金			000002	B社		
1125	有価証券	A	売買目的				
1125	有価証券	B	その他				

・「横方向に配置」の場合

1121	1121	1121	1121	1122	1122	1125	1125
受取手形	受取手形	受取手形	受取手形	売掛金	売掛金	有価証券	有価証券
A	B	C				A	B
手持	割引	裏書				売買目的	その他
			000001	000001	000002		
			A社	A社	B社		

(5) 「科目別残高」関数を使用して当月発生の残高を取得した場合に、仕訳を入力していないにもかかわらず、期首たな卸高や期末たな卸高の残高が表示される場合があります。

2. T K Cシステムのレベルアップ内容の解説

① F X 4クラウドのレベルアップ内容

(1) F X 4クラウドのレベルアップ内容

【[2019年11月版]のレベルアップ内容】

1. F X 4クラウドに登録した科目体系に基づく決算書の電子申告対応およびTKCモニタリング情報サービスによる金融機関へのデータ提供

F X 4クラウドに登録した科目体系に基づく決算書を電子申告データとして送信できるようにしました。また、記帳適時性証明書が発行された場合に、送信した上記決算書データをTKCモニタリング情報サービス(以下、M I S)で金融機関に提供できるようにしました。

(1) 個別注記表の作成機能の搭載

①旧版のF X 4クラウドでは、申告書に添付する決算書のうち、貸借対照表、損益計算書および株主資本等変動計算書を作成可能ですが、個別注記表は作成できませんでした。

②これを踏まえ、「月次・年次決算」タブにメニュー「61 個別注記表の作成・印刷」を搭載し、個別注記表をF X 4クラウドで作成できるようにしました。また、多くの企業がこれまでW o r d で個別注記表を作成している実務を踏まえ、W o r dからの読込機能を搭載しました。

(2) 決算書データの確定機能の搭載

「月次・年次決算」タブにメニュー「71 決算書データの確定」を搭載し、電子申告データとして送信する決算書を確定できるようにしました。

①申告書に添付する決算書の作成完了後、企業側で決算書の確定処理をできるようにしました。なお、法人決算申告システム(T P S 1 0 0 0)では、この確定処理を行うまでは、決算書データを読み込めません。

②会社計算規則に基づく計算書類のほかに、財務諸表等規則に基づく財務諸表を別途作成している場合など、複数種類の貸借対照表・損益計算書を作成している場合があります。このような場合を考慮し、決算書の確定時に、申告書に添付する貸借対照表・損益計算書を企業側で選択できるようにしました。

(3) T P S 1 0 0 0への決算書データの連携機能の搭載

確定した決算書データをT P S 1 0 0 0に連携できるようにしました。連携方法としては、TKCインターネットデータセンター(T I S C)に接続してインターネット経由で連携できるほか、U S Bフラッシュメモリ等を利用して連携ファイルをF X 4クラウドで保存しT P S 1 0 0 0で読み込むことも可能です。なお、F X 4クラウドで連携ファイルをフラッシュメモリ等に保存する場合、今回搭載したメニュー「34 電子申告用決算書データ作成」(タブ「会計事務所専用」内)で行います。

2. E x c e lからの仕訳計上機能の搭載

Excel から直接F X 4クラウドに仕訳を計上できる機能として、Excel からの仕訳計上機能を搭載しました。Excel からの仕訳計上機能は、マネジメントレポート設計ツールと同様に、Excel 上で操作する機能です。

(1) Excel で作成した仕訳ファイルをF X 4クラウドに読み込む運用の場合、当機能を利用することで、仕訳ファイルの作成・保存作業やF X 4クラウドを起動する手間が不要になります。

(2) また、マネジメントレポート設計ツールにより取得した残高や発生額等をベースにした仕訳計上も可能です。

(3) Excel から計上した仕訳の場合、計上元となった仕訳ファイルが、サーバー上に自動保存するようにしました。保存された仕訳ファイルは会計伝票画面から参照可能で、このとき、当該仕訳の計上元となった行が初期選択された状態でExcel が起動できるようにしました。これにより、仕訳の確認時に、当該仕訳の計上元となったExcel ファイルまでトレースできるようになります。

(4) Excel からの仕訳計上機能は、以下のような仕訳の計上業務に活用できます。

①経費計上仕訳

経費精算業務を Excel で運用している場合、メール等で受領した経費精算シート(Excel)の確認時にそのまま F X 4 クラウドに仕訳計上できます。

②現金入出金仕訳 現金出納帳形式で入出金額を Excel で管理している場合、金額等が確定し次第、入出金額をその場で F X 4 クラウドに反映できます。

③部門別按分仕訳

本社で一括計上した減価償却費等の各部門に対する按分結果を、F X 4 クラウドに仕訳計上できます。このとき、按分計算で必要となる、減価償却費等の額に加え、従事員数等についてもマネジメントレポート設計ツールで Excel に出力できます。

3. 電子帳簿ファイル未作成時のエラーメッセージの表示

前事業年度の電子帳簿ファイルが未作成の場合、期首月の月次更新完了時に、前事業年度の電子帳簿ファイルの作成を促すメッセージを表示するようにしました。

4. マネジメントレポート設計ツールの強化

マネジメントレポート設計ツールに以下の関数を追加しました。

(1) FX4 科目別日々の取引額

科目別や部門別の日々の取引額を取得でき、引数の指定方法により期末整理仕訳のみの発生額を取得できる関数です。既存の関数「FX4 科目別残高」等と組み合わせることで、特定の日時点の残高や、期末整理仕訳を除いた残高を、Excel で確認できるようになります。

(2) FX4 科目別残高_部門比較用

複数部門の科目別残高等を1つのシートに出力する場合に利用する関数です。取得できる金額は「FX4 科目別残高」と同様ですが、複数部門の残高等をより早く取得できます。

(3) FX4 合計部門別科目別残高_部門比較用

複数部門の合計部門別科目別残高等を1つのシートに出力する場合に利用する関数です。取得できる金額は「FX4 合計部門別科目別残高」と同様ですが、複数部門の残高等をより早く取得できます。

(4) FX4 科目別予算_部門比較用

複数部門の科目別予算を1つのシートに出力する場合に利用する関数です。取得できる金額は「FX4 科目別予算」と同様ですが、複数部門の予算をより早く取得できます。

(5) FX4 合計部門別科目別予算_部門比較用

複数部門の合計部門別科目別予算を1つのシートに出力する場合に利用する関数です。取得できる金額は「FX4 合計部門別科目別予算」と同様ですが、複数部門の予算をより早く取得できます。

5. 管理者メニューの改訂

メニュー「9 USBフラッシュメモリ等へのデータのバックアップ・復元」の[復元]ボタンについて、旧版では[バックアップ]ボタン(Ctrl+F1)の隣である「Ctrl+F2」に配置していましたが、これを「Ctrl+F4」に配置するようにしました。

6. 勘定科目情報の改訂

「会社情報」タブのメニュー「21 勘定科目情報」について、「元帳出力区分」欄に[解説]ボタンを設け、その用途を確認できるようにしました。また、取引先別管理または口座別管理を行っているにも関わらず、「元帳出力区分」が「科目別」の場合、「OK」ボタン押下時に確認メッセージを表示するようにしました。

7. 決算書の作成機能の改訂

(1) 「月次・年次決算」タブの以下のメニューに[SkyPDF]ボタンを配置し、出力対象帳表のPDFファイルを作成できるようにしました。

- ①貸借対照表・損益計算書の印刷（メニュー33）
- ②株主資本等変動計算書印刷（メニュー45）

(2) キャッシュ・フロー計算書の作成可能期間を延長しました。

- ①当月（最新の月次更新完了月の翌月）の3期前の期首月以後のキャッシュ・フロー計算書を作成できるようにしました。
- ②最新の取引年月日が属する年月以前のキャッシュ・フロー計算書を作成できるようにしました。
- ③なお、旧版と同様、決算月をまたぐキャッシュ・フロー計算書は作成できません。

(3) キャッシュ・フロー計算書の作成機能について、以下のタイミングでメッセージを表示するようにしました。

- ①前期のキャッシュ・フロー計算書を未作成の状態で、当期のキャッシュ・フロー計算書を作成しようとした場合（2期比較・3期比較キャッシュ・フロー計算書を作成するためには、前期のキャッシュ・フロー計算書の事前作成が必要な旨のメッセージが表示されます。）
- ②翌期または翌々期のキャッシュ・フロー計算書が作成済の状態で、当期のキャッシュ・フロー計算書を確定しようとした場合（翌期または翌々期の2期比較キャッシュ・フロー計算書等に当期のキャッシュ・フロー計算書を反映させる場合、翌期または翌々期のキャッシュ・フロー計算書の再作成が必要な旨のメッセージが表示されます。）

(4) キャッシュ・フロー計算書の設計機能の初期値の変更

諸口勘定（初期データ上の科目コード「9991」および「9992」）について、内訳「購入」および「売却」の集計先の初期値を以下とおりに変更しました。なお、レベルコンバート処理による設定変更は行われません。

勘定科目	内訳	旧版	[2019年11月版]
(諸口勘定属性)	購入	(326)無形固定資産の取得による支出	未定義科目の集計項目
	売却	(327)無形固定資産の売却による収入	

(5) 以下のマスターについて、電子申告不可の記号を入力できないようにしました。

- ①貸借対照表・損益計算書等の科目名
- ②株主資本等変動計算書の項目名（横様式の場合の列名）
- ③株主資本等変動計算書の変動事由

8. TPS1000・TPS2000連携データ作成機能の改訂

「会計事務所専用」タブのメニュー「32 TPS1000 連携データ作成」および「42 TPS2000 連携データ作成」について、[科目一覧表印刷]ボタンおよび[科目対応表印刷]ボタンの名称を、[科目一覧表]および[科目対応表]に変更すると共に、当ボタン押下により即座に帳表印刷するのではなく印刷プレビュー画面を表示するようにしました。

【[2020年01月版]のレベルアップ内容】

1. TPS2000とのデータ連携機能の改訂

「青色申告決算書(一般用)」の様式改正により追加された売上、仕入の「軽減税率対象」欄の金額出力のため、課税区分別残高（1年分）をTPS2000に連携できるようにしました。当改訂に伴う、画面インターフェイスの変更等はありません。

3. 税制改正・制度改正トピックス

① T K Cモニタリング情報サービス



金融機関と いい関係になってきた。



金融機関への決算書等の提供は、紙から電子へ。 中小企業の成長を支援する「TKCモニタリング情報サービス」。

中小企業が成長していくためには、円滑な資金調達がかかせません。「TKCモニタリング情報サービス」は、法人税の電子申告を行うと自動的に金融機関へ決算書等を開示、経営の透明性を高めることで、金融機関と二人三脚で歩んでいける関係を築きます。

全国の金融機関の9割が導入。金融機関との関係強化が図れます。
メガバンクをはじめ、ほとんどの地銀・第二地銀、信用金庫などが本サービスを導入。金融機関にとっては信頼性の高い帳表で経営状態を把握できるので、融資の判断も迅速になり、融資先へのサービス向上が図れます。
自動的に金融機関へ開示。決算書の信頼性が高まります。
法人税等の電子申告を行うと、同じ内容の決算書・申告書が金融機関へ開示されるため、改ざんの余地がありません。この仕組みが金融機関から高く評価されています。
毎月訪問して経営をチェック。企業の成長に寄与します。
知識と経験豊富なTKCの会員税理士が経営状況をつぶさにチェックして成長へのアドバイスをいたします。当サービスでは、金融機関にも経営方針や経営計画を共有することができ、成長のための金融支援も期待できます。

【 TKCモニタリング情報サービスとは 】

1 決算書等提供サービス	中小企業からの依頼に基づいて、TKC会員事務所が法人税の電子申告後に金融機関へ決算書や申告書等のデータを提供するサービスです。
2 月次試算表提供サービス	中小企業からの依頼に基づいて、TKC会員事務所による月次決算終了後に金融機関へ月次試算表のデータを提供するサービスです。

当サービスで提供する帳表には「中小会計要領チェックリスト」「税理士法第33条の2に基づく添付書面」「記載適時性証明書」が含まれており、信頼性を識別できる情報として金融機関から注目されています。

TKC FinTech TKCモニタリング情報サービス



3. 税制改正・制度改正トピックス

②電子申告義務化

2019年3月末改定

「行政手続コスト」削減のための基本計画

省庁名	財務省
重点分野名	国税

1 手続の概要及び電子化の状況

① 手続の概要

国税に関する手続については、国税通則法、所得税法、法人税法、消費税法等の各税法において規定されており、納税義務者等は、当該規定に基づき、申告、納付、申請・届出等の各行為を行う必要がある。

② 電子化の状況

所得税、法人税、消費税等の申告や申請・届出等の各種手続については、国税電子申告・納税システム（e-Tax）により、インターネット等を利用してオンラインで行うことが可能である。

（注）相続税の申告手続についても、2019年10月以降対応予定。

オンライン利用が可能な申告や申請・届出等の手続は、「行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律」（オンライン化法）に基づき公表することとされており、2017年度の実績では407手続（国税関係手続の34.4%）（注）となっている。

（注）2011年度におけるオンライン対象手続は930手続（国税関係手続の87.1%）であったが、「新たなオンライン利用に関する計画」（2011年8月3日IT戦略本部決定）に基づき、手続の発生頻度等の費用対効果を踏まえ、オンライン対象手続の範囲の大幅な見直しを行っている。

また、納付手続についても、ダイレクト納付（事前に税務署に届出をすることで、e-Taxによる申告書等の提出後、指定した預貯金口座からの振替により電子納税を行う仕組み）やインターネットバンキング等を通じたオンライン納付を行うことが可能である。

なお、主な税目における申告や申請・届出等の手続のオンライン利用率（2017年度実績）は次のとおりとなっている。

手続名		オンライン利用率
所得税申告		54.5%
法人税申告		80.0% ^(※)
消費税申告	個人	66.1%
	法人	81.6%
申請・届出等		57.8%
納付		9.1%

(出所)

- ・申告手続：平成 29 年度における e-Tax の利用状況等について（2018 年 8 月公表）
 (※) なお、電子申告義務化の対象となる大法人（原則、資本金が 1 億円超の法人）について、法人税申告のオンライン利用率は 66.1%。
- ・申請・届出等：オンライン化法 10 条 1 項に基づく公表数値により算出。
- ・納付：国税庁調べ（「電子納付件数 / (窓口納付件数 + 電子納付件数)」により算出）

2 削減方策（コスト削減の取組内容及びスケジュール）

経済社会の ICT 化等を踏まえ、税務手続においても、ICT の活用を推進し、利便性の高い納税環境を整備するとともに、データの円滑な利用を進めることにより社会全体のコスト削減を図ることが重要である。

こうした観点から、以下に掲げたコスト削減のための取組内容について、スケジュールに沿って着実に進める。その際、財務省において所要の税制改正・予算措置等を前提として実施可能な施策については、特にタイムリーに実現を図る。また、省庁横断的な検討作業が必要であるなど、関係省庁の協力が必要となる施策については、その進捗を踏まえ、財務省としても積極的に対応する。

(1) 大法人の法人税・消費税の申告について、電子申告（e-Tax）の利用率 100%

平成 30 年度（2018 年度）税制改正において、大法人の法人税等の申告について電子申告の義務化を法制化した。具体的には、2020 年 4 月 1 日以後に開始する事業年度（課税期間）について、内国法人のうち事業年度開始の時ににおいて資本金の額又は出資金の額が 1 億円を超える法人並びに相互会社、投資法人、特定目的会社、国・地方公共団体を対象として、法人税・地方法人税・消費税の申告に当たり、申告書及び申告書に添付すべきものとされている書類の提出を電子的に行わなければならないこととした。

併せて、申告データの円滑な電子提出のための環境整備として、提出情報等のスリム化、データ形式の柔軟化、提出方法の拡充、提出先の一元化（ワンスオンリー化）、認証手続の簡便化等の見直しを行うこととした（各施策の詳細は(4)(5)に記載のとおり）。

今後は、大法人の法人税・消費税の e-Tax 利用率 100%という目標達成に向け、電子申告が義務化されることに加え、上記の環境整備に関する取組についても引き続き周知を図る。

**(2) 中小法人の法人税・消費税の申告について、電子申告（e-Tax）の利用率 85%以上。
なお、将来的に電子申告の義務化が実現されることを前提として、電子申告（e-Tax）
の利用率 100%**

平成 30 年度（2018 年度）税制改正において、大法人の電子申告義務化と併せて措置することとした申告データの円滑な電子提出のための環境整備策（提出情報等のスリム化、データ形式の柔軟化、提出方法の拡充、提出先の一元化（ワンスオンリー化）、認証手続の簡便化等）は、中小法人にも適用される（各施策の詳細は(4) (5)に記載のとおり）。

こうした環境整備の周知も図りながら、税理士や未利用者への個別の利用勧奨や関係団体等を通じた利用勧奨、リーフレット等による広報・周知等、e-Tax の普及に向けた取組を一層進め、中小法人の法人税・消費税の「2019 年度において e-Tax 利用率 85% 以上」という目標を達成する。

また、電子申告の義務化も含めた、中小法人の更なる利用率向上のための方策については、こうした環境整備の効果や e-Tax 未利用法人の実態等を踏まえ、中小法人の ICT 環境も勘案しつつ、引き続き検討を行う。

(3) 電子納税の一層の推進

イ e-Tax の申告情報（納付税額等）の自動引継機能の整備【2017 年 6 月実施済み】

納付手続の簡便化の観点から、インターネットバンキング等を通じたオンライン納付について、ダイレクト納付と同様に、e-Tax による申告情報をシステム上で自動的に引き継ぐ機能を実装した。

ロ ダイレクト納付を利用できる預貯金口座の複数登録【2018 年 1 月実施済み】

ダイレクト納付において、複数の金融機関の預貯金口座の登録を可能とした。

ハ ダイレクト納付を利用した予納制度の拡充【2019 年 1 月実施済み】

ダイレクト納付を利用することで、予納（納期限前にあらかじめ納付を行うこと）を定期的に均等額で行うことや任意のタイミングで行うことを可能とした。

ニ ダイレクト納付の一層の利用勧奨【2019 年順次実施】〈新規〉

2019 年 10 月から eLTAX を活用した地方税共通納税システムの導入に伴い、地方税についてもダイレクト納付が可能となることを踏まえ、地方団体等と協力して利用勧奨を行っていく。

(参考) コンビニ納付の利用手段の拡充【2019 年 1 月実施済み】

コンビニ納付について、自宅等において納付に必要な情報（税目や税額など）をいわゆる「QR コード」として出力することにより行うことを可能とした。

3. 税制改正・制度改正トピックス

③ 電子帳簿保存法

貴社のクラウド会計ソフトは、 「電帳法」に対応していますか?

電子帳簿保存法

商法と税法が定める納税義務者が遵守すべき記帳要件をおろそかにすると、
青色申告の承認取り消しや所得税・法人税法違反に問われる恐れもあります。
手軽に導入できるクラウド会計ソフトの中には、求められる要件を満たしていない製品も少なくありません。

もし貴社がクラウド会計ソフトをお使いでしたら改めてご確認ください。

ご利用のソフトは、「電子帳簿保存法」に規定されている記帳要件を満たしていますか?

電子帳簿保存法のシステム要件		JJIMA 電子帳簿ソフト法的要件認証基準	TKC
(実質性の確保)	訂正・削除履歴の確保(帳簿) 電子帳簿保存法施行規則第3条第1項第1号	訂正・削除履歴を自動的に保存できますか?	<input checked="" type="checkbox"/>
		入力から一週間以内であれば訂正・削除履歴を残さない設定が可能ですか?	<input checked="" type="checkbox"/>
	相互関連性の確保(帳簿) 電子帳簿保存法施行規則第3条第1項第2号	出力可能な帳簿間の相互関連性をシステム内で検証できますか?	<input checked="" type="checkbox"/>
	関係書類等の備付け 電子帳簿保存法施行規則第3条第1項第3号	操作説明書をオンラインマニュアル等で提供していますか?	<input checked="" type="checkbox"/>
(可視性の確保)	見読可能性の確保 電子帳簿保存法施行規則第3条第1項第4号	整然とした形式及び明瞭な状態で、帳簿を速やかに出力できますか?	<input checked="" type="checkbox"/>
		マスターデータ(勘定科目・取引先情報等)を課税期間単位で保存できますか?	<input checked="" type="checkbox"/>
	検索機能の確保 電子帳簿保存法施行規則第3条第1項第5号	日付・金額・勘定科目など、主要な記録項目を条件として検索できますか?	<input checked="" type="checkbox"/>
		日付・金額については、その範囲を指定して検索できますか?	<input checked="" type="checkbox"/>
	複数の項目を組み合わせて検索できますか?	<input checked="" type="checkbox"/>	

帳簿を電子保存するには事前に申請書の提出が必要です!

原則、期首月の3ヶ月前までに、所轄税務署長に「国税関係帳簿の電磁的記録等による保存等の承認申請」を提出する必要があります。
なお、新設法人は設立の日から3ヶ月、新たに業務を開始した個人事業主は業務開始の日から2ヶ月を経過する日まで、承認申請書を提出できます。
*令和元年9月30日以後に提出する申請書から適用されます。

「JJIMA 電子帳簿ソフト法的要件認証」を取得。
「黒字決算」と「適正申告」を支援するTKCの財務会計システム。

「電子帳簿ソフト法的要件認証」を取得したシステムなので帳簿のペーパーレス化が可能。

TKC会員(税理士・公認会計士)による月次巡回監査と経営助言で貴社をサポート。

26万社を超える企業が利用。金融機関からの信頼も向上。

黒字決算を支援する機能を提供。確かな経営判断に貢献。

TKC 財務会計システム

小規模企業向け
e21まいスター

中小企業向け
FX2

中堅企業向け
FX4クラウド

上場企業向け
FX5 (個別会計)



「電子帳簿ソフト法的要件認証」第1号認証を取得!

TKC財務会計システムは、電子帳簿保存法の法的要件を満たしたソフトとして、日本文書管理でベスト協会(JJIMA)から、第1号認定を受ける認証を受けています。
※この認証は、TKC全国会(税理士・公認会計士)による審査を受けています。



遵守すべき要件をおろそかにすると、
青色申告の承認取り消しや
法人税法違反に問われる恐れもあります。

TKC全国会会長 坂本孝司

「電子帳簿保存法」に 対応しているか。 それが、会計ソフトを選ぶ 大切な基準です。

中小企業の中には
電子帳簿保存法の要件を知らないまま、
帳簿を電子化しているケースも多いのです。

日本簿記協会 マネジメント協会 理事長 勝丸志志氏



「電子帳簿保存法」制定から これまでの経緯とは

日本TKC全国会は、租税正義の実現を
目的に1977年に設立されました。現在
では1万1300名の税理士公認会計士
が所属し、納税義務の適実実を目標と
さまざまな取り組みを行っています。中
でも、仕訳の訂正・加除履歴がたたく残りが、
会計ソフトの普及を危惧し「コンピュータ会計法
の必要性を呼びかけました。ですから、
会計ソフトの普及を危惧し「コンピュータ会計法
の必要性を呼びかけました。ですから、

「電子帳簿保存法」の成立により、従来の
「保存法」には注目していません。
「電子帳簿保存法」の成立により、従来の
「保存法」には注目していません。
「電子帳簿保存法」の成立により、従来の
「保存法」には注目していません。

電子帳簿保存法は法的要件の 整備と事前申請がポイント

勝丸とかが、電子化がはじまると同時に
困った問題も出てきました。帳簿を電子
保存するには、事前に所轄の税務署に届け
出るなどいくつかの条件があるのですが、
周知が充分でなかったせいで、要件を満たし
ていない会計ソフトで帳簿を作成して電子
保存する企業も少なくありません。

坂本私どもは企業の会計を指導する立場
にあるので、いろいろな中小企業を訪問する
のですが、電子帳簿保存法の要件をよく
理解しないまま会計ソフトを選び、利用し
ているケースは多く見かけます。

JIMM認定の会計ソフトで コンプライアンス遵守

勝丸TKC全国会をはじめとする税理士
さんの努力により、会計の電子化はすで
に約70%の企業が進んでいると言われて
います。それでありながら、会計ソフト選定
が適切に行われていないのは非常に問題です。
実際、私どもJIMMは2016年に
国税庁から電子帳簿保存に関する周知を
ひろげようという依頼を受けました。その
際に、2020年からは法人の法人格等
も電子申告の業務化が決定し、中小企業に
ついて電子申告利用の推進目標が盛り込
まれた行政手続システム削減のための基本
計画「財務省が公表されています。の
ように会計環境が大きく変わる中、複雑な
電子帳簿保存法の要件をすべて理解した
うえで適正な会計ソフトを選ぶことが、理
の担当者にとって大きな負担です。そこ
でJIMMは、要件を満たす会計ソフト
を選び、そのためのサポートを
提供しています。また、電子帳簿保存
法の要件を満たしているかをチェックし、
認定証を発行します。認定証は公正な第三者
機関および認定審査委員会の審査によっ
て行われます。認定証はJIMMの
ロゴマークの使用を
認めることに、製品ラベル
をJIMMのロゴマーク
をJIMMのロゴマーク
をJIMMのロゴマーク



帳簿のトレーサビリティ確保で ガバナンス強化にも貢献

勝丸電子帳簿保存法に対応することは
ガバナンス強化にもつながります。から、
JIMM認定証を印して適正なソフトを
選び、正しい電子申告をしていただければ
と思います。

坂本TKC全国会では、電子帳簿保存法の要件
を満たしていない会計ソフトを利用している
経営者は、そのリスクとして、青色申告の
承認取り消しや所得税法違反など
触れられませんが、私どもも同感です。
勝丸TKC全国会では、電子帳簿保存法の要件
を満たしていない会計ソフトを利用している
経営者は、そのリスクとして、青色申告の
承認取り消しや所得税法違反など
触れられませんが、私どもも同感です。

勝丸TKC全国会では、電子帳簿保存法の要件
を満たしていない会計ソフトを利用している
経営者は、そのリスクとして、青色申告の
承認取り消しや所得税法違反など
触れられませんが、私どもも同感です。



坂本TKC全国会では、電子帳簿保存法の要件
を満たしていない会計ソフトを利用している
経営者は、そのリスクとして、青色申告の
承認取り消しや所得税法違反など
触れられませんが、私どもも同感です。



勝丸TKC全国会では、電子帳簿保存法の要件
を満たしていない会計ソフトを利用している
経営者は、そのリスクとして、青色申告の
承認取り消しや所得税法違反など
触れられませんが、私どもも同感です。

「JIMM電子帳簿ソフト法的要件認証」を取得! TKC財務会計システム

(ご参考)

TKCシステムまいサポートのご紹介

TKCシステムの専門スタッフによる
安心のサポートをご用意しました。

導入企業2万4千社突破!



TKCシステムまいサポートは、貴社からのお問合せに、
株式会社TKCの専門スタッフが回答するサービスです。

※本サービスを利用するには、ご利用のパソコンがインターネットに接続されている必要があります。



例えば、この様なご質問にお答えします!

- 会計ソフトで銀行から預金取引を受信できると聞きました。どう設定するのですか?
- 毎月、同じ仕訳を入力しています。会計ソフトに登録しておけないでしょうか?
- 見積書や請求書の様式をカスタマイズしたいのですか?
- 新入社員を給与計算ソフトに登録する方法を教えてください。
- 給与明細を閲覧するID・パスワードを忘れてしまいました。

✓ 2つの方法で、お問合せいただけます。



全国からの
問合せを受付中
メールでの問合せ

ご利用中のシステムから
質問を送信してください。
TKCから折り返し
お電話します。

- サービス時間
質問の送信：24時間365日
電話での回答：平日10時～16時
- 対応エリア
全国



全国からの
問合せを受付中
IP電話での問合せ

IP電話でのご質問に
直接回答します。

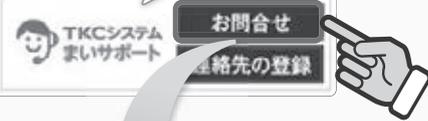
- サービス時間
平日9時～18時
- 対応エリア
全国



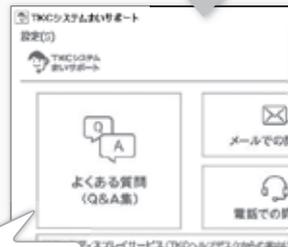
TKCシステムまいサポートの利用方法



このアイコンが目印です!



メールでの問合せ
TKCから折り返し
電話でお問合せに回答



よくある質問 (Q&A集)
よく頂戴するご質問と回答を
Q&A形式で掲載

IP電話での問合せ
TKCがその場で
お問合せに回答



ご利用中のTKCシステムから、即、TKCにお問合せいただけます!!

FX4クラウドシリーズもTKCシステムまいサポートに対応しています。 是非、ご利用ください!!



TKCへのお問合せ内容は、TKCシステムの操作方法・設定方法に限ります。
| 税務判断に該当するお問合せは、税理士法の定めにより、TKCではお応えいたしかねます。顧問税理士にお問合せいただけますよう、お願い申し上げます。

お問い合わせは、TKC会計事務所まで!

株式会社TKC

〒162-8585
東京都新宿区揚場町2-1 軽子坂MNビル5F
TEL 03-3235-5511
URL <https://www.tkc.jp/>

お問い合わせ

TKC 経理業務 効率化セミナーテキスト	(2020 春)
令和 2 年 2 月 1 日 第 1 版発行	©TKC
著 者 株式会社TKC	
発行者 飯塚 真規	
	〒 162-8585 東京都新宿区揚場町 2 - 1 軽子坂MNビル 5 F
不許複製	

※当テキストは、TKCがTKC経理業務 効率化セミナーでの使用目的で作成した資料です。

※Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。

※Excel は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

※Excel の正式名称は、Microsoft Excel です。



おかげさまで FX4 クラウドはNo.1



富士キメラ総研
「ソフトウェアビジネス新市場 2019年版」
財務・会計ソフト<SaaS>・2018年度実績



ITR [ITR Market View:ERP市場2019]
SaaS型ERP市場-会計業務分野:ベンダー
別売上金額シェアで3年連続1位
(2016・2017年度、2018年度(予測値))